

1.0

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧 version 1.0

地域分析

## 神奈川県 | 横浜医療圏

(医療圏コード：1412)

# 目次

## 1. 地域の概況

- 二次医療圏の概況
- 二次医療圏における人口変化率の推計
- 医療機関別の許可病床数
- 医療機関の指定状況

## 2. 医療提供体制の概況

- 人口10万人あたり医療機関数・病床数
- 人口10万人あたり医療従事者数の比較
- 都道府県内の医療圏の医師偏在指標
- 都道府県別の医師偏在指標
- 診療科別医師数
- 病床数及び診療実績の推移
- 地域の入院患者数と平均在院日数
- 医療機関別職員数
- 病床機能別の病床数の推移と必要病床数
- 病床機能別・医療機関別の許可病床数
- 入院料別病床数（病院のみ）
- 二次医療圏別の1日平均入院患者数
- 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）
- 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）
- MDC別退院患者数の推移

## 3. 医療需要の将来推計

- 人口推計
- 高齢化の状況
- 1日平均患者数
- 受療率の比較
- ICD別の患者数推計・増減率
- 精神病床の1日平均患者数
- DPC患者数の推計
- DPC症例数と平均入院期間の推移
- 手術件数の推計
- 疾患別患者数の推計（悪性腫瘍・脳卒中・虚血性心疾患・糖尿病）
- 在宅医療の需要推計（患者数・算定回数）
- 要介護者数の推計（年齢区分・要介護度別）

## 4. 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

- ポジショニングマップ
- 入退棟経路の傾向
- 救急車受入を行う病院の概要
- 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数
- 救急医療の提供状況
- 救急医療の提供状況の類似区域との比較
- DPC対象病院における平均在院日数
- MDC別退院患者数および医療機関シェア
- DPC退院患者数のシェア

# 1/ 地域の概況

---

人口動態や地理特性から、地域の特性を把握する。

高齢化率の推移

生産年齢人口

可住地面積比率

人口構造等の地域の特徴を全国平均との比較や、  
基幹的な役割を担う医療機関を確認することで、医療圏内の地域特性を把握する。

# 神奈川県 | 二次医療圏の概況

都道府県内の二次医療圏の人口および面積を整理しています。

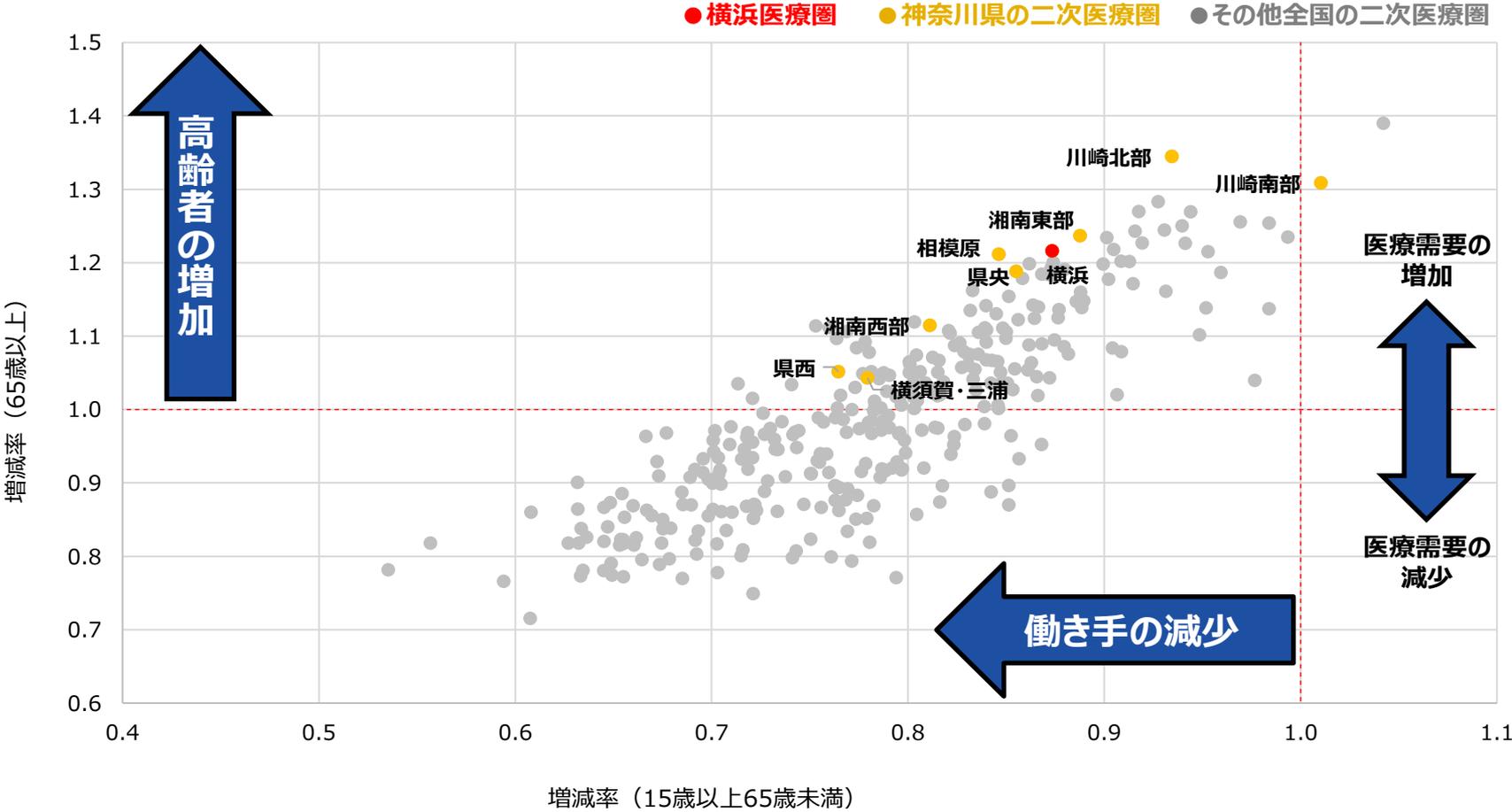
医療計画においては、二次医療圏の人口が20万人未満、かつ、二次医療圏内の病院の流入患者割合が20%未満かつ流出患者割合が20%以上の場合に見直しの検討が必要とされています。

二次医療圏	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	可住地面積割合 (%)
川崎北部	870,495	78.72	11,058.1	92%
川崎南部	667,767	64.28	10,388.4	100%
横須賀・三浦	691,582	206.86	3,343.2	68%
湘南東部	727,642	118.60	6,135.3	92%
湘南西部	581,839	253.40	2,296.1	66%
県央	858,535	292.75	2,932.7	63%
相模原	725,493	328.91	2,205.7	43%
県西	336,493	634.88	530.0	31%
横浜	3,777,491	437.70	8,630.3	91%
神奈川県 計	9,237,337	2,416.10	3,823.2	61%
全国	126,146,099	372,864.20	338.3	33%

\* 可住地面積とは、総面積(北方地域および竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの  
出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)  
：「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局)2020年度

# 神奈川県 | 二次医療圏における人口変化率の推計（2025年～2050年）

高齢者の増減割合と生産年齢人口の増減割合の2軸で、全国の二次医療圏における当該医療圏の立ち位置を示しています。需給の変化に対して医療提供体制を確保できるか、という観点で課題を整理する必要があります。



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
1	横浜労災病院	横浜市港北区	52	598				650
2	横浜州市立市民病院	横浜市神奈川区	474	125		25		624
3	昭和大学横浜市北部病院	横浜市都筑区	26	546		25		597
4	昭和大学藤が丘病院	横浜市青葉区	104	477			3	584
5	済生会 横浜市東部病院	横浜市鶴見区	425	87				512
6	横浜田園都市病院	横浜市緑区				375		375
7	汐田総合病院	横浜市鶴見区		104	220			324
8	横浜新都市脳神経外科病院	横浜市青葉区	24	233	60			317
9	横浜総合病院	横浜市青葉区	16	284				300
10	横浜新緑総合病院	横浜市緑区	7	192	37			236
11	新横浜リハビリテーション病院	横浜市神奈川区			210	20		230
12	横浜鶴見リハビリテーション病院	横浜市鶴見区			114	114		228
13	元気会 横浜病院	横浜市緑区				220		220
14	菊名記念病院	横浜市港北区	21	195				216
15	ふれあい鶴見ホスピタル	横浜市鶴見区			102	108		210
16	済生会 神奈川県病院	横浜市神奈川区		145	36	18		199
17	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	横浜市青葉区		41	156			197
18	牧野記念病院	横浜市緑区		84	49	50		183
19	江田記念病院	横浜市青葉区			57	120		177
20	青葉さわい病院	横浜市青葉区		40	30	100		170
21	大口東総合病院	横浜市神奈川区		162				162
22	鴨居病院	横浜市緑区		54		96		150
23	平和病院	横浜市鶴見区		43	63	40		146
24	緑協和病院	横浜市青葉区			34	111		145
25	たちばな台病院	横浜市青葉区		134				134
26	山本記念病院	横浜市都筑区		49		82		131
27	つづき病院	横浜市都筑区				123		123
28	牧野リハビリテーション病院	横浜市緑区			60	60		120
29	市ヶ尾病院	横浜市青葉区			60	60		120
30	大倉山記念病院	横浜市港北区			65	49		114

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
31	済生会 東神奈川リハビリテーション病院	横浜市神奈川区			106			106
32	古川病院	横浜市神奈川区				98		98
33	竹山病院	横浜市緑区			64			64
34	徳田病院	横浜市鶴見区				60		60
35	横浜石心会病院	横浜市鶴見区		60				60
36	森山病院	横浜市鶴見区				60		60
37	脳神経外科東横浜病院	横浜市神奈川区	3	57				60
38	高田中央病院	横浜市港北区		60				60
39	新横浜母と子の病院	横浜市港北区		60				60
40	佐々木病院	横浜市鶴見区		57				57
41	新横浜こころのホスピタル	横浜市港北区				42		42
42	生麦病院	横浜市鶴見区			41			41
43	仁恵病院	横浜市神奈川区				40		40
44	片山整形外科記念病院	横浜市鶴見区		38				38
45	鶴見大学歯学部附属病院	横浜市鶴見区		32				32
46	あおばウィメンズホスピタル	横浜市青葉区		20				20
	総計		1,152	3,977	1,564	2,096	3	8,792

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
1	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜市旭区	114	352			52	518
2	横浜旭中央総合病院	横浜市旭区	17	380	58	60		515
3	NHO横浜医療センター	横浜市戸塚区	52	418			2	472
4	神奈川県立がんセンター	横浜市旭区	24	371		20		415
5	けいゆう病院	横浜市西区	5	405				410
6	聖隷横浜病院	横浜市保土ヶ谷区	17	232	98	20		367
7	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	横浜市戸塚区			115	218		333
8	東戸塚記念病院	横浜市戸塚区	12	272	20			304
9	国際親善総合病院	横浜市泉区	6	247	34			287
10	JCHO横浜保土ヶ谷中央病院	横浜市保土ヶ谷区	8	196			32	236
11	赤枝病院	横浜市旭区				199		199
12	西横浜国際総合病院	横浜市戸塚区		110	78			188
13	平成横浜病院	横浜市戸塚区		50	133			183
14	横浜いずみ台病院	横浜市泉区				160		160
15	ゆめが丘総合病院	横浜市泉区		156				156
16	新中川病院	横浜市泉区				152		152
17	ふれあい東戸塚ホスピタル	横浜市戸塚区			53	97		150
18	上白根病院	横浜市旭区		150				150
19	戸塚共立第1病院	横浜市戸塚区		148				148
20	イムス横浜狩場脳神経外科病院	横浜市保土ヶ谷区	9	48	90			147
21	イムス横浜旭リハビリテーション病院	横浜市旭区			120			120
22	横浜療育医療センター	横浜市旭区				113		113
23	横浜甞生病院	横浜市瀬谷区		51		60		111
24	横浜鶴ヶ峰病院	横浜市旭区		108				108
25	育生会 横浜病院	横浜市保土ヶ谷区			49	57		106
26	戸塚共立第2病院	横浜市戸塚区	14	87				101
27	戸塚共立いずみ野病院	横浜市泉区		50	50			100
28	松島病院	横浜市西区		95				95
29	戸塚病院	横浜市戸塚区		52	41			93
30	瀬谷ふたつ橋病院	横浜市瀬谷区		34		55		89

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
31	堀病院	横浜市瀬谷区		68				68
32	亀田病院	横浜市西区			60			60
33	横浜第一病院	横浜市西区		52				52
34	横浜相原病院	横浜市瀬谷区				36		36
35	十慈堂病院	横浜市戸塚区				29		29
36	三ツ境病院	横浜市瀬谷区				22		22
	総計		278	4,132	999	1,298	86	6,793

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



No	医療機関名	市町村名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	総計
1	横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜市南区	71	540			43	654
2	横浜市立大学附属病院	横浜市金沢区	628				20	648
3	横浜市立みなと赤十字病院	横浜市中区	325	227		25	7	584
4	K K R 横浜南共済病院	横浜市金沢区	545	20				565
5	済生会 横浜市南部病院	横浜市港南区	345	155				500
6	K K R 横浜栄共済病院	横浜市栄区	125	305				430
7	神奈川県立こども医療センター	横浜市南区	86	214	50	40		390
8	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	横浜市磯子区	18	128	154			300
9	J C H O 横浜中央病院	横浜市中区	6	194	50			250
10	康心会夕見台病院	横浜市磯子区		93	70	49	13	225
11	横浜なみきリハビリテーション病院	横浜市金沢区			144	80		224
12	関東病院	横浜市磯子区			41	158		199
13	磯子中央病院	横浜市磯子区		120	60			180
14	神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜市金沢区	6	173				179
15	済生会 若草病院	横浜市金沢区			177			177
16	横浜医療福祉センター-港南	横浜市港南区				170		170
17	金沢病院	横浜市金沢区		117	45			162
18	横浜掖済会病院	横浜市中区		111			40	151
19	金沢文庫病院	横浜市金沢区		109		38		147
20	よこはま港南台地域包括ケア病院	横浜市港南区			120			120
21	佐藤病院	横浜市南区		56	60			116
22	長田病院	横浜市港南区		47		50		97
23	横浜東邦病院	横浜市港南区		47	49			96
24	朝倉病院	横浜市港南区			45	45		90
25	ふれあい横浜ホスピタル	横浜市中区		25	36	26		87
26	本牧病院	横浜市中区		39		42		81
27	港南台病院	横浜市港南区		77				77
28	清水ヶ丘病院	横浜市南区				60		60
29	横浜じんせい病院	横浜市港南区				50		50
30	秋山脳神経外科病院	横浜市港南区		41				41
31	東條ウイメンズホスピタル	横浜市港南区		36				36
	総計		2,155	2,874	1,101	833	123	7,086

※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療支援病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	昭和大学横浜市北部病院	689	標準	○		地域	地域	地域拠点	PSCコア	
2	横浜労災病院	650	標準	○	○	地域	地域	地域拠点	PSC	
3	横浜市立市民病院	650	特定	○	○	地域	地域	地域拠点	PSCコア	
4	昭和大学藤が丘病院	584	特定	○	○	地域		地域拠点	PSC	
5	済生会 横浜市東部病院	562	特定	○	○	地域	地域	地域拠点	PSCコア	
6	横浜田園都市病院	375								
7	汐田総合病院	319	標準						PSC	在後病
8	横浜新都市脳神経外科病院	317	標準						PSCコア	
9	横浜総合病院	300	標準						PSC	
10	元気会 横浜病院	270								
11	横浜新緑総合病院	236	標準						PSC	在後病
12	紫雲会 横浜病院	234								
13	新横浜リハビリテーション病院	230								
14	江田記念病院	229								
15	横浜鶴見リハビリテーション病院	228								
16	新横浜こころのホスピタル	218								
17	菊名記念病院	218	標準	○					PSC	
18	ふれあい鶴見ホスピタル	210								
19	済生会 神奈川県病院	199	標準							支援病 3
20	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	197								
21	牧野記念病院	183	標準							支援病 2
22	青葉さわい病院	170								支援病 2
23	大口東総合病院	162								支援病 3
24	鴨居病院	150								
25	平和病院	146								支援病 1

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	緑協和病院	145								支援病 2
27	鶴見西井病院	139								
28	たちばな台病院	134	標準							支援病 2
29	山本記念病院	131								支援病 2
30	つづき病院	123								
31	牧野リハビリテーション病院	120								
32	市ケ尾病院	120								
33	大倉山記念病院	114								支援病 2
34	済生会 東神奈川リハビリテーション病院	106								
35	古川病院	98								支援病 2
36	佐々木病院	88								
37	横浜はじめ病院 (休止中)	85								
38	竹山病院	64								支援病 3
39	脳神経外科東横浜病院	60							PSCコア	
40	森山病院	60								支援病 3
41	高田中央病院	60								支援病 3
42	横浜石心会病院	60								支援病 3
43	新横浜母と子の病院	60								
44	徳田病院	60								
45	生麦病院	41								支援病 2
46	仁恵病院	40								
47	片山整形外科記念病院	38								支援病 3
48	鶴見大学歯学部附属病院	32								
49	あおばウイメンズホスピタル	20								

出典：

「施設基準の届出受理状況 (全体) (届出受理医療機関名簿) 令和7年1月1日現在」(各地方厚生局)

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」(厚生労働省)

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」(厚生労働省)

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」(厚生労働省)

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」(厚生労働省)

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」(厚生労働省)

「一次脳卒中センター (PSC) 一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」(一般社団法人日本脳卒中学会)

「一次脳卒中センター (PSC) コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」(一般社団法人日本脳卒中学会)

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	横浜舞岡病院	600								
2	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	518	標準	○	○	地域	地域		PSC	
3	横浜旭中央総合病院	515	標準						PSCコア	在後病
4	NHO横浜医療センター	490	標準	○	○	地域	地域	地域拠点	PSCコア	
5	神奈川県立がんセンター	415	標準					都道府県拠点		
6	けいゆう病院	410	標準	○		地域				
7	保土ヶ谷病院	393								
8	聖隷横浜病院	367	標準						PSC	
9	横浜相原病院	343								
10	イムス横浜東戸塚総合リハビリ病院	333								
11	東戸塚記念病院	304	標準							在後病
12	日向台病院	299								
13	国際親善総合病院	287	標準	○					PSC	在後病
14	あさひの丘病院	240								
15	JCHO横浜保土ヶ谷中央病院	236	標準	○						
16	横浜丘の上病院	218								
17	横浜ほうゆう病院	215								
18	港北病院	210								
19	赤枝病院	199								支援病 3
20	西横浜国際総合病院	188	標準						PSC	支援病 1
21	平成横浜病院	183								支援病 3
22	常盤台病院	180								
23	神奈川病院	163								
24	横浜いずみ台病院	160								支援病 2
25	ゆめが丘総合病院	156	標準							支援病 2

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	新中川病院	152								
27	ふれあい東戸塚ホスピタル	150								支援病 3
28	上白根病院	150	標準							支援病 2
29	戸塚共立第 1 病院	148	標準							支援病 2
30	イムス横浜狩場脳神経外科病院	147	標準						PSC	
31	イムス横浜旭リハビリテーション病院	120								
32	横浜カメラアホスピタル	120								
33	横浜療育医療センター	113								
34	横浜鶴ヶ峰病院	108								支援病 3
35	育生会 横浜病院	106								支援病 2
36	戸塚共立第 2 病院	101	標準							支援病 3
37	戸塚共立いずみ野病院	100	標準							支援病 3
38	松島病院	95								
39	十愛病院	94								
40	戸塚病院	93								支援病 2
41	瀬谷ふたつ橋病院	89								支援病 3
42	横浜甞生病院	81								支援病 2
43	堀病院	68								
44	亀田病院	60								支援病 3
45	横浜第一病院	52								
46	十慈堂病院	29								
47	三ツ境病院	22								支援病 3

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	横浜市立大学附属市民総合医療センター	696	特定	○	高度	地域	総合	地域拠点	PSC	
2	横浜市立大学附属病院	671	大学			地域	地域	地域拠点	PSC	
3	横浜市立みなと赤十字病院	634	標準	○	○	地域	地域	地域拠点	PSC	
4	K K R 横浜南共済病院	565	特定	○	○	地域			PSC	
5	済生会 横浜市南部病院	500	標準	○		地域	地域		PSC	
6	神奈川県立子ども医療センター	430	標準	○			総合			
7	K K R 横浜栄共済病院	430	標準	○					PSCコア	在後病
8	神奈川県立精神医療センター	323								
9	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	300	標準						PSC	在後病
10	徳洲会 横浜日野病院	257								
11	J C H O 横浜中央病院	250	標準	○					PSC	在後病
12	神奈川県立循環器呼吸器病センター	239	標準	○						
13	康心会夕見台病院	225								
14	横浜なみきりハピリテーション病院	224								
15	関東病院	199								支援病 2
16	磯子中央病院	180	標準						PSC	支援病 2
17	済生会 若草病院	177								支援病 2
18	横浜医療福祉センター港南	170								
19	ワシン坂病院	167								
20	金沢病院	162								支援病 2
21	横浜掖済会病院	151								
22	金沢文庫病院	147	標準							支援病 2
23	よこはま港南台地域包括ケア病院	120								支援病 1
24	佐藤病院	116								
25	栄聖仁会病院	106								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	ふれあい横浜ホスピタル	103								支援病 3
27	長田病院	97								支援病 2
28	横浜東邦病院	96								支援病 3
29	朝倉病院	90								
30	本牧病院	81								
31	港南台病院	77								支援病 3
32	清水ヶ丘病院	60								
33	横浜じんせい病院	50								
34	秋山脳神経外科病院	41	標準						PSC	
35	東條ウイメンズホスピタル	36								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

## 2/ 医療提供体制の概況

---

地域の医療提供体制を、医療資源の供給量や受療動向から整理する。

病床数

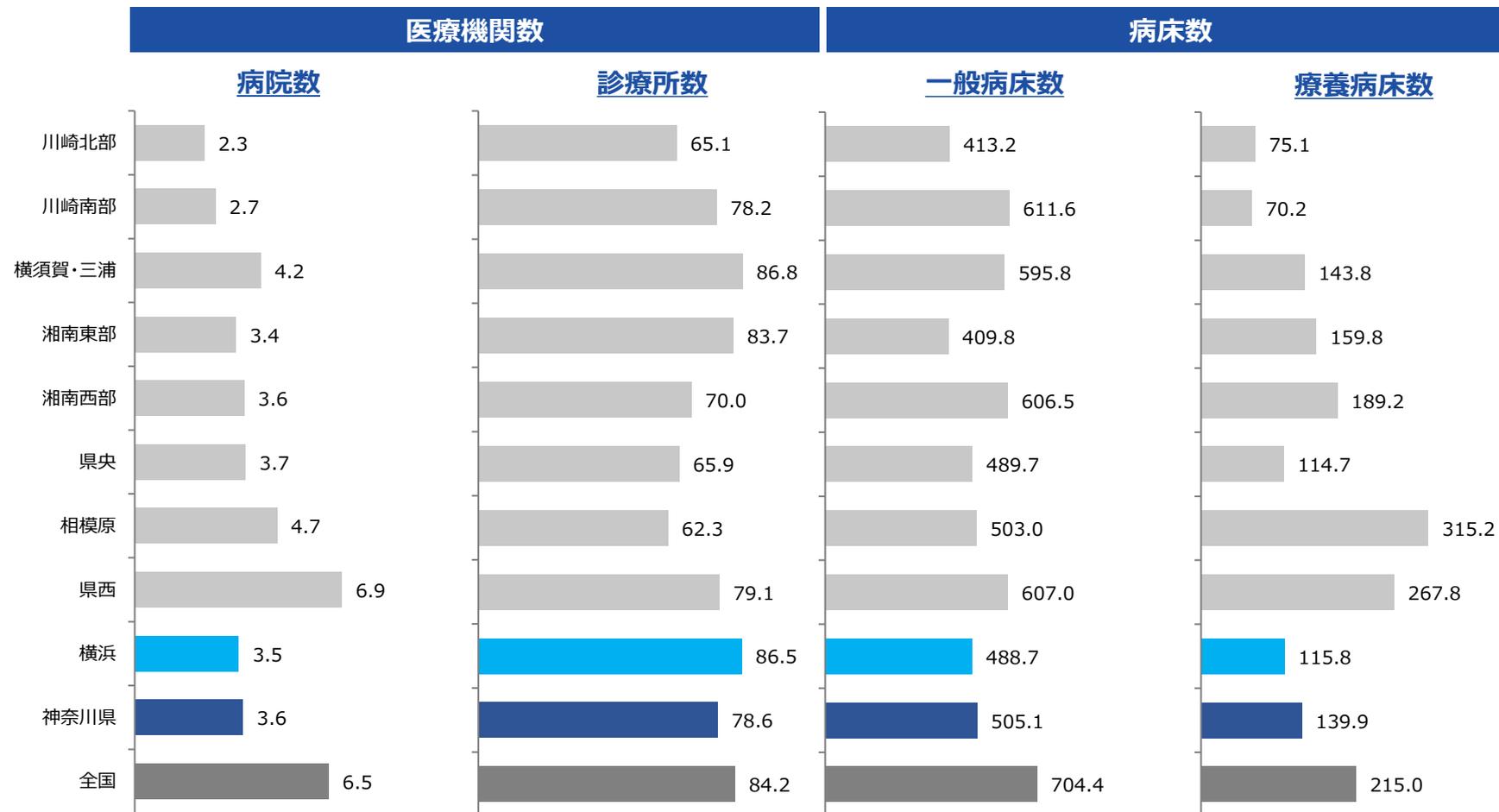
医師数

職種別人員配置

全国・県平均や医師偏在指標との比較から、地域の供給構造における不足や偏りを把握する。患者流出入や平均在院日数などを踏まえ、医療資源の効率性と機能分化の進展を評価する。

# 神奈川県 | 人口10万人あたり医療機関数・病床数

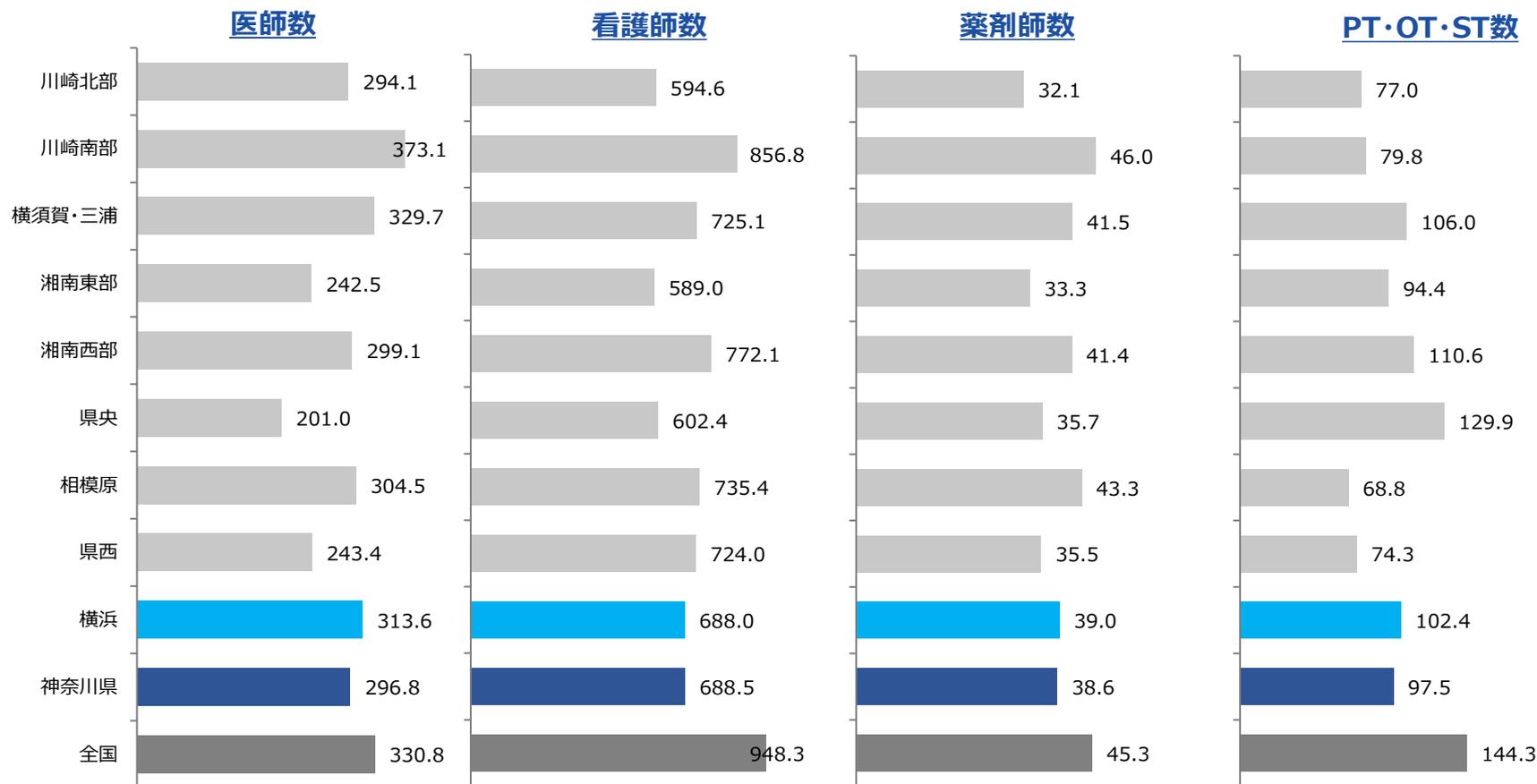
都道府県内二次医療圏の、人口10万人あたりの医療機関数と病床数を比較しています。  
 全国よりも病院数や病床数が多い場合には、医療資源が分散している可能性があります。  
 診療所が少ない場合は、かかりつけ医の確保が課題となっている可能性があります。



# 神奈川県 | 人口10万人あたり医療従事者数の比較

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医療従事者数を比較しています。

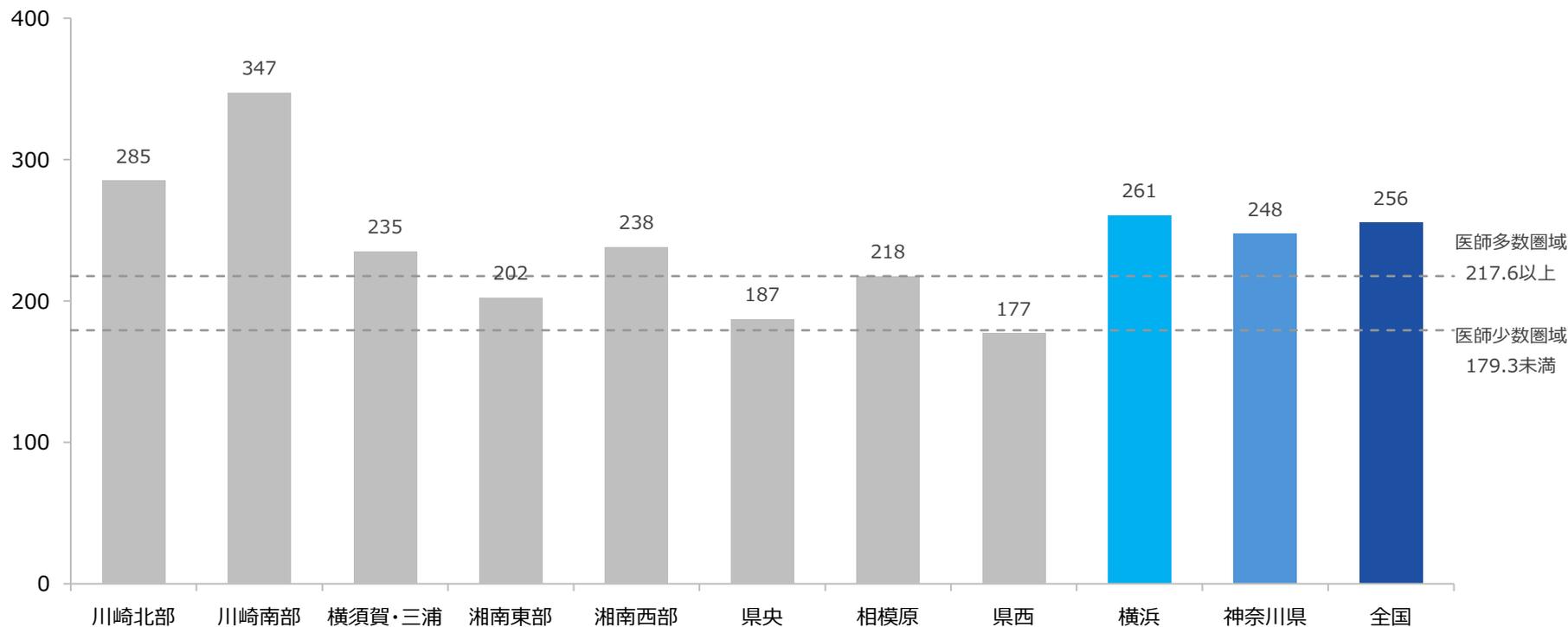
地域全体の医療従事者に不足がないかを確認し、医療従事者の確保が現状において困難となっていないか確認します。



# 神奈川県 | 都道府県内の医療圏の医師偏在指標

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医師数を比較しています。

医師偏在指標は、患者の流出入等の患者動向や医師の年齢等の条件を調整し、全国の二次医療圏と患者数に対する医師のマンパワーを比較する指数となります。

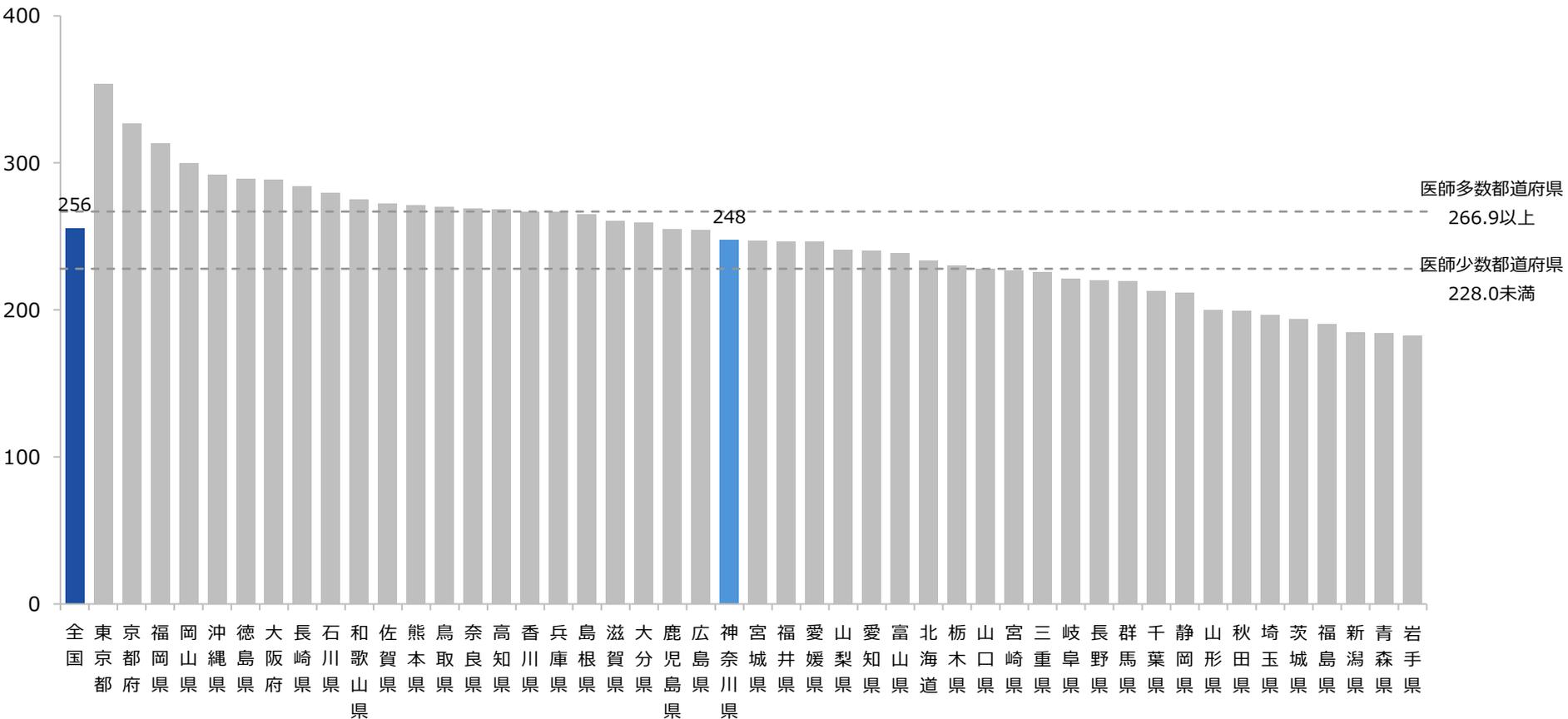


# 都道府県別の医師偏在指標

医師偏在指標を他の都道府県と比較しています。

都道府県全体で医師数が不足している場合、当該医療圏での医師確保は比較的困難となります。

当該医療圏以外の動向も含めて整理をする必要があります。



出典：「医師偏在指標関連データ（令和6年1月公表版）」（厚生労働省）

# 横浜医療圏 | 診療科別医師数

当該医療圏の65歳以上人口10万人あたりの医師数を、診療科別で比較しています。

地域内に不足している診療科を確認できます。

区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差			区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		
		医療圏	全国	圏域-全国	割合				医療圏	全国	圏域-全国	割合	
内科系	内科	155.1	86.5	68.6	+79%		小児・	小児科	54.3	25.2	29.2	+116%	
	呼吸器内科	21.9	9.9	12	+122%		周産期	小児外科	1.5	1.2	0.3	+27%	
	循環器内科	34	19.1	14.9	+78%			産婦人科	36.9	16	20.9	+130%	
	消化器内科(胃腸内科)	50.2	22.6	27.6	+123%			産科	1.6	0.7	0.9	+132%	
	腎臓内科	20.3	8	12.3	+154%			婦人科	6.3	2.9	3.4	+116%	
	脳神経内科	19.4	8.3	11.2	+136%		眼科・耳鼻・	眼科	42.4	19.2	23.2	+121%	
	糖尿病内科(代謝内科)	18.8	8.4	10.4	+123%		皮膚・美容	耳鼻いんこう科	29.2	13.3	15.9	+120%	
	血液内科	6.8	4.2	2.6	+62%			皮膚科	35.3	14.2	21.1	+149%	
	アレルギー科	1	0.3	0.7	+269%			美容外科	4.6	1.8	2.8	+159%	
	リウマチ科	6.8	2.7	4.1	+151%		麻酔・	麻酔科	29.5	14.6	14.9	+102%	
	感染症内科	0.8	0.9	-0.1	▲13%		集中治療系	救急科	12.6	5.5	7.1	+128%	
外科系	外科	18.6	18.1	0.5	+3%			集中治療科	5.6	1.3	4.3	+334%	
	呼吸器外科	5.8	3	2.7	+91%		放射線・	放射線科	20.1	10.3	9.8	+95%	
	心臓血管外科	8.8	4.6	4.2	+92%		検査系	病理診断科	6	3.2	2.8	+88%	
	乳腺外科	6.8	3.3	3.6	+110%			臨床検査科	1.6	0.9	0.7	+77%	
	気管食道外科	0.1	0.1	0	▲25%		リハビリ	リハビリテーション科	9	4.4	4.7	+107%	
	消化器外科(胃腸外科)	19.6	8.2	11.4	+139%		精神	精神科	51.3	23.8	27.5	+115%	
	泌尿器科	23.6	11.2	12.4	+111%			心療内科	2.8	1.2	1.6	+131%	
	肛門外科	2.2	0.6	1.5	+243%		その他	その他	86.7	36.7	49.9	+136%	
	脳神経外科	20.1	10.6	9.5	+89%		総計	総計	953	463.3	489.7	+106%	
	整形外科	64.7	31.8	32.9	+103%								
	形成外科	10.1	4.5	5.6	+123%								

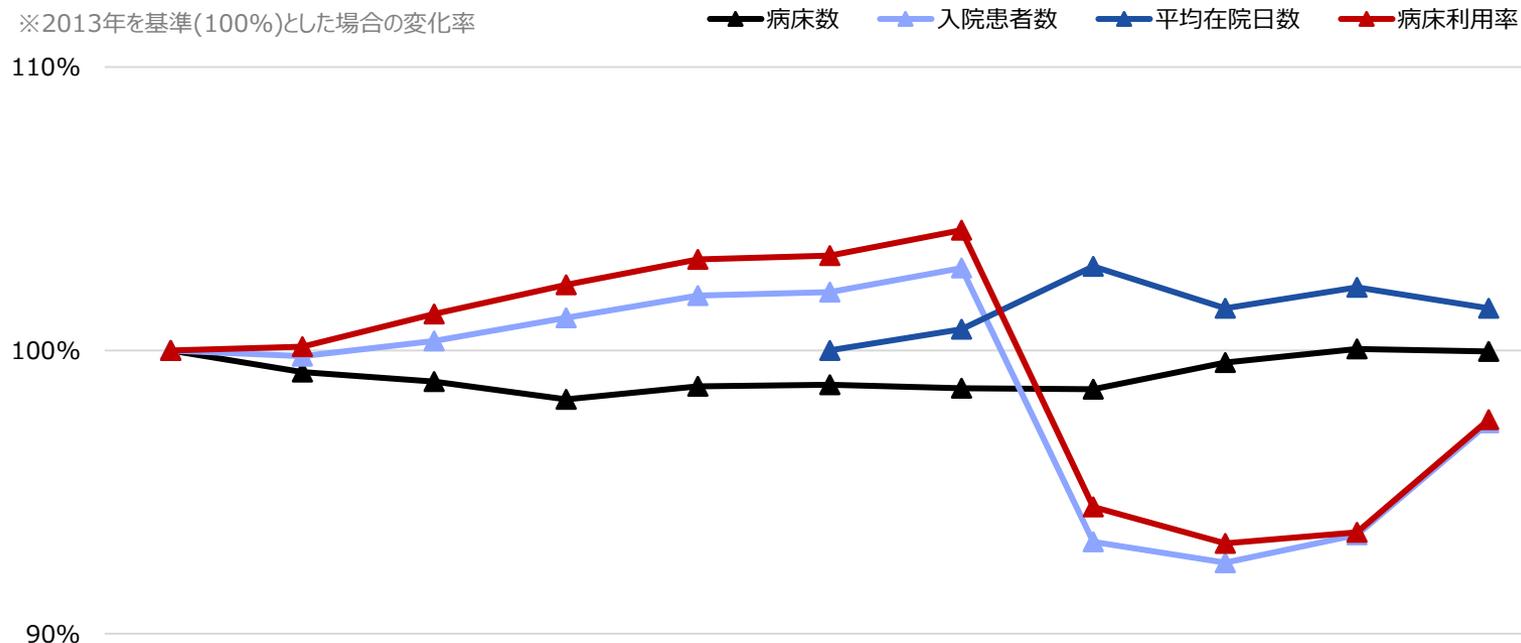
# 横浜医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般病床）

当該医療圏の一般病床における、診療実績の推移を示しています。

入院患者数が減少しているか、また、それが平均在院日数の短縮によるものかを確認します。

入院患者数の減少に合わせて病床数が減少しているか、病床利用率が低下していないか確認します。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



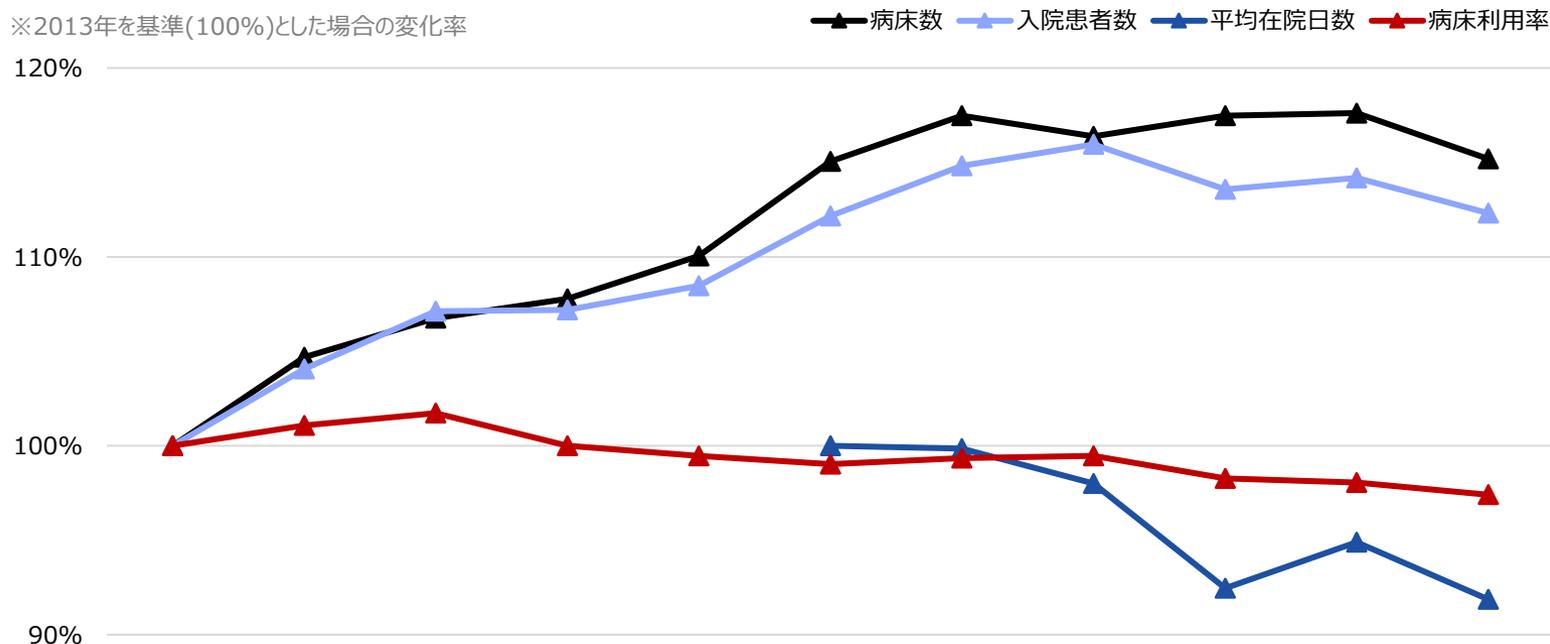
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	18,502	18,360	18,299	18,182	18,266	18,278	18,254	18,249	18,422	18,511	18,495	▲0.0%
入院患者数 (人/日)	14,400	14,371	14,447	14,566	14,678	14,696	14,818	13,427	13,321	13,462	14,032	▲2.6%
平均在院日数 (日)						13.5	13.6	13.9	13.7	13.8	14	-
病床利用率 (%)	77.8	77.9	78.8	79.6	80.3	80.4	81.1	73.5	72.5	72.8	76	▲2.4%

※医療圏再編に伴い、2013～2017年の平均在院日数のデータなし

# 横浜医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（療養病床）

当該医療圏の療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



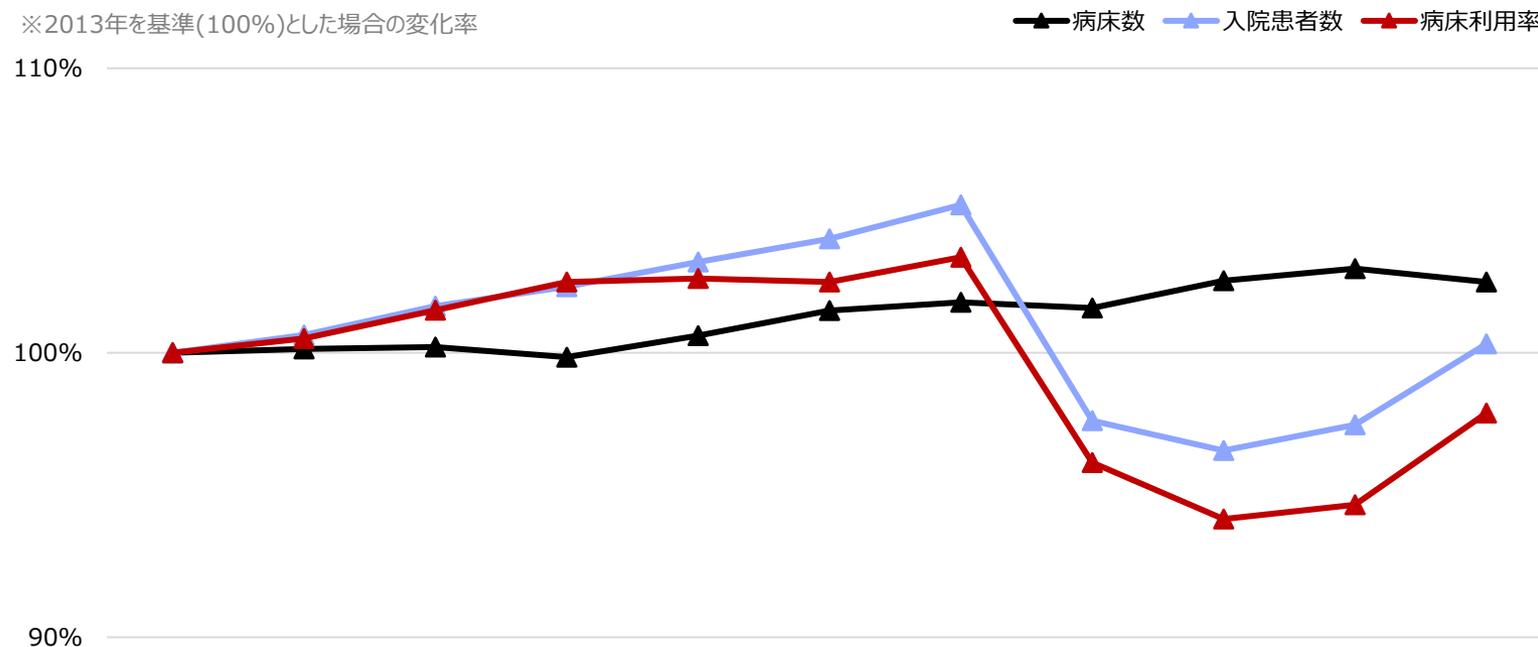
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	3,673	3,845	3,921	3,959	4,042	4,226	4,315	4,275	4,315	4,320	4,231	+15.2%
入院患者数 (人/日)	3,434	3,574	3,679	3,681	3,725	3,852	3,943	3,982	3,900	3,921	3,857	+12.3%
平均在院日数 (日)						135.3	135.1	132.6	125.1	128.4	124	-
病床利用率 (%)	92.6	93.6	94.2	92.6	92.1	91.7	92.0	92.1	91.0	90.8	90	▲2.6%

※医療圏再編に伴い、2013～2017年の平均在院日数のデータなし

# 横浜医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般+療養）

当該医療圏の一般病床と療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



※医療圏再編に伴い、2013～2017年の平均在院日数のデータなし

# 神奈川県 | 都道府県内の医療圏の入院患者数と平均在院日数

都道府県内の二次医療圏ごとの、入院患者数の推移と平均在院日数の変化を示しています。

都道府県全体と近隣の医療圏と比較することで、各医療圏の傾向を確認できます。

医療圏	入院患者数(総数)					平均在院日数						
	2013年		2018年		2023年		2013年		2018年		2023年	
	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	実績	2013年比	実績	2013年比		
全国	1,275,347	1,246,867	▲2.2%	1,123,654	▲11.9%	30.6	27.8	▲9.2%	26.3	▲14.1%		
神奈川県	58,986	59,863	+1.5%	57,166	▲3.1%	23.5	21.8	▲7.2%	21.6	▲8.1%		
川崎北部	4,153	4,710	+13.4%	4,513	+8.7%	25.0	23.2	▲7.2%	21.4	▲14.4%		
川崎南部	3,685	3,761	+2.1%	3,578	▲2.9%	16.5	14.3	▲13.3%	14.3	▲13.3%		
横須賀・三浦	4,768	4,445	▲6.8%	4,511	▲5.4%	20.9	19.3	▲7.7%	20.6	▲1.4%		
湘南東部	3,962	4,211	+6.3%	4,296	+8.4%	25.3	22.9	▲9.5%	22.9	▲9.5%		
湘南西部	5,455	5,315	▲2.6%	4,791	▲12.2%	28.1	27.1	▲3.6%	25.8	▲8.2%		
県央	4,986	5,152	+3.3%	5,369	+7.7%	27.2	26.8	▲1.5%	27.0	▲0.7%		
相模原	6,223	5,938	▲4.6%	5,381	▲13.5%	27.3	24.7	▲9.5%	23.9	▲12.5%		
県西	3,372	3,307	▲1.9%	2,850	▲15.5%	35.4	33.7	▲4.8%	32.4	▲8.5%		
横浜	22,382	23,024	+2.9%	21,877	▲2.3%	-	20.3	-	20.3	-		

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	昭和大学横浜市北部病院	345.9	330	739.4	120.7	23.8	45.1	1,380.7
2	横浜労災病院	276.0	274	731.8	46.8	33.9	38.0	1,247.7
3	昭和大学藤が丘病院	269.2	256	664.3	1.0	25.7	43.9	1,124.6
4	済生会 横浜市東部病院	256.1	248	794.3	41.6	36.0	52.7	1,344.1
5	横浜市内市民病院	271.0	156	771.3	86.8	34.0	52.6	1,365.8
6	横浜総合病院	74.2	56	288.1	34.1	47.2	33.1	543.4
7	菊名記念病院	64.2	54	271.6	27.6	44.6	23.3	509.9
8	横浜新緑総合病院	47.5	40	233.7	37.2	71.0	12.6	452.1
9	汐田総合病院	47.9	37	180.3	49.3	61.0	11.6	390.7
10	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	28.3	27	110.3	2.9	65.2	0	211.7
11	済生会 神奈川県病院	29.7	24	191.4	18.5	34.0	14.5	329.2
12	横浜新都市脳神経外科病院	33.3	23	646.5	119.5	221.6	48.5	1,194.1
13	横浜石心会病院	21.0	18	58.7	3.0	0	0	95.7
14	牧野記念病院	26.7	16	114.8	33.8	18.6	6.2	230.1
15	大口東総合病院	21.0	16	102.4	12.0	6.0	6.0	153.4
16	平和病院	23.0	16	111.4	23.6	11.0	6.6	193.9
17	新横浜リハビリテーション病院	14.0	14	112.3	43.1	132.0	6.0	319.4
18	江田記念病院	19.3	13	89.1	33.4	0	0	150.4
19	横浜鶴見リハビリテーション病院	10.7	10	111.2	32.7	89.0	10.6	265.2
20	鴨居病院	12.8	9	64.4	33.4	7.0	4.3	130.9
21	大倉山記念病院	23.2	9	132.8	22.0	32.0	3.8	225.8
22	済生会 東神奈川リハビリテーション病院	8.4	8	63.0	25.0	88.8	4.0	195.7
23	横浜田園都市病院	8.3	8	84.7	91.4	7.0	6.4	204.8
24	ふれあい鶴見ホスピタル	9.4	7	76.7	34.5	63.0	5.0	199.6
25	脳神経外科東横浜病院	8.7	7	36.3	11.4	8.1	2.2	82.7

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 医療機関別職員数②

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	元気会 横浜病院	9.3	6	80.7	84.6	11.0	4.6	202.0
27	新横浜母と子の病院	11.4	6	36.5	19.2	0	2.8	77.9
28	市ヶ尾病院	6.0	6	56.8	27.0	43.2	3.6	159.6
29	青葉さわい病院	12.3	6	100.3	16.5	47.1	4.8	191.7
30	高田中央病院	10.5	5	35.5	6.6	13.8	2.3	77.6
31	古川病院	9.0	5	51.6	25.4	6.0	2.6	102.7
32	緑協和病院	7.5	5	56.0	36.0	6.6	3.4	115.0
33	佐々木病院	10.8	5	50.0	11.0	11.0	2.0	94.8
34	山本記念病院	11.8	4	43.7	46.0	12.4	2.1	121.0
35	竹山病院	4.0	4	43.4	16.2	8.0	2.7	77.3
36	片山整形外科記念病院	5.6	4	32.2	4.2	3.0	1.9	50.9
37	徳田病院	7.3	3	32.4	18.6	0	2.8	68.7
38	つづき病院	4.6	3	35.5	32.7	0	1.0	73.8
39	牧野リハビリテーション病院	5.4	3	61.8	36.0	51.6	5.0	164.8
40	新横浜こころのホスピタル	6.0	3	66.7	33.5	4.0	3.4	116.8
41	あおばウィメンズホスピタル	4.2	2	13.6	2.5	0	1.0	21.3
42	鶴見大学歯学部附属病院	4.0	2	22.0	0	0	2.0	226.0
43	生麦病院	5.2	2	17.0	9.3	2.0	0	36.5
44	仁恵病院	3.2	1	12.3	9.6	0	1.3	28.2
45	森山病院	5.0	1	26.9	11.4	0	2.0	46.3
46	たちばな台病院	0	0	83.2	28.6	8.0	5.0	154.8
	総計	2,092.9	1,752	7,738.9	1,460.2	1,388.2	493.3	14,749.3

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	152.8	146	557.9	56.4	29.0	32.0	923.2
2	神奈川県立がんセンター	156.8	140	533.9	10.5	8.7	38.7	814.6
3	けいゆう病院	139.8	129	413.0	2.8	17.0	27.8	681.6
4	NHO横浜医療センター	174.8	125	587.5	21.9	22.0	27.0	919.0
5	横浜旭中央総合病院	121.8	106	382.8	44.9	126.0	42.0	819.5
6	国際親善総合病院	82.8	68	330.9	43.1	33.0	16.6	558.4
7	聖隷横浜病院	89.3	61	299.4	42.8	47.7	25.0	582.6
8	東戸塚記念病院	63.2	55	324.8	37.4	49.0	22.3	565.4
9	JCHO横浜保土ヶ谷中央病院	45.1	45	195.8	15.5	13.0	8.0	319.7
10	戸塚共立第2病院	42.4	28	116.7	34.6	28.0	8.0	274.1
11	西横浜国際総合病院	33.6	26	137.7	55.9	51.8	13.5	334.1
12	戸塚共立第1病院	122.0	25	167.0	32.0	22.0	16.0	403.0
13	松島病院	29.2	24	90.8	21.5	0	8.1	167.7
14	上白根病院	23.0	23	137.6	35.2	22.0	4.8	245.8
15	ゆめが丘総合病院	79.0	21	119.0	22.0	15.0	10.0	270.0
16	横浜鶴ヶ峰病院	29.2	20	75.3	28.2	9.0	2.8	174.9
17	平成横浜病院	27.0	17	119.3	37.5	94.0	8.6	336.6
18	横浜相原病院	13.4	11	105.8	75.1	0	0	198.3
19	イムス横浜東戸塚総合リハビリ病院	15.0	9	142.7	45.1	146.8	7.3	370.9
20	横浜第一病院	17.8	9	53.5	22.4	1.5	3.7	127.6
21	戸塚病院	14.6	8	59.2	15.2	12.1	9.7	123.4
22	新中川病院	8.0	6	62.1	37.4	0	4.3	117.2
23	亀田病院	10.2	6	44.4	2.2	9.0	6.0	83.9
24	イムス横浜狩場脳神経外科病院	11.9	6	98.0	15.9	110.0	5.0	258.8
25	戸塚共立いずみ野病院	7.4	6	58.0	23.2	39.2	6.8	147.6

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 医療機関別職員数②

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	横浜いずみ台病院	6.0	6	70.4	46.2	9.0	6.0	142.6
27	横浜療育医療センター	10.4	6	70.6	47.5	20.3	4.0	160.5
28	横浜甞生病院	7.0	5	51.0	15.0	0	0	75.0
29	瀬谷ふたつ橋病院	75.0	5	46.0	28.0	6.0	4.0	173.0
30	赤枝病院	7.8	5	59.7	41.5	8.1	3.6	127.9
31	育生会 横浜病院	7.8	4	56.3	20.2	6.0	3.8	103.0
32	十慈堂病院	4.6	4	9.9	9.0	0	0	23.5
33	ふれあい東戸塚ホスピタル	6.3	4	61.4	25.6	73.0	5.9	192.2
34	堀病院	6.0	3	47.9	7.0	0	2.0	68.3
35	イムス横浜旭リハビリテーション病院	1.0	1	44.8	1.0	30.0	4.0	88.8
36	三ツ境病院	2.9	1	20.9	12.1	2.0	2.0	41.9
	総計	1,644.9	1,164	5,752.0	1,031.8	1,060.2	389.3	11,014.6

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	横浜市立大学附属病院	592.8	559	804.5	52.2	29.0	59.8	1,715.4
2	横浜市立大学附属市民総合医療センター	485.4	474	965.5	68.4	32.4	57.6	1,806.7
3	横浜市立みなと赤十字病院	237.1	222	656.2	41.6	33.0	40.3	1,125.7
4	K K R横浜南共済病院	174.1	174	663.1	41.5	0	0	961.3
5	神奈川県立子ども医療センター	170.1	157	613.4	1.0	6.2	27.5	890.4
6	済生会 横浜市南部病院	166.0	156	599.8	22.3	19.0	40.6	950.5
7	K K R横浜栄共済病院	125.3	113	425.3	45.0	18.0	21.0	718.2
8	J C H O横浜中央病院	49.5	47	182.3	19.6	9.0	12.0	315.4
9	神奈川県立循環器呼吸器病センター	49.6	42	193.1	17.1	8.0	15.7	335.3
10	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	39.9	33	248.4	35.2	99.3	20.0	486.8
11	磯子中央病院	26.0	19	106.6	44.8	39.5	9.6	248.9
12	康心会汐見台病院	25.3	18	123.3	46.5	69.2	5.5	291.7
13	横浜掖済会病院	18.6	15	61.5	8.4	7.6	5.3	117.3
14	済生会 若草病院	20.0	15	115.5	35.1	42.5	5.5	233.6
15	横浜医療福祉センター港南	14.0	14	111.8	71.9	30.0	5.0	240.7
16	金沢文庫病院	19.5	13	91.0	28.1	26.6	10.5	196.4
17	関東病院	8.7	8	182.4	43.1	22.0	3.6	266.3
18	横浜東邦病院	13.3	8	61.1	13.7	18.0	5.5	125.4
19	横浜なみきりハビリテーション病院	8.9	8	117.7	34.7	125.4	8.6	308.5
20	ふれあい横浜ホスピタル	13.9	8	72.4	8.9	44.7	2.0	157.2
21	金沢病院	30.9	8	91.5	26.4	45.2	6.6	218.6
22	長田病院	12.3	7	49.8	21.4	17.0	4.0	112.1
23	よこはま港南台地域包括ケア病院	10.3	6	65.0	21.5	11.8	4.4	116.0
24	佐藤病院	9.4	5	72.9	23.9	50.0	4.6	176.8
25	港南台病院	6.7	4	43.5	6.4	4.8	6.7	77.2

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 医療機関別職員数②

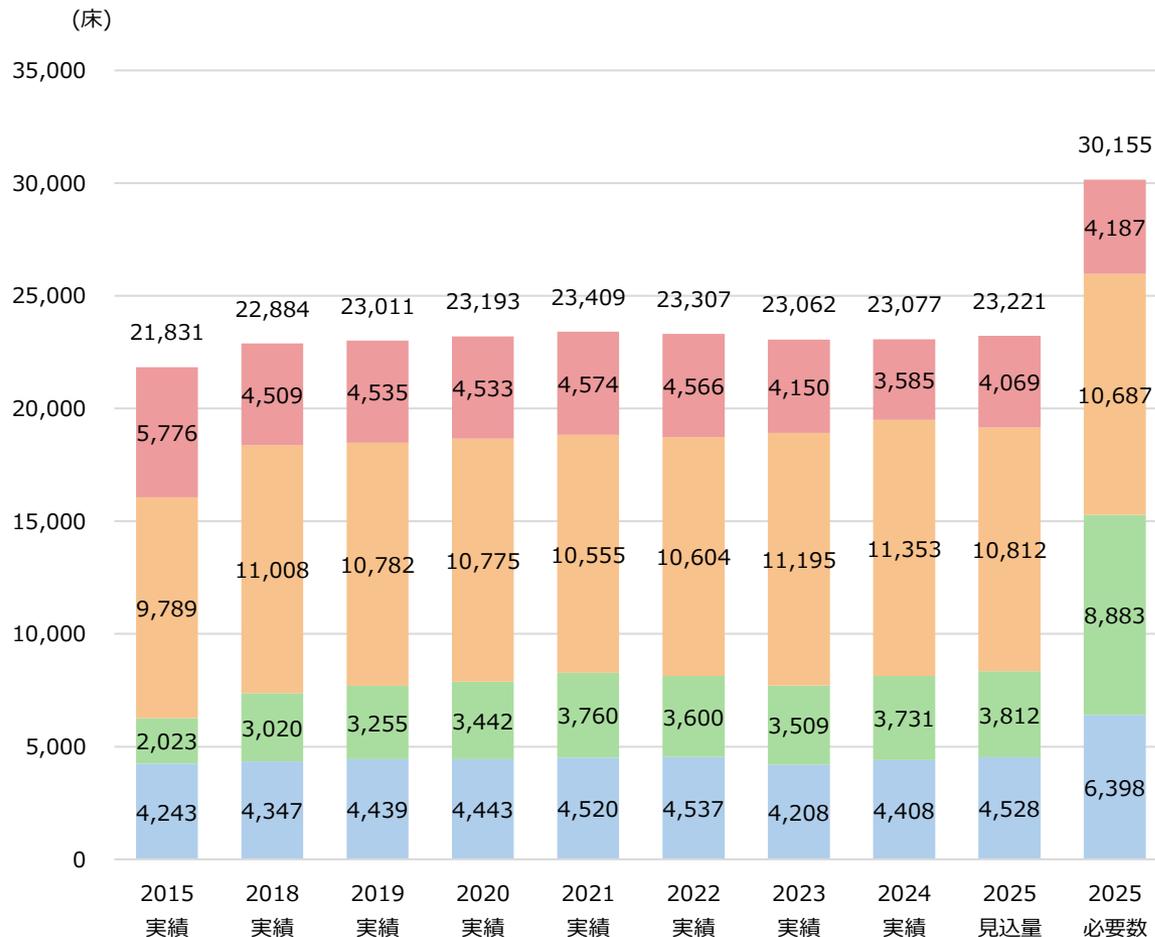
No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	本牧病院	7.1	4	38.2	11.8	2.2	4.6	70.3
27	東條ウイメンズホスピタル	4.7	4	17.0	7.0	0	1.0	30.7
28	横浜じんせい病院	4.5	2	17.2	12.3	3.0	2.0	46.4
29	朝倉病院	5.4	2	35.9	0	27.0	2.8	77.1
30	清水ヶ丘病院	2.0	1	18.8	14.1	0	1.2	38.3
31	秋山脳神経外科病院	0	0	33.9	4.0	12.0	4.1	63.5
	総計	2,351.3	2,146	6,878.6	827.9	852.4	397.6	12,518.7

# 横浜区域 | 病床機能別の病床数の推移と必要病床数

当該構想区域の病床機能別の病床数の推移と、2025年の必要病床数を示しています。

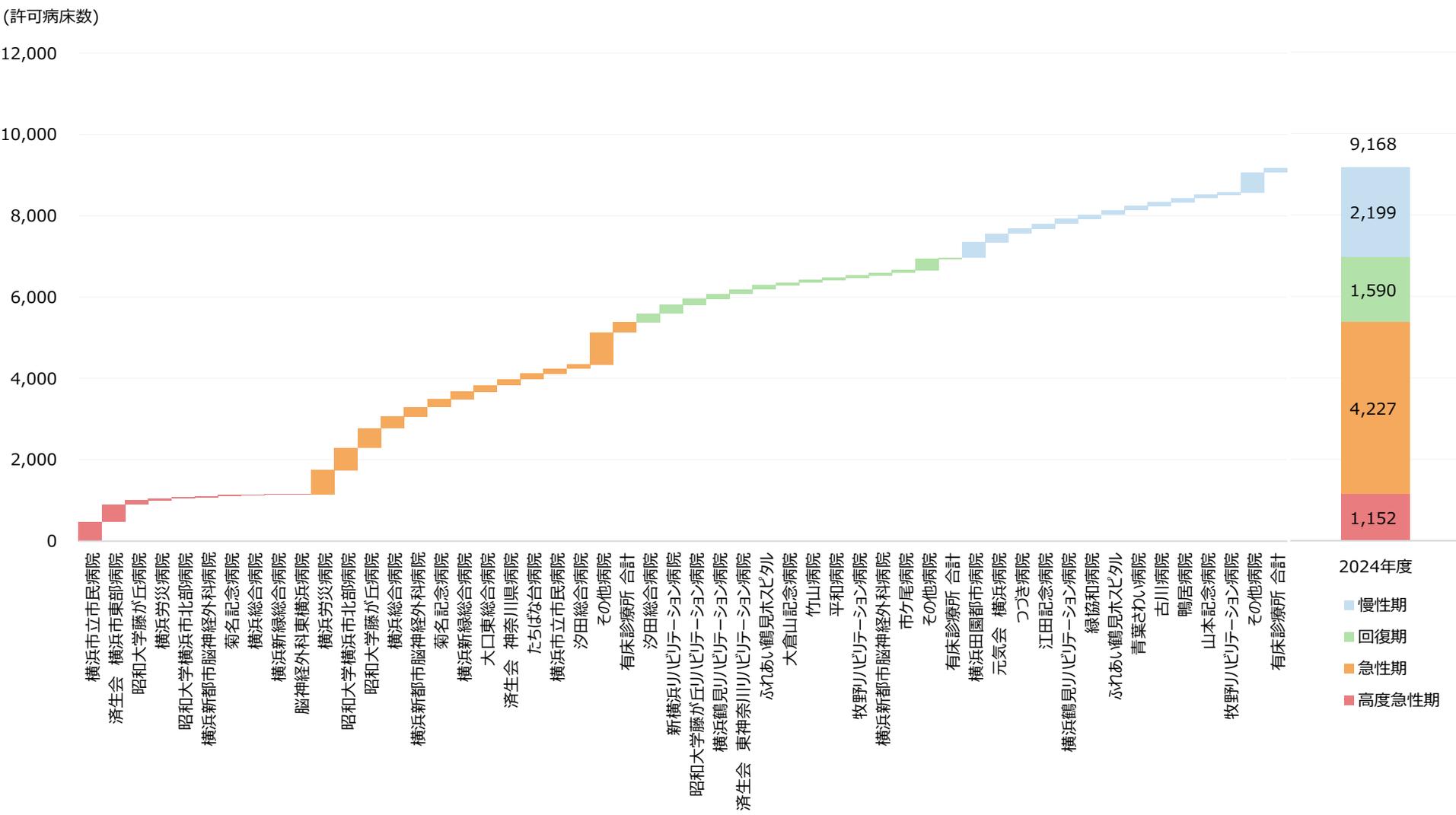
病床数全体の推移だけでなく、機能ごとの増減や、必要病床数との差を検証します。

高度急性期・急性期が少ない場合は急性期の確保、回復期が少ない場合は機能分化が課題として挙げられます。



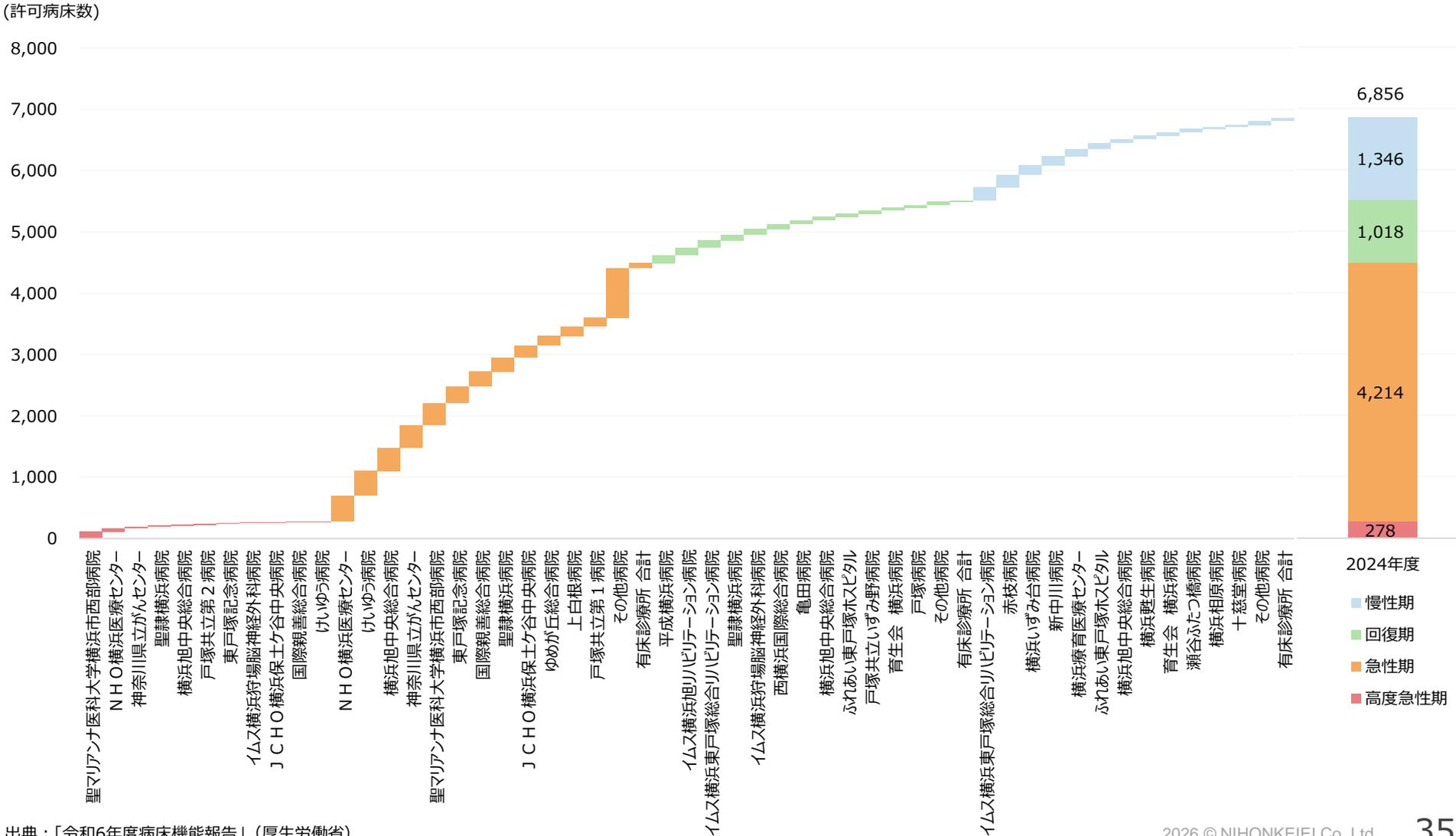
病床機能	2024年 7月時点	2025年 必要数	差分
高度急性期	3,585	4,187	▲602
急性期	11,353	10,687	+666
回復期	3,731	8,883	▲5,152
慢性期	4,408	6,398	▲1,990
合計	23,077	30,155	▲7,078

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



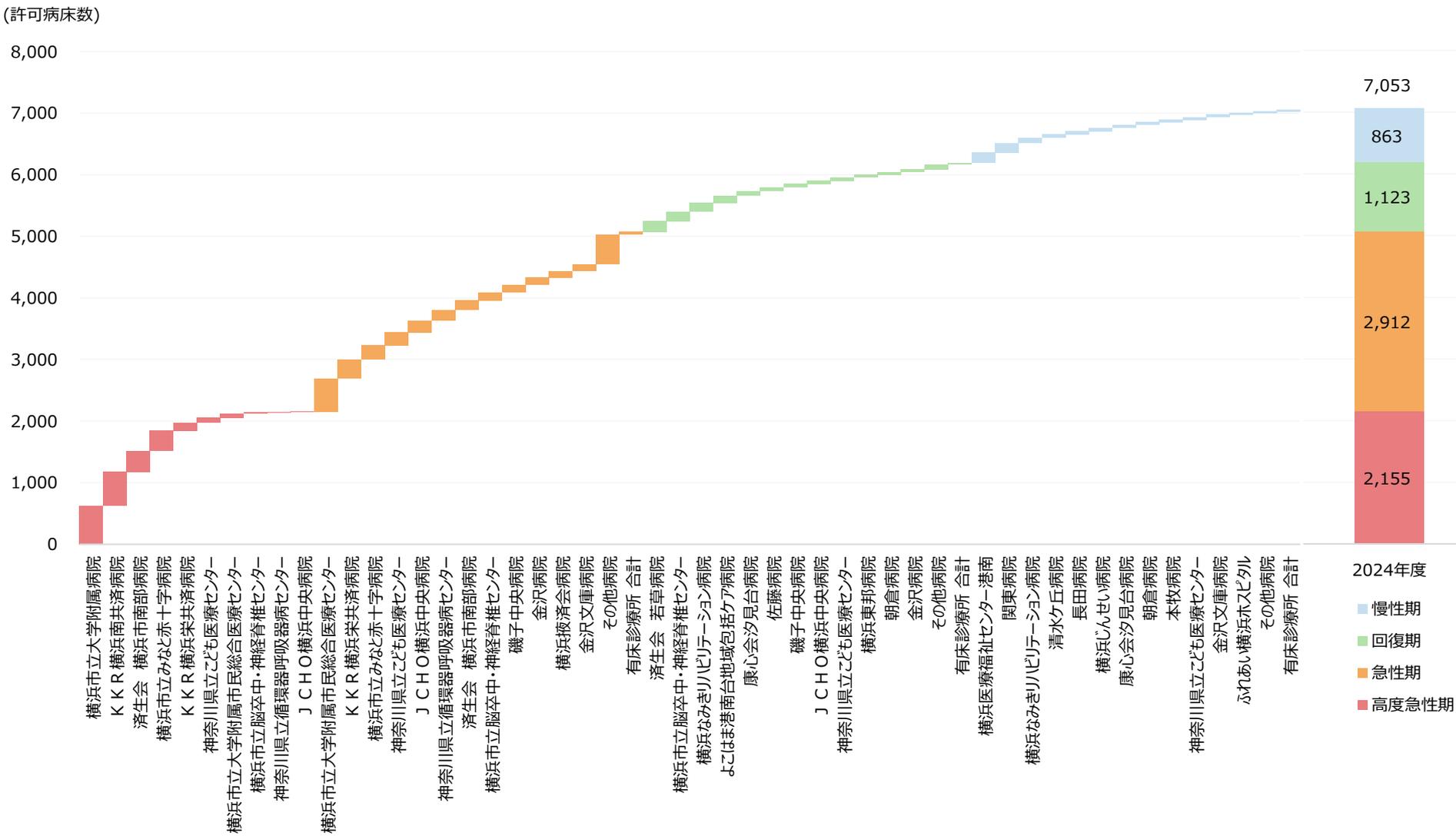
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



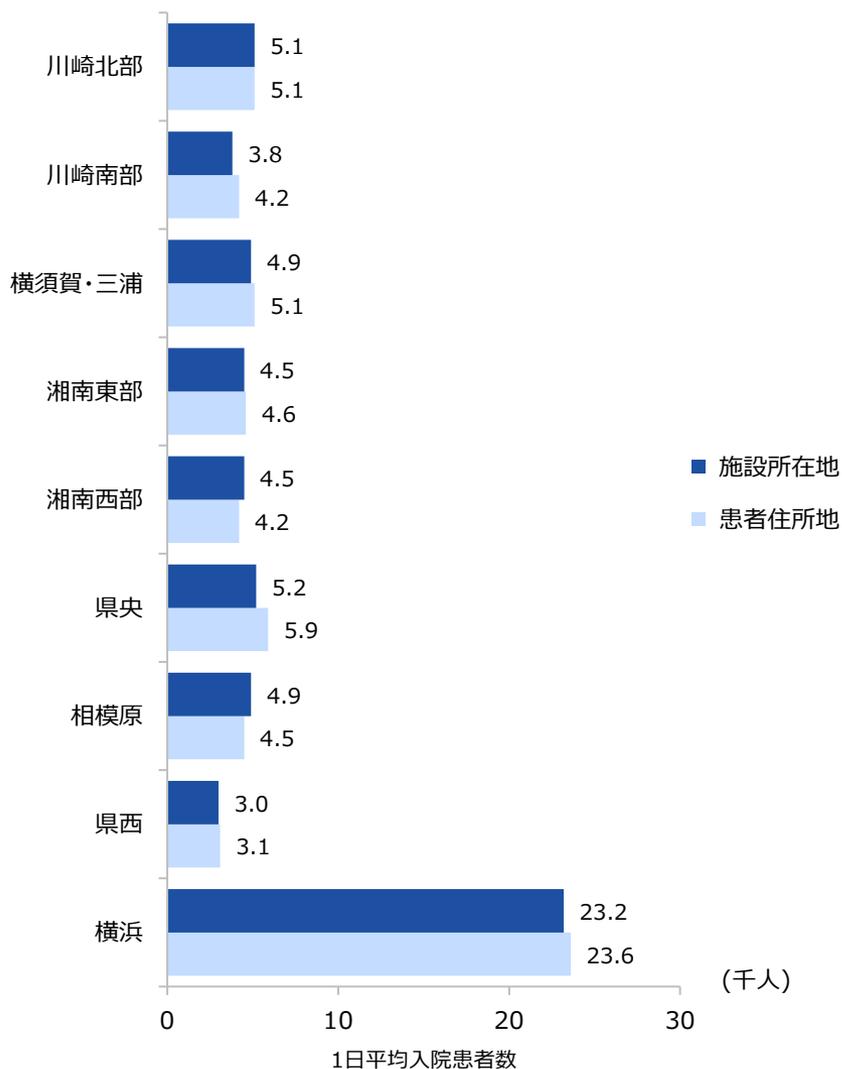
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）



# 神奈川県 | 二次医療圏別の1日平均入院患者数

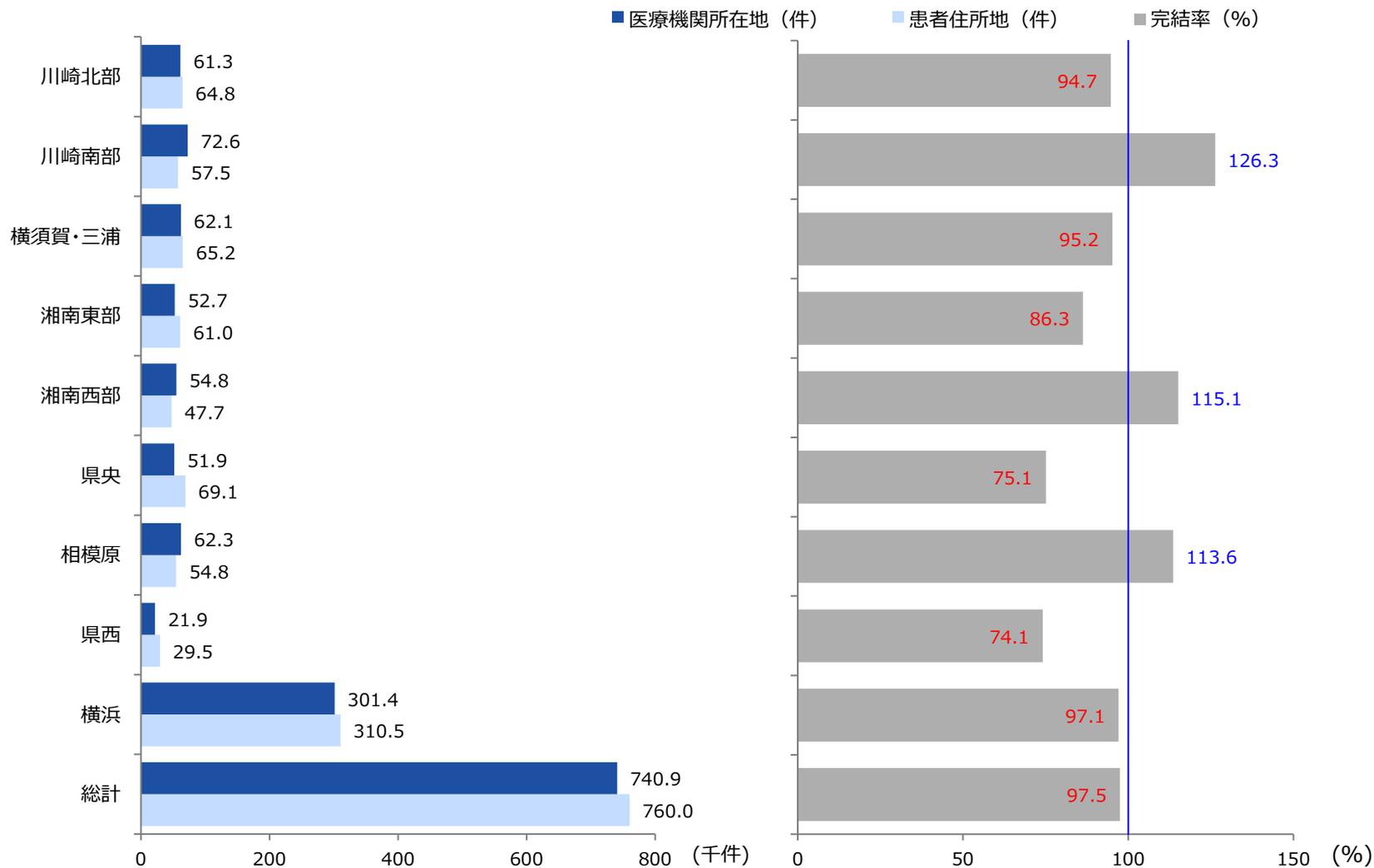
左図は、都道府県内の二次医療圏における1日平均入院患者数の流出入の状況を示しています。

右表では、当該医療圏におけるICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入を示しています。



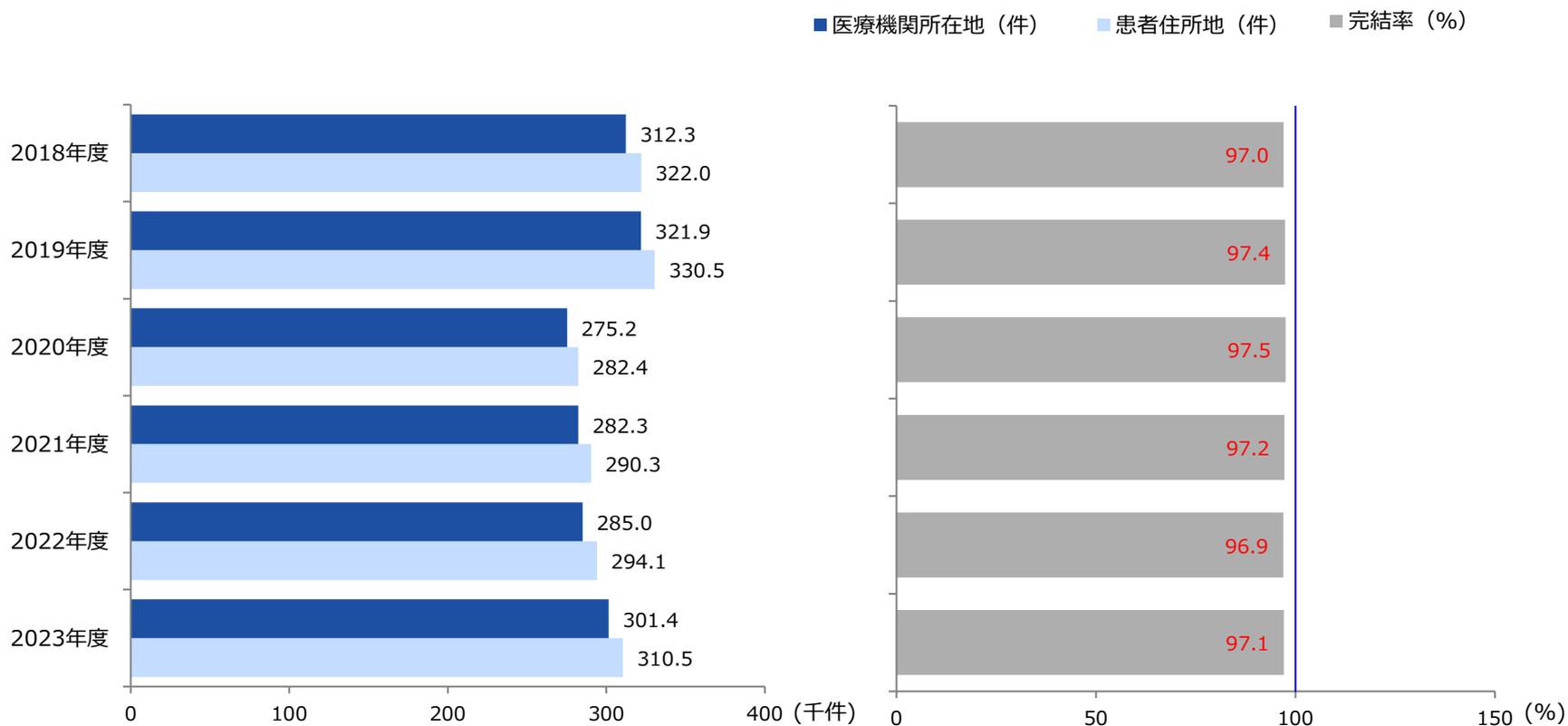
傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0.3	0.3	0
II 新生物	2.8	2.8	0
III 血液	0.1	0.1	0
IV 内分泌	0.6	0.6	0
V 精神	3.4	3.6	▲0.2
VI 神経系	1.7	1.9	▲0.2
VII 眼	0.3	0.3	0
VIII 耳	0	0.1	▲0.1
IX 循環器	4.2	4.0	0.2
X 呼吸器	1.6	1.6	0
X I 消化器	1.4	1.4	0
X II 皮膚	0.2	0.2	0
X III 筋骨格	1.7	1.7	0
X IV 腎尿路	1.2	1.2	0
X V 妊娠, 分娩	0.3	0.3	0
X VI 周産期	0.1	0.2	▲0.1
X VII 先天奇形	0.1	0.1	0
X VIII 症状, 徴候	0.1	0.2	▲0.1
X IX 損傷, 中毒	2.6	2.6	0
X X I 保健サービス	0.1	0.1	0
X X II 特殊目的用	0.4	0.4	0
総数	23.2	23.7	▲0.5

# 神奈川県 | 二次医療圏別の流出入状況 (DPC症例数)



# 横浜医療圏 | 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）

都道府県内の二次医療圏におけるDPC症例数の流出入の状況を示しています。

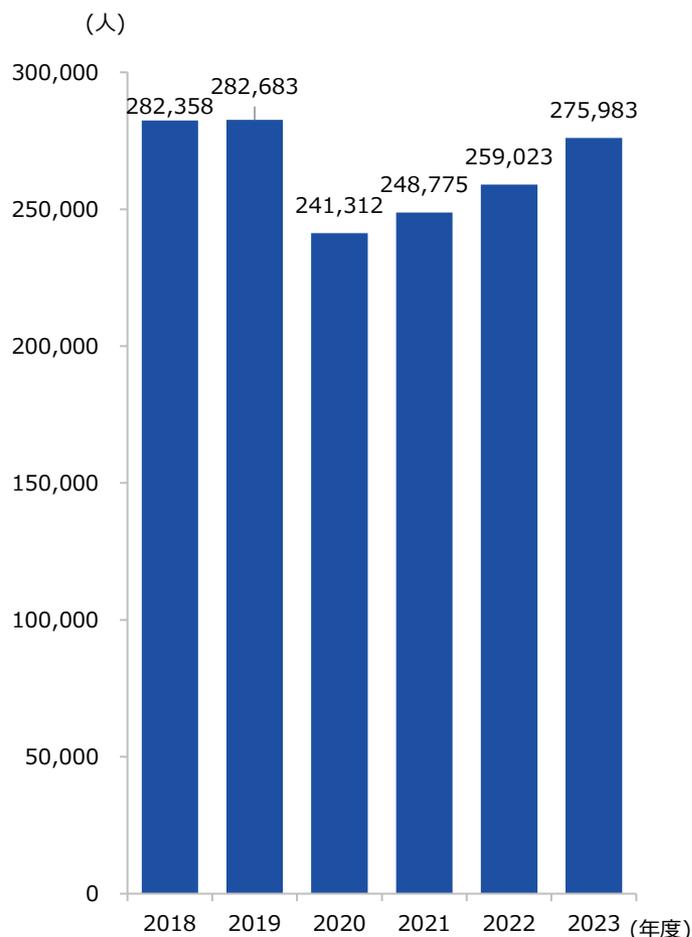


# 横浜医療圏 | MDC別退院患者数の推移（DPC病院のみ）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

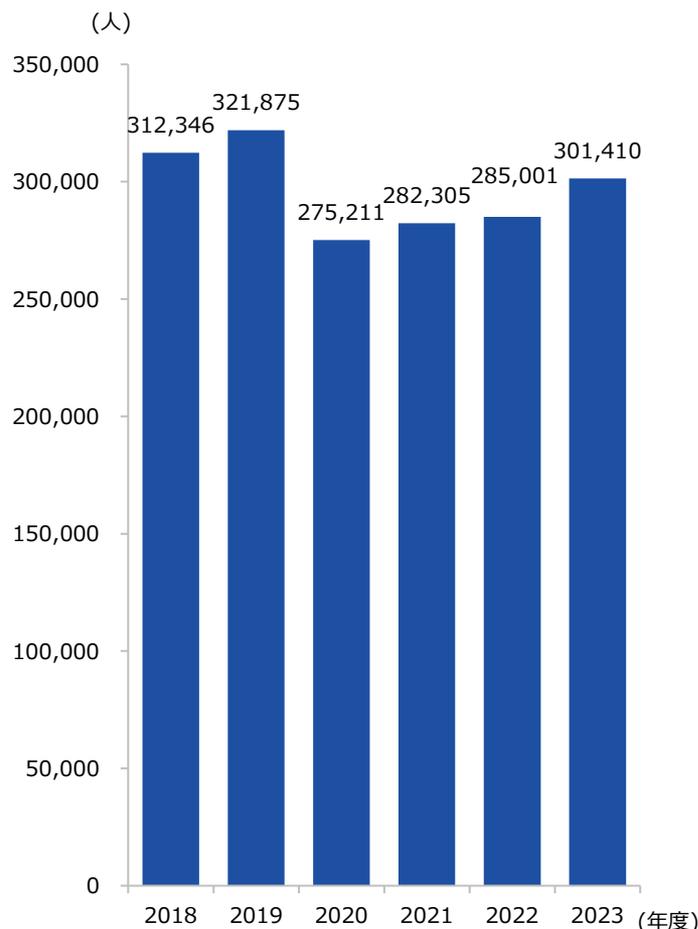
MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	19,561	19,595	17,634	17,843	18,229	19,327	▲1.2%	7.0%
MDC02 眼科系	13,495	13,123	9,645	9,572	10,403	10,568	▲21.7%	3.8%
MDC03 耳鼻咽喉科系	10,959	11,133	8,256	8,492	8,824	10,098	▲7.9%	3.7%
MDC04 呼吸器系	31,734	30,944	21,768	23,329	24,227	29,444	▲7.2%	10.7%
MDC05 循環器系	34,604	33,967	29,376	29,423	30,444	31,146	▲10.0%	11.3%
MDC06 消化器系, 肝臓・胆道・膵臓	63,279	64,345	56,150	57,548	58,924	61,168	▲3.3%	22.2%
MDC07 筋骨格系	15,289	15,197	13,449	14,139	15,074	16,151	5.6%	5.9%
MDC08 皮膚・皮下組織	4,400	4,450	3,415	3,384	3,252	3,600	▲18.2%	1.3%
MDC09 乳房	3,407	3,649	3,308	3,622	3,874	4,337	27.3%	1.6%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	9,271	9,426	8,027	7,956	8,233	9,103	▲1.8%	3.3%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	22,630	22,984	21,300	21,909	22,957	23,775	5.1%	8.6%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	15,782	15,740	14,632	15,404	15,875	16,327	3.5%	5.9%
MDC13 血液・造血器・免疫機構	6,201	6,537	6,372	6,132	6,449	6,704	8.1%	2.4%
MDC14 新生児・先天性奇形	6,492	6,251	5,468	5,898	6,026	5,957	▲8.2%	2.2%
MDC15 小児	1,408	1,175	675	815	796	976	▲30.7%	0.4%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	19,969	20,181	17,902	19,247	21,234	22,568	13.0%	8.2%
MDC17 精神	351	326	235	320	354	390	11.1%	0.1%
MDC18 その他	3,526	3,660	3,700	3,742	3,848	4,344	23.2%	1.6%
総計	282,358	282,683	241,312	248,775	259,023	275,983	▲2.3%	100.0%

# 横浜医療圏 | MDC別退院患者数の推移（出来高病院含む）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院・出来高病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

## 退院患者数：合計



## 退院患者数：MDC別

MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	20,698	21,404	19,330	19,542	19,534	20,723	0.1%	6.9%
MDC02 眼科系	18,242	19,303	14,149	14,895	15,410	14,944	▲18.1%	5.0%
MDC03 耳鼻咽喉科系	11,584	11,975	8,886	9,206	9,297	10,740	▲7.3%	3.6%
MDC04 呼吸器系	34,282	34,278	23,887	25,425	25,600	31,099	▲9.3%	10.3%
MDC05 循環器系	36,304	36,209	31,415	31,359	31,228	31,818	▲12.4%	10.6%
MDC06 消化器系、肝臓・胆道・膵臓	72,315	75,678	66,030	67,276	66,455	68,383	▲5.4%	22.7%
MDC07 筋骨格系	17,398	18,013	16,210	16,481	17,218	18,292	5.1%	6.1%
MDC08 皮膚・皮下組織	4,814	4,978	3,901	3,859	3,551	3,942	▲18.1%	1.3%
MDC09 乳房	3,545	3,795	3,429	3,728	3,904	4,371	23.3%	1.5%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	10,163	10,493	8,948	8,713	8,832	9,759	▲4.0%	3.2%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	24,411	24,995	23,831	24,154	24,872	25,648	5.1%	8.5%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	16,903	17,838	16,765	17,591	17,340	17,667	4.5%	5.9%
MDC13 血液・造血管器・免疫機構	6,597	7,068	6,880	6,696	6,824	6,991	6.0%	2.3%
MDC14 新生児、先天性奇形	6,732	6,486	5,686	6,107	6,200	6,138	▲8.8%	2.0%
MDC15 小児	1,446	1,206	700	846	826	998	▲31.0%	0.3%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	22,666	23,492	20,890	22,034	23,444	24,919	9.9%	8.3%
MDC17 精神	382	374	266	341	378	411	7.6%	0.1%
MDC18 その他	3,864	4,290	4,008	4,052	4,088	4,567	18.2%	1.5%
総計	312,346	321,875	275,211	282,305	285,001	301,410	▲3.5%	100.0%

# 3/ 医療需要の将来推計

---

人口推計と受療率をもとに、将来の医療・介護需要を整理する。

疾患領域別の患者数推計

入院・外来・在宅の需要構造

2040年以降の需要変化

将来の患者数の増減や需要構造の変化を把握し、地域医療における課題を整理する。  
需要の時間的な変化を踏まえ、機能転換や医療資源配分を検討するための基礎資料とする。

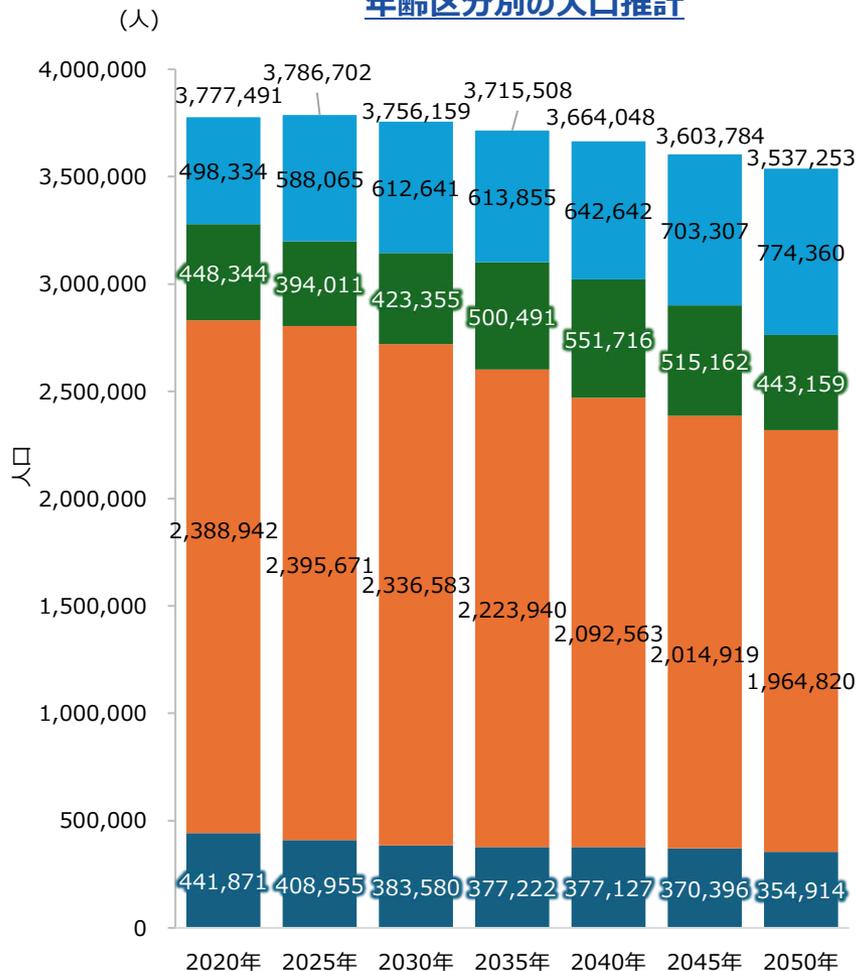
# 横浜医療圏 | 人口推計

2050年までの人口の将来推計を示しています。

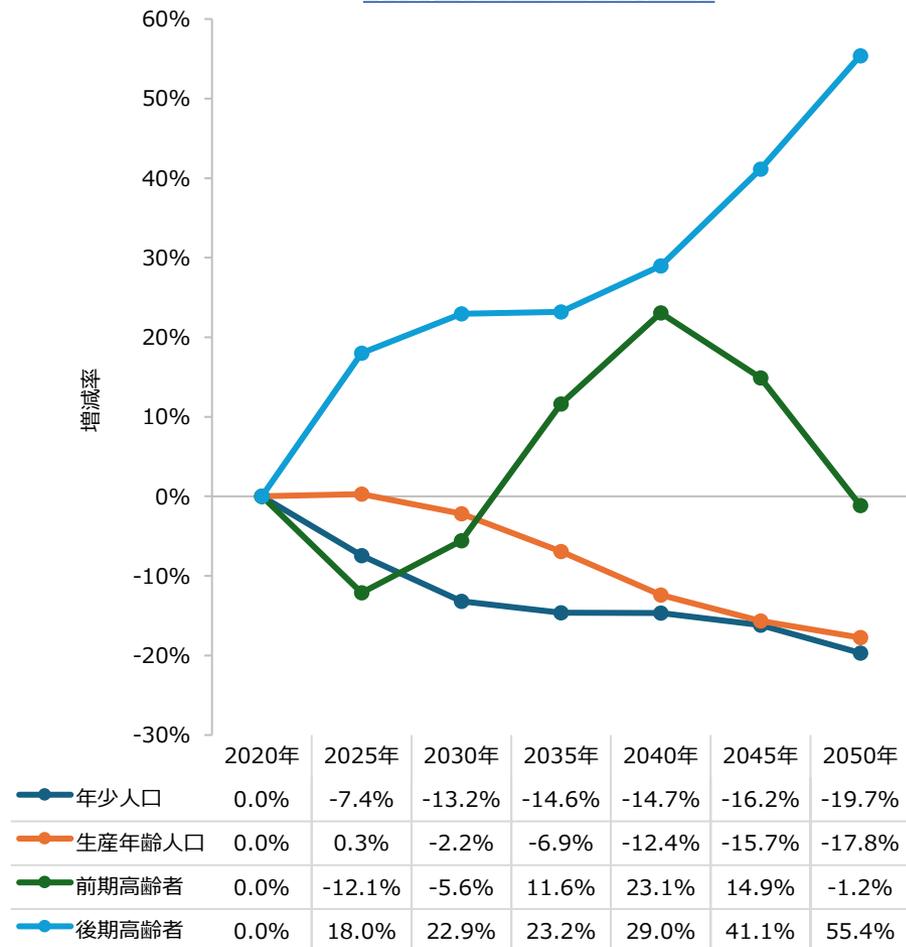
多くの地域において、総人口は減少しますが、高齢者人口は増加傾向にあります。

特に、医療介護の複合的なニーズを持つ後期高齢者の増加幅と、支え手となる生産年齢人口の減少幅について確認が必要です。

### 年齢区分別の人口推計



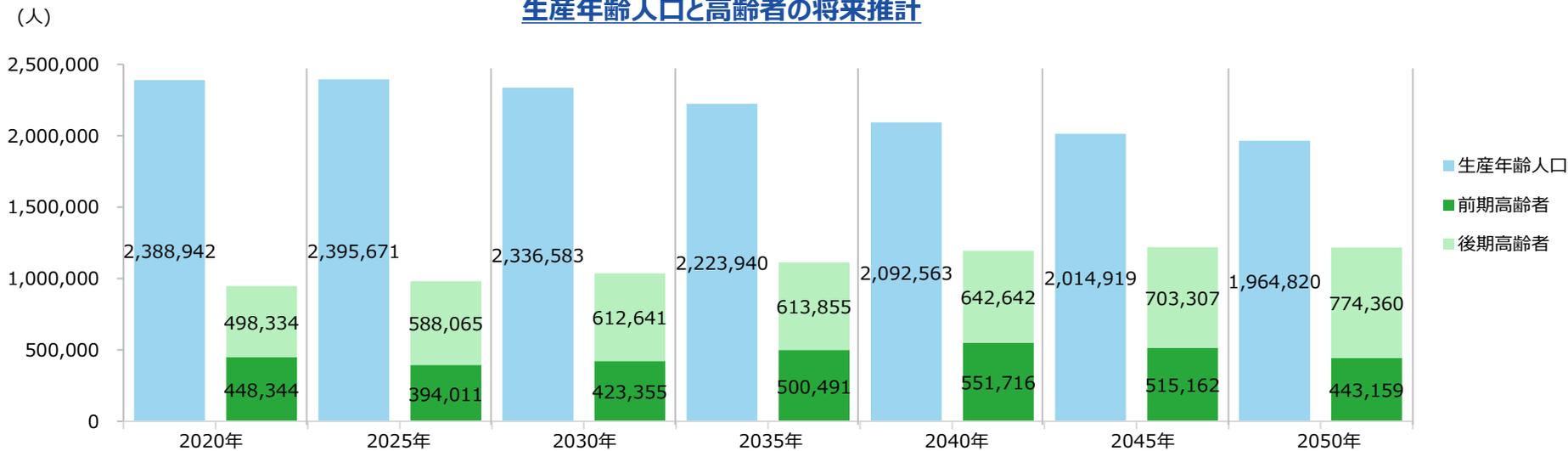
### 年齢区分別の人口増減率



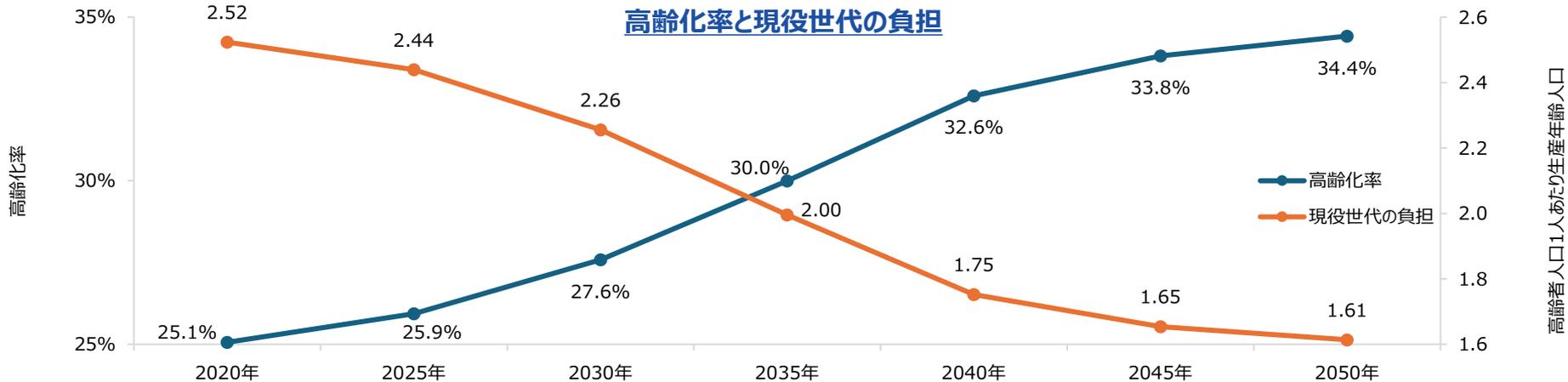
# 横浜医療圏 | 高齢化の状況

高齢化率と現役世代の負担（高齢者1人あたり生産年齢人口）を示しています。  
 全国の2020年時点の高齢化率は28.6%、現役世代の負担は2.1となっています。

生産年齢人口と高齢者の将来推計



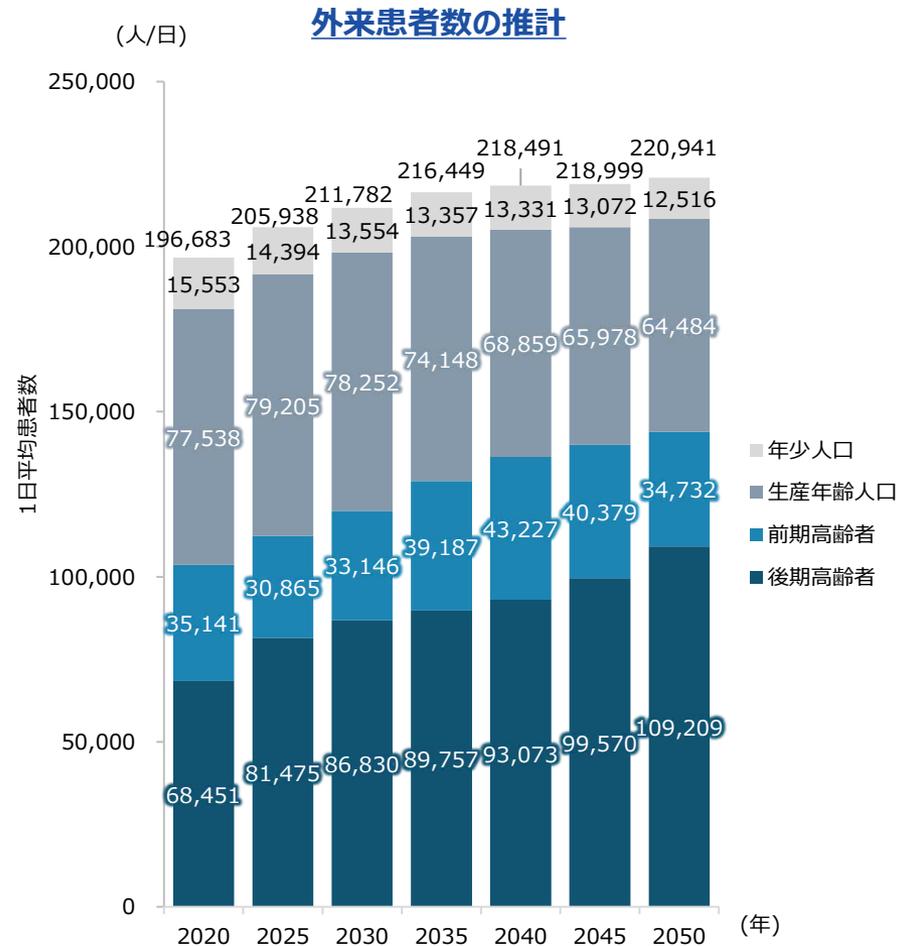
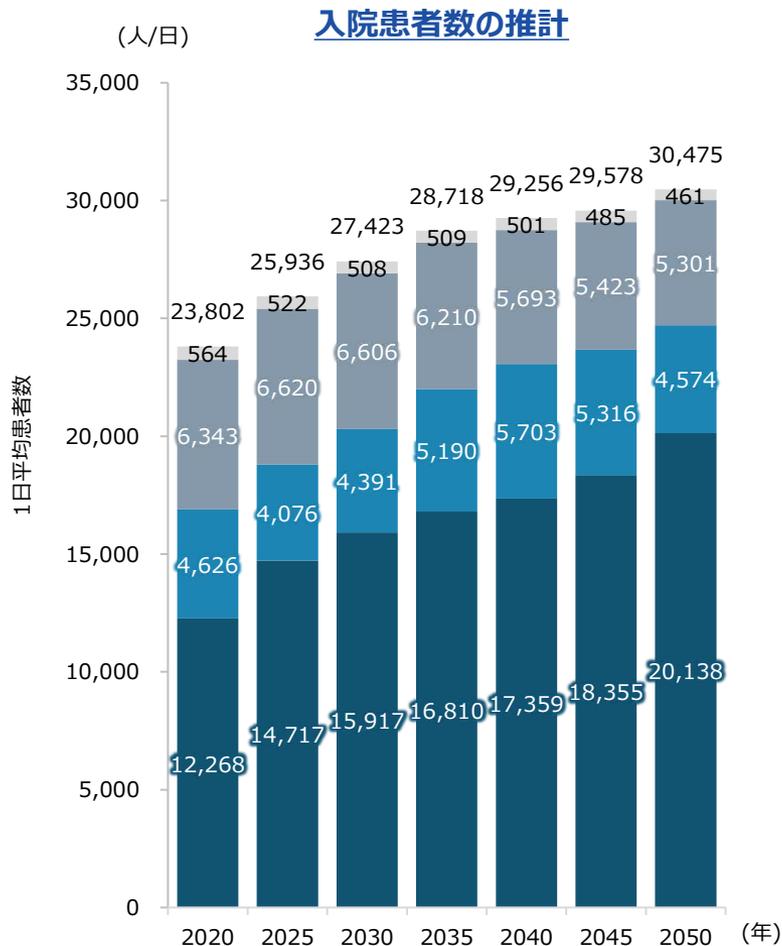
高齢化率と現役世代の負担



# 横浜医療圏 | 1日平均患者数

都道府県受療率に基づく、2050年までの入院患者数および外来患者数の需要予測を示しています。

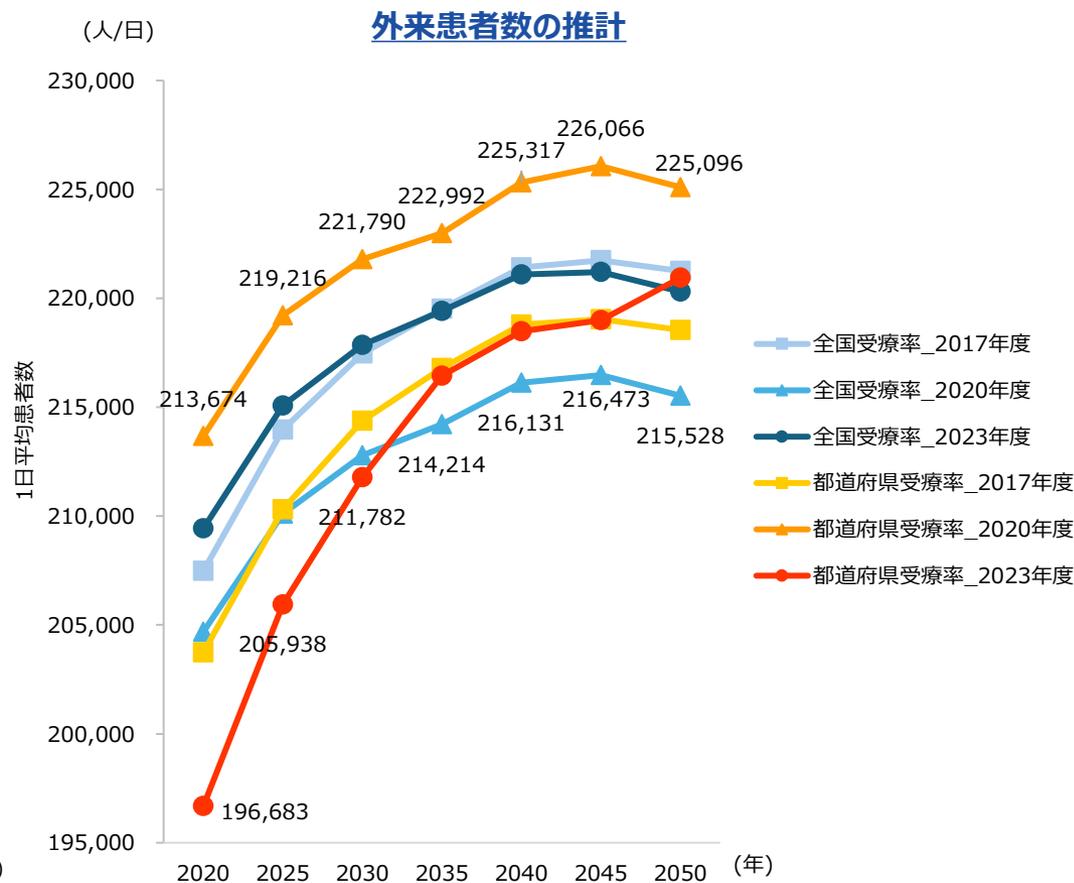
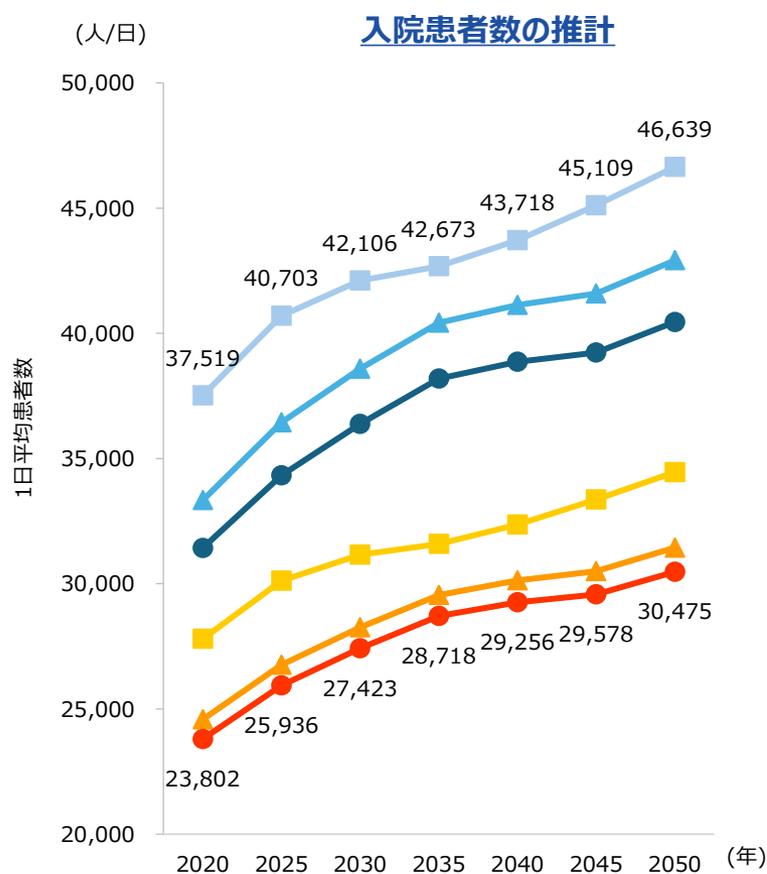
多くの地域では入院需要が増加、外来需要が減少傾向にあり、需要の変化に合わせた医療提供体制の構築が求められます。



# 横浜医療圏 | 受療率の比較

3つの調査年（2017年、2020年、2023年）における、全国および都道府県の受療率を対象医療圏の人口に乗じて算出した患者数の将来推計を示しています。

全国の受療率よりも受療率が高い場合は、入院需要の縮小のリスクが想定されます。



# 横浜医療圏 | ICD別の入院患者数推計

疾患別の入院患者数の将来推計を示しています。

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	295	322	341	361	365	366	378
II 新生物<腫瘍>	2,629	2,775	2,882	2,965	3,057	3,104	3,123
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100	110	118	126	129	130	135
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	544	603	646	686	700	707	735
V 精神及び行動の障害	3,826	3,940	4,018	4,039	4,028	3,981	3,923
VI 神経系の疾患	1,970	2,175	2,307	2,424	2,486	2,537	2,641
VII 眼及び付属器の疾患	302	317	331	345	359	363	364
VIII 耳及び乳様突起の疾患	46	47	48	50	50	49	48
IX 循環器系の疾患	4,075	4,543	4,877	5,172	5,289	5,367	5,588
X 呼吸器系の疾患	1,662	1,900	2,076	2,260	2,310	2,346	2,495
X I 消化器系の疾患	1,452	1,578	1,659	1,724	1,754	1,778	1,832
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	241	266	281	294	299	304	316
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,473	1,626	1,719	1,793	1,845	1,893	1,973
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,146	1,274	1,361	1,443	1,480	1,507	1,572
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	320	318	314	312	307	292	277
X VI 周産期に発生した病態	180	167	168	170	166	158	150
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	96	93	92	92	90	88	84
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	213	246	269	293	295	297	317
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,721	3,059	3,292	3,499	3,563	3,613	3,791
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	126	129	128	128	127	126	124
X X II 特殊目的用コード	389	453	499	545	560	573	613
総数	23,808	25,940	27,426	28,721	29,259	29,581	30,478

# 横浜医療圏 | ICD別の入院患者数増減率

疾患別の入院患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	295	9.0%	15.7%	22.2%	23.8%	24.1%	28.2%
II 新生物<腫瘍>	2,629	5.5%	9.6%	12.8%	16.3%	18.0%	18.8%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100	10.1%	17.8%	25.3%	28.2%	29.8%	34.7%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	544	10.9%	18.7%	26.2%	28.6%	30.0%	35.1%
V 精神及び行動の障害	3,826	3.0%	5.0%	5.6%	5.3%	4.1%	2.5%
VI 神経系の疾患	1,970	10.4%	17.1%	23.0%	26.2%	28.8%	34.1%
VII 眼及び付属器の疾患	302	5.0%	9.7%	14.4%	18.9%	20.3%	20.7%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	46	2.2%	4.9%	7.4%	8.1%	6.6%	4.6%
IX 循環器系の疾患	4,075	11.5%	19.7%	26.9%	29.8%	31.7%	37.1%
X 呼吸器系の疾患	1,662	14.3%	24.9%	36.0%	39.0%	41.1%	50.1%
X I 消化器系の疾患	1,452	8.7%	14.2%	18.7%	20.8%	22.5%	26.1%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	241	10.1%	16.5%	21.8%	23.9%	25.9%	30.9%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,473	10.4%	16.7%	21.7%	25.2%	28.5%	33.9%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1,146	11.2%	18.8%	26.0%	29.2%	31.5%	37.2%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	320	-0.7%	-2.0%	-2.6%	-4.1%	-8.7%	-13.5%
X VI 周産期に発生した病態	180	-7.5%	-6.9%	-5.3%	-8.0%	-12.1%	-16.9%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	96	-2.7%	-3.7%	-4.1%	-5.9%	-8.7%	-12.5%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	213	15.2%	26.1%	37.1%	38.4%	39.3%	48.5%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,721	12.4%	21.0%	28.6%	30.9%	32.8%	39.3%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	126	1.9%	1.3%	1.5%	0.8%	-0.6%	-1.8%
X X II 特殊目的用コード	389	16.5%	28.2%	40.1%	43.8%	47.1%	57.5%
総数	23,808	9.0%	15.2%	20.6%	22.9%	24.2%	28.0%

# 横浜医療圏 | ICD別の外来患者数推計

疾患別の外来患者数の将来推計を示しています。

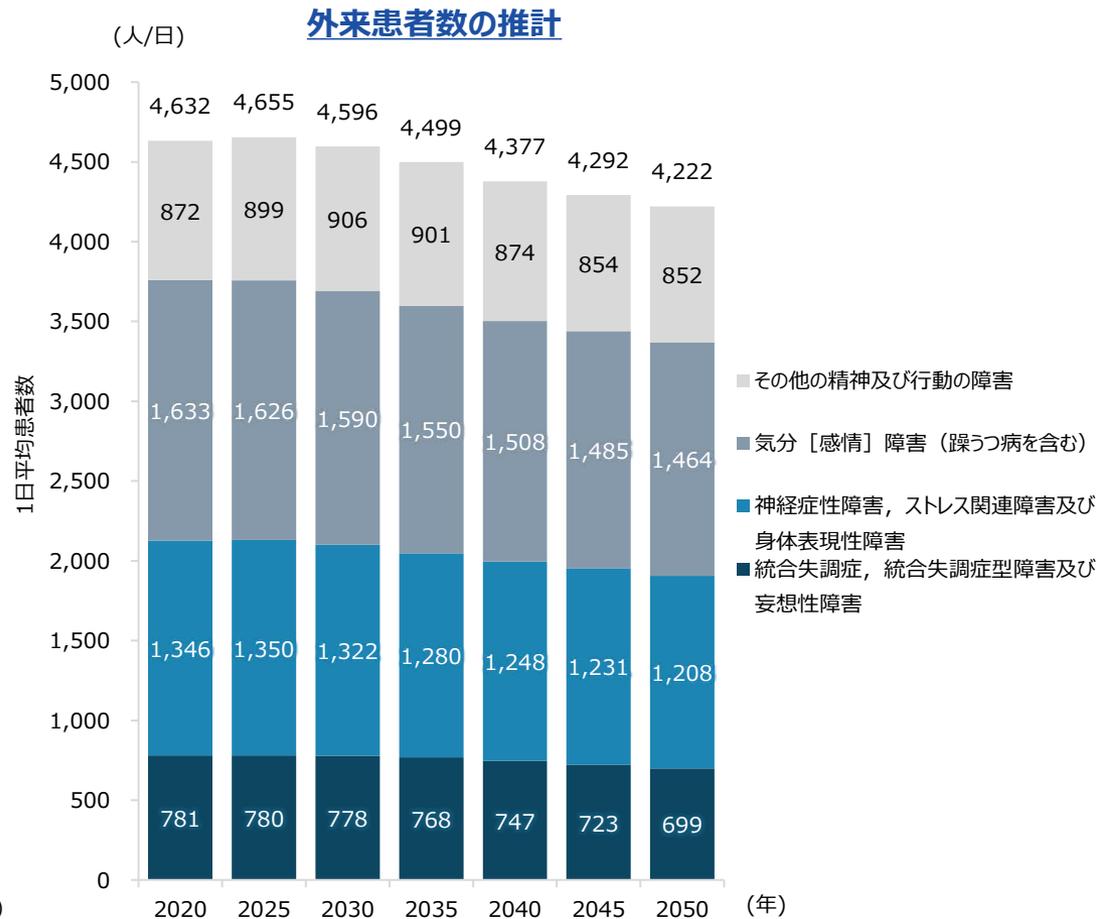
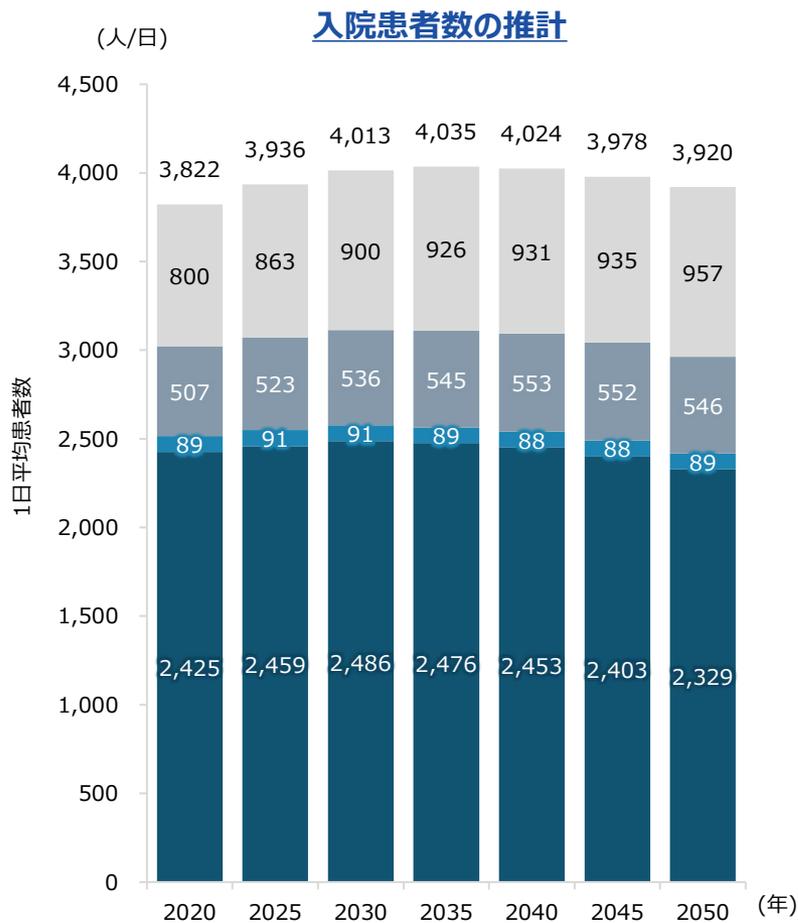
ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	3,678	3,725	3,722	3,706	3,707	3,692	3,658
II 新生物<腫瘍>	6,696	7,008	7,146	7,197	7,352	7,494	7,545
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	533	536	533	534	530	523	516
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,009	9,373	9,668	9,853	9,980	9,967	9,906
V 精神及び行動の障害	4,632	4,656	4,597	4,499	4,377	4,292	4,222
VI 神経系の疾患	4,319	4,623	4,746	4,810	4,843	4,919	5,064
VII 眼及び付属器の疾患	7,301	7,616	7,755	7,837	8,066	8,250	8,339
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1,738	1,720	1,714	1,720	1,730	1,727	1,704
IX 循環器系の疾患	18,030	19,405	20,332	21,020	21,642	22,053	22,492
X 呼吸器系の疾患	15,891	15,430	15,022	14,816	14,592	14,285	13,894
X I 消化器系の疾患	48,987	53,320	56,643	59,895	60,291	60,083	61,884
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	7,600	7,659	7,610	7,535	7,549	7,570	7,526
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,435	26,035	27,032	27,648	28,403	28,944	29,372
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	7,707	8,002	8,104	8,130	8,179	8,225	8,245
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	159	158	156	153	149	142	136
X VI 周産期に発生した病態	118	109	108	110	107	103	97
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	379	361	355	362	359	348	337
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,471	2,557	2,590	2,594	2,592	2,586	2,579
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,547	6,665	6,710	6,720	6,744	6,723	6,661
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	25,704	26,258	26,535	26,617	26,615	26,408	26,119
X X II 特殊目的用コード	750	722	705	696	683	665	644
総数	196,683	205,938	211,782	216,451	218,492	219,000	220,942

# 横浜医療圏 | ICD別の外来患者数増減率

疾患別の外来患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	3,678	1.3%	1.2%	0.8%	0.8%	0.4%	-0.5%
II 新生物<腫瘍>	6,696	4.7%	6.7%	7.5%	9.8%	11.9%	12.7%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	533	0.5%	0.0%	0.2%	-0.4%	-1.8%	-3.1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,009	4.0%	7.3%	9.4%	10.8%	10.6%	10.0%
V 精神及び行動の障害	4,632	0.5%	-0.8%	-2.9%	-5.5%	-7.3%	-8.9%
VI 神経系の疾患	4,319	7.0%	9.9%	11.4%	12.1%	13.9%	17.3%
VII 眼及び付属器の疾患	7,301	4.3%	6.2%	7.3%	10.5%	13.0%	14.2%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1,738	-1.1%	-1.4%	-1.0%	-0.4%	-0.6%	-2.0%
IX 循環器系の疾患	18,030	7.6%	12.8%	16.6%	20.0%	22.3%	24.8%
X 呼吸器系の疾患	15,891	-2.9%	-5.5%	-6.8%	-8.2%	-10.1%	-12.6%
X I 消化器系の疾患	48,987	8.8%	15.6%	22.3%	23.1%	22.7%	26.3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	7,600	0.8%	0.1%	-0.9%	-0.7%	-0.4%	-1.0%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,435	6.6%	10.6%	13.2%	16.2%	18.5%	20.2%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	7,707	3.8%	5.1%	5.5%	6.1%	6.7%	7.0%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	159	-0.7%	-2.2%	-3.9%	-6.3%	-10.7%	-15.0%
X VI 周産期に発生した病態	118	-7.4%	-7.9%	-6.8%	-9.0%	-12.7%	-17.3%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	379	-4.7%	-6.2%	-4.4%	-5.2%	-8.2%	-10.9%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,471	3.5%	4.8%	5.0%	4.9%	4.7%	4.4%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,547	1.8%	2.5%	2.6%	3.0%	2.7%	1.7%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	25,704	2.2%	3.2%	3.6%	3.5%	2.7%	1.6%
X X II 特殊目的用コード	750	-3.7%	-6.0%	-7.2%	-9.0%	-11.3%	-14.1%
総数	196,683	4.7%	7.7%	10.1%	11.1%	11.3%	12.3%

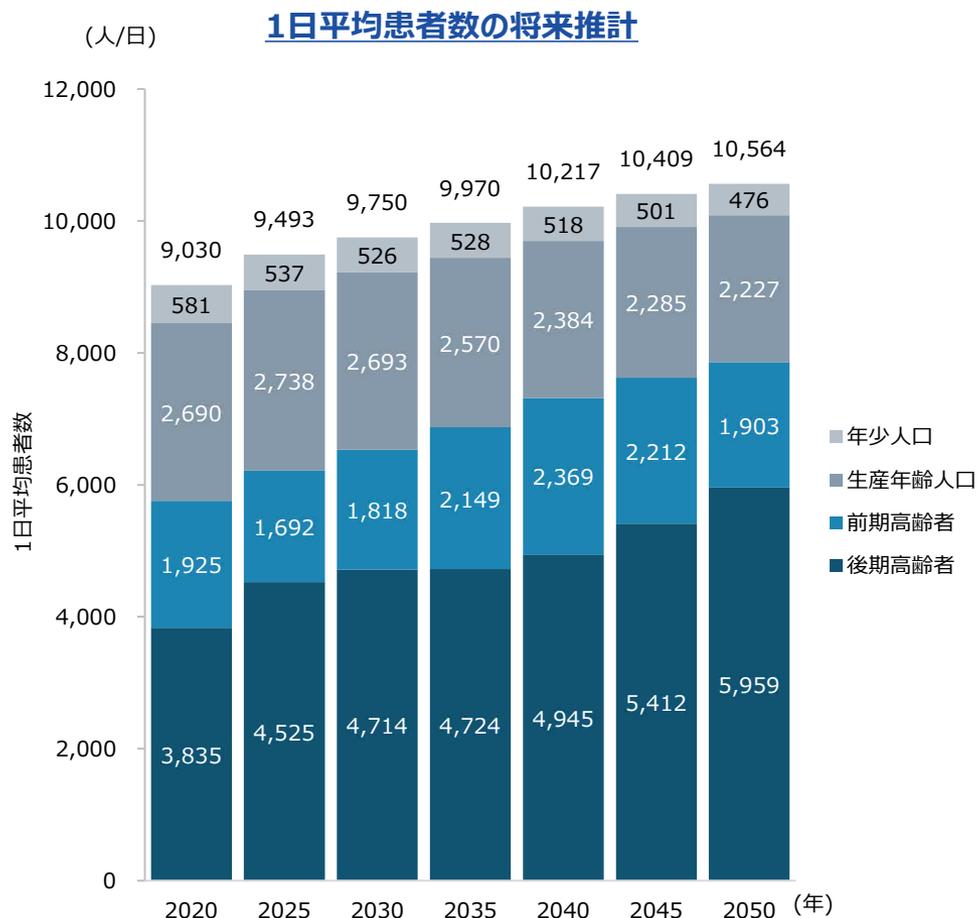
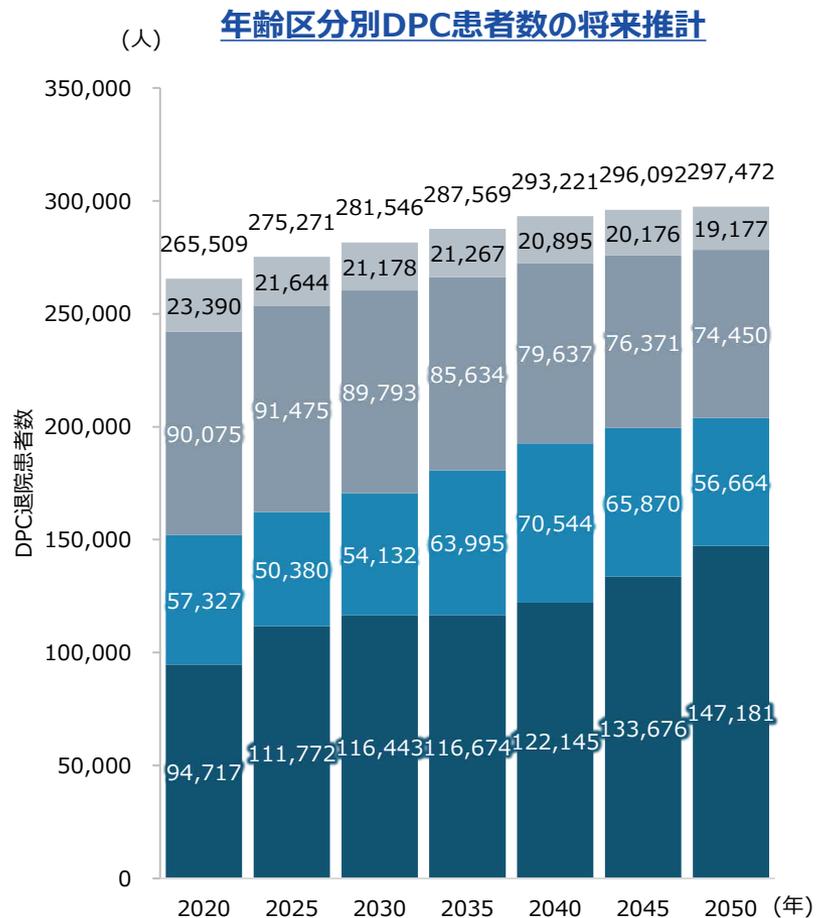
# 横浜医療圏 | 精神病床の1日平均患者数



# 横浜医療圏 | DPC患者数の推計

年齢層別のDPC患者数の将来推計を示しています。

多くの地域は後期高齢者のDPC患者数および1日平均患者数が増加傾向にあります。その他の人口において減少が見られ、従来の手術を中心とした急性期医療は減少する見込みです。



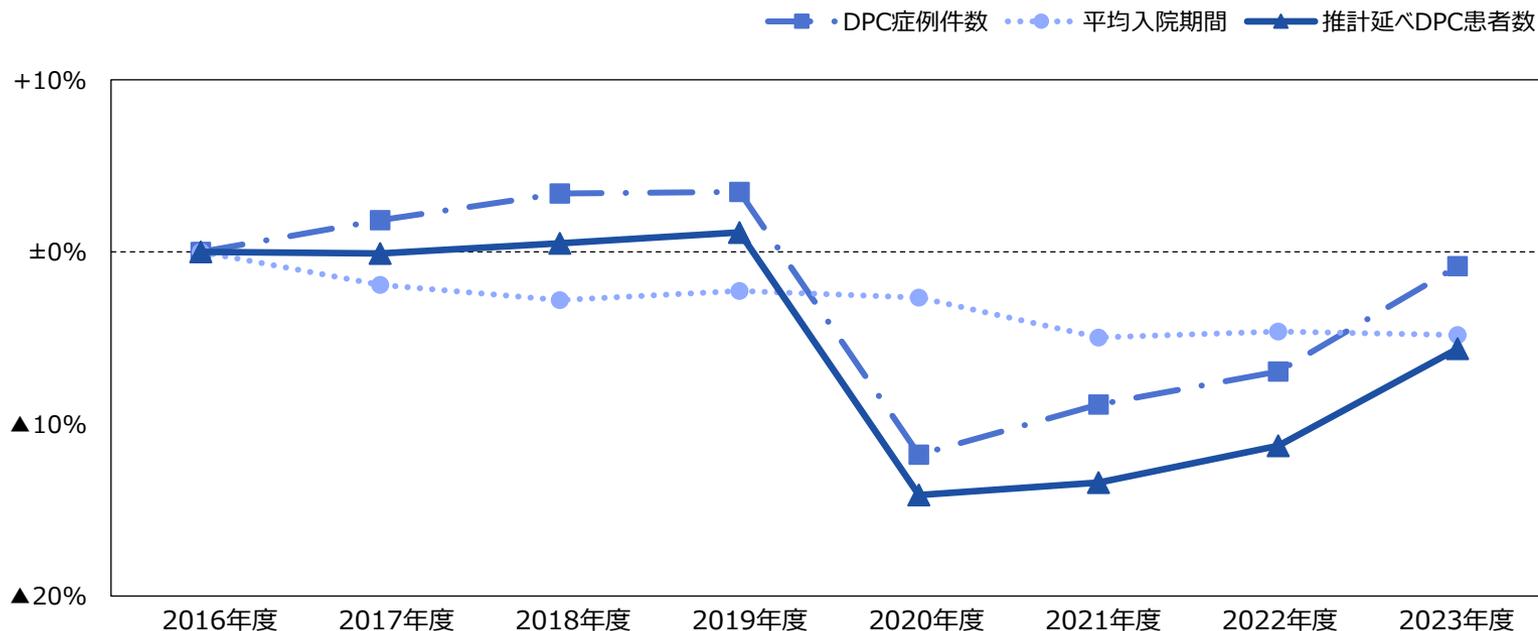
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 参考：横浜医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

## (2016～2023年度にDPCに参加した病院)

当該医療圏内のDPC参加病院におけるDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



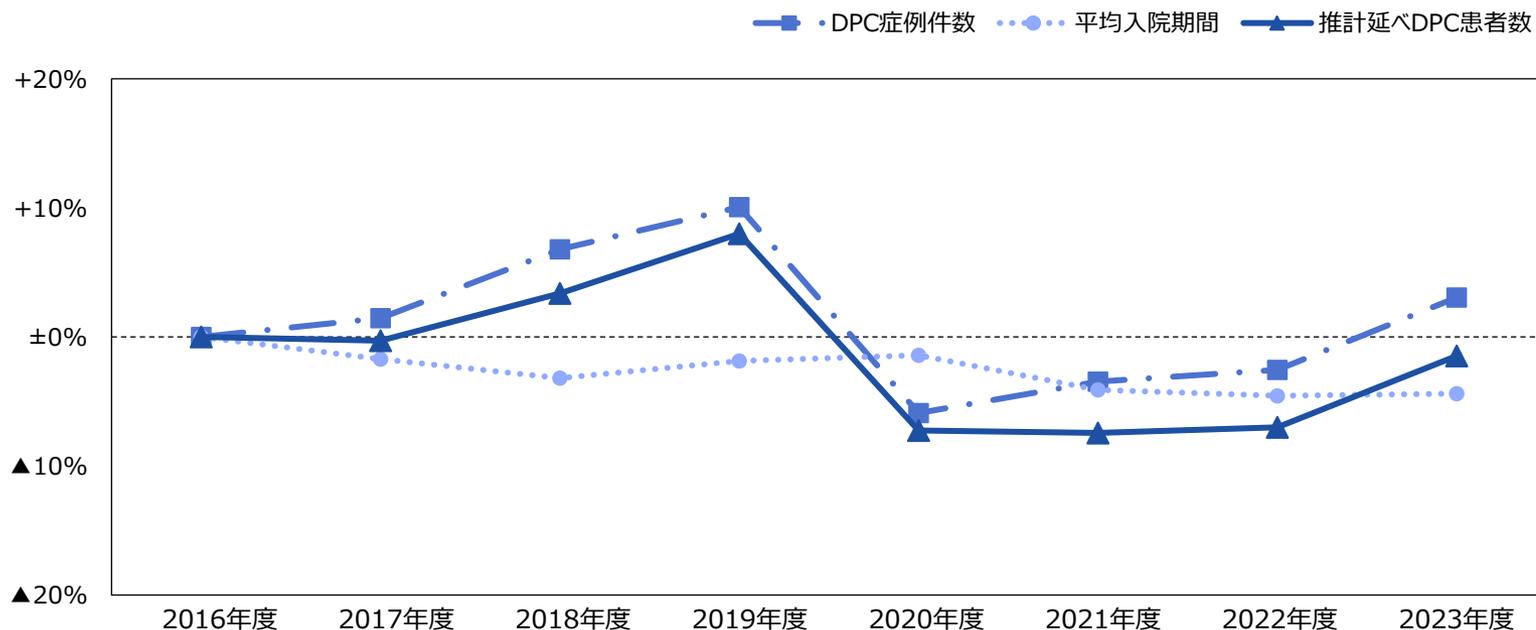
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	38	38	38	38	38	38	38	38
DPC症例件数	269,059	274,031	278,172	278,432	237,356	245,167	250,339	266,823
(2016年比)	-	+1.8%	+3.4%	+3.5%	▲11.8%	▲8.9%	▲7.0%	▲0.8%
平均入院期間	11.6	11.4	11.3	11.4	11.3	11.0	11.1	11.1
(2016年比)	-	▲1.9%	▲2.8%	▲2.3%	▲2.7%	▲5.0%	▲4.6%	▲4.8%
推計延べDPC患者数	3,125,389	3,122,303	3,140,659	3,160,747	2,683,707	2,706,250	2,773,084	2,949,465
(2016年比)	-	±0.1%	+0.5%	+1.1%	▲14.1%	▲13.4%	▲11.3%	▲5.6%

# 参考：横浜医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

(全病院：出来高病院を含む)

出来高病院を含むDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	70	69	91	96	98	104	106	108
DPC症例件数	292,458	296,722	312,346	321,875	275,211	282,305	285,001	301,410
(2016年比)	-	+1.5%	+6.8%	+10.1%	▲5.9%	▲3.5%	▲2.5%	+3.1%
平均入院期間	11.6	11.4	11.2	11.4	11.4	11.1	11.1	11.1
(2016年比)	-	▲1.7%	▲3.2%	▲1.9%	▲1.4%	▲4.1%	▲4.6%	▲4.4%
推計延べDPC患者数	3,396,579	3,387,029	3,511,308	3,668,022	3,150,667	3,143,906	3,159,040	3,346,735
(2016年比)	-	▲0.3%	+3.4%	+8.0%	▲7.2%	▲7.4%	▲7.0%	▲1.5%

# 参考：都道府県別DPC参加病院の平均入院日数の推移（2016～2023年度）

全国および都道府県の平均入院日数の推移を示しています。

全ての都道府県で在院日数が短縮されており、今後も政策効果等の影響で短縮していくことが見込まれます。

No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率		No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
					2018対2016	2023対2016						2018対2016	2023対2016
-	全国計	12.43	12.05	11.72	▲3.0%	▲5.7%	24	三重県	12.58	12.10	11.78	▲3.8%	▲6.3%
1	北海道	12.49	12.10	11.67	▲3.1%	▲6.5%	25	滋賀県	12.51	12.01	11.53	▲4.0%	▲7.8%
2	青森県	13.82	13.23	13.26	▲4.3%	▲4.0%	26	京都府	12.16	11.71	11.22	▲3.7%	▲7.8%
3	岩手県	12.87	12.48	12.25	▲3.0%	▲4.8%	27	大阪府	12.22	11.77	11.41	▲3.7%	▲6.7%
4	宮城県	12.42	11.72	11.41	▲5.6%	▲8.2%	28	兵庫県	11.95	11.54	11.47	▲3.4%	▲4.0%
5	秋田県	12.89	12.53	12.15	▲2.8%	▲5.7%	29	奈良県	12.50	12.36	11.99	▲1.1%	▲4.1%
6	山形県	13.03	12.84	12.74	▲1.5%	▲2.2%	30	和歌山県	13.33	12.60	12.53	▲5.5%	▲6.0%
7	福島県	13.40	13.13	12.53	▲2.0%	▲6.5%	31	鳥取県	13.01	12.35	12.29	▲5.1%	▲5.5%
8	茨城県	12.45	12.21	11.78	▲2.0%	▲5.4%	32	島根県	12.67	12.00	11.66	▲5.3%	▲8.0%
9	栃木県	12.90	12.79	12.48	▲0.9%	▲3.3%	33	岡山県	12.15	12.03	11.50	▲1.0%	▲5.3%
10	群馬県	12.16	11.69	11.68	▲3.9%	▲3.9%	34	広島県	12.36	12.15	11.36	▲1.7%	▲8.1%
11	埼玉県	12.49	12.19	11.98	▲2.4%	▲4.1%	35	山口県	13.50	12.99	12.73	▲3.8%	▲5.7%
12	千葉県	12.19	12.01	12.07	▲1.5%	▲1.0%	36	徳島県	12.08	11.76	11.77	▲2.6%	▲2.6%
13	東京都	11.94	11.58	11.16	▲3.0%	▲6.5%	37	香川県	12.79	12.41	12.06	▲2.9%	▲5.7%
14	神奈川県	11.70	11.25	11.25	▲3.8%	▲3.9%	38	愛媛県	13.01	12.69	12.03	▲2.5%	▲7.6%
15	新潟県	13.08	12.83	12.45	▲1.9%	▲4.8%	39	高知県	13.38	13.17	11.99	▲1.6%	▲10.4%
16	富山県	12.31	12.03	11.70	▲2.3%	▲4.9%	40	福岡県	12.79	12.52	12.13	▲2.1%	▲5.2%
17	石川県	12.91	12.50	11.65	▲3.2%	▲9.8%	41	佐賀県	13.61	13.12	12.71	▲3.6%	▲6.6%
18	福井県	12.43	11.82	11.53	▲4.9%	▲7.2%	42	長崎県	13.19	12.47	12.07	▲5.5%	▲8.5%
19	山梨県	11.88	11.61	11.76	▲2.3%	▲1.0%	43	熊本県	12.82	12.33	12.05	▲3.8%	▲6.0%
20	長野県	12.22	11.97	11.67	▲2.1%	▲4.5%	44	大分県	13.58	13.00	12.12	▲4.2%	▲10.7%
21	岐阜県	12.25	12.09	11.74	▲1.3%	▲4.2%	45	宮崎県	13.43	12.74	11.93	▲5.1%	▲11.2%
22	静岡県	12.58	12.32	11.96	▲2.0%	▲4.9%	46	鹿児島県	13.17	12.92	12.13	▲1.8%	▲7.9%
23	愛知県	12.21	11.74	11.39	▲3.8%	▲6.7%	47	沖縄県	12.35	12.07	11.90	▲2.3%	▲3.6%

## 参考：横浜医療圏 | DPC参加病院の平均入院日数の推移

当該医療圏のMDC別の平均入院期間の推移を示しています。

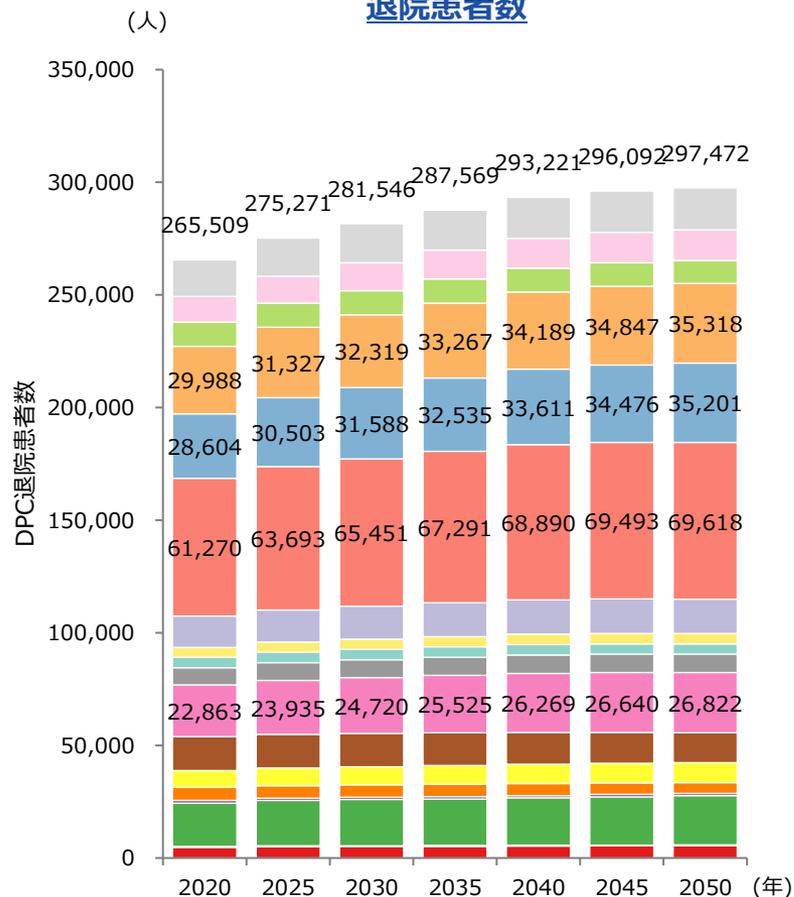
MDC名称	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
				2018対2016	2023対2016
01_神経系	16.29	16.07	16.18	▲1.3%	▲0.7%
02_眼科系	4.53	4.29	3.85	▲5.4%	▲15.0%
03_耳鼻咽喉系	7.73	7.50	6.43	▲3.0%	▲16.9%
04_呼吸器系	14.64	14.19	13.98	▲3.0%	▲4.5%
05_循環器系	9.91	9.64	10.00	▲2.8%	0.9%
06_消化器系	10.70	10.16	9.50	▲5.1%	▲11.2%
07_筋骨格系	15.69	15.26	14.86	▲2.7%	▲5.3%
08_皮膚・皮下組織	9.98	9.86	10.84	▲1.2%	8.6%
09_乳房	8.06	7.90	6.95	▲1.9%	▲13.7%
10_内分泌・栄養・代謝	11.68	11.46	11.40	▲1.9%	▲2.4%
11_腎・尿路系	10.36	9.83	9.21	▲5.1%	▲11.1%
12_女性疾患	8.36	8.02	7.02	▲4.1%	▲16.0%
13_血液系	18.80	18.32	16.81	▲2.5%	▲10.5%
14_新生児	12.09	11.67	11.44	▲3.5%	▲5.4%
15_小児疾患	7.59	7.91	7.80	4.2%	2.8%
16_外傷・熱傷・中毒	14.02	13.67	14.64	▲2.5%	4.4%
17_精神疾患	5.91	4.81	3.85	▲18.6%	▲34.8%
18_その他	18.31	18.64	17.26	1.8%	▲5.7%
全体	11.62	11.27	11.11	▲3.0%	▲4.4%

# 横浜医療圏 | MDC別DPCの退院患者数の推計

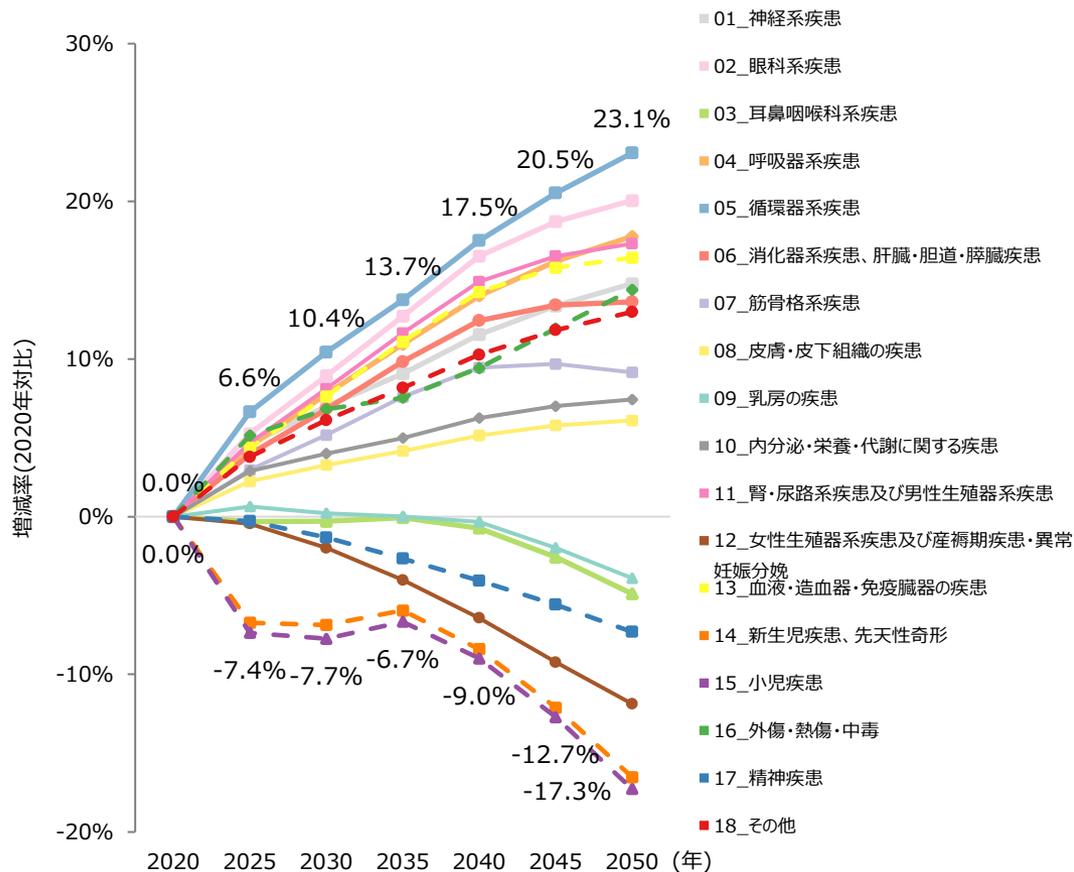
疾患別のDPC退院患者数の将来推計を示しています。

多くの地域では高齢者に多い疾患は増加傾向にあり、女性疾患や小児周産期にかかる疾患は大幅に減少する傾向にあります。

### 退院患者数



### 増減率

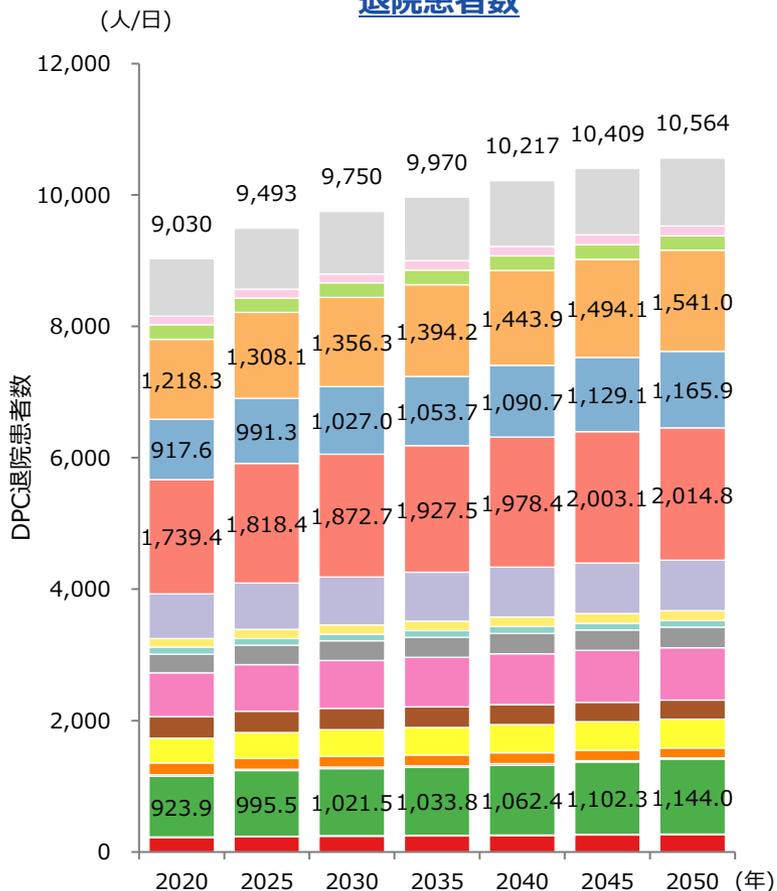


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。

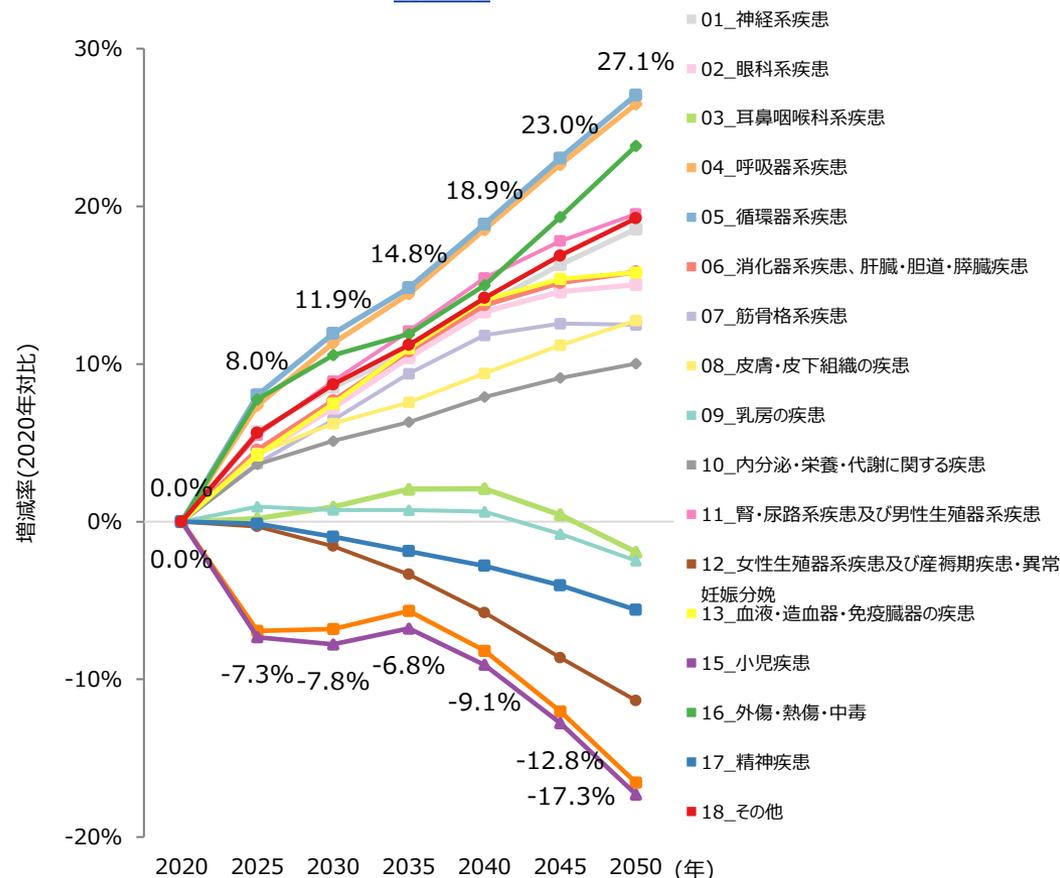
# 横浜医療圏 | MDC別DPCの1日平均患者数の推計

疾患別のDPCの1日平均患者数の将来推計を示しています。

### 退院患者数



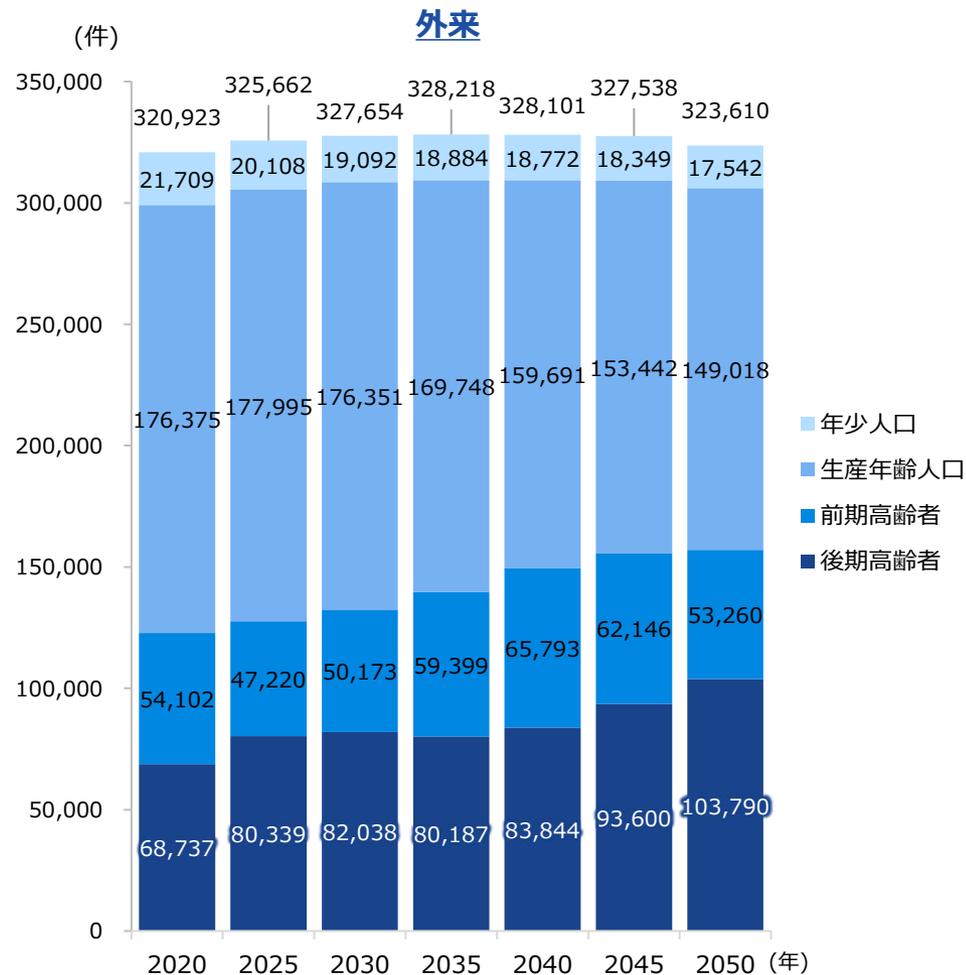
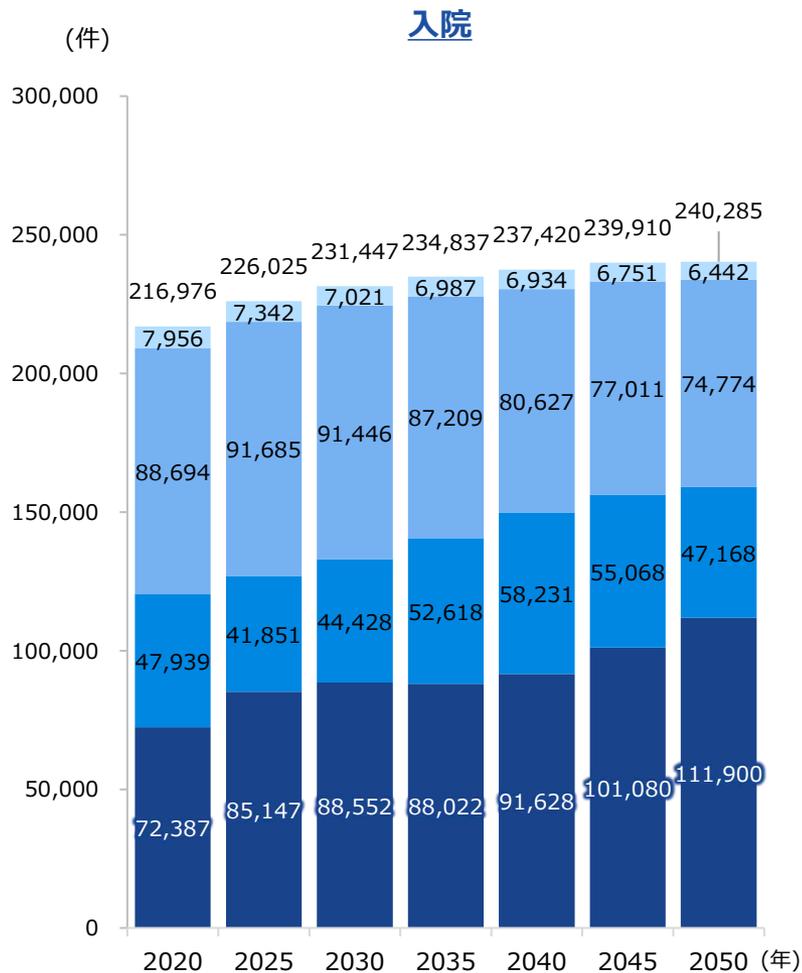
### 増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

# 横浜医療圏 | 手術件数の推計

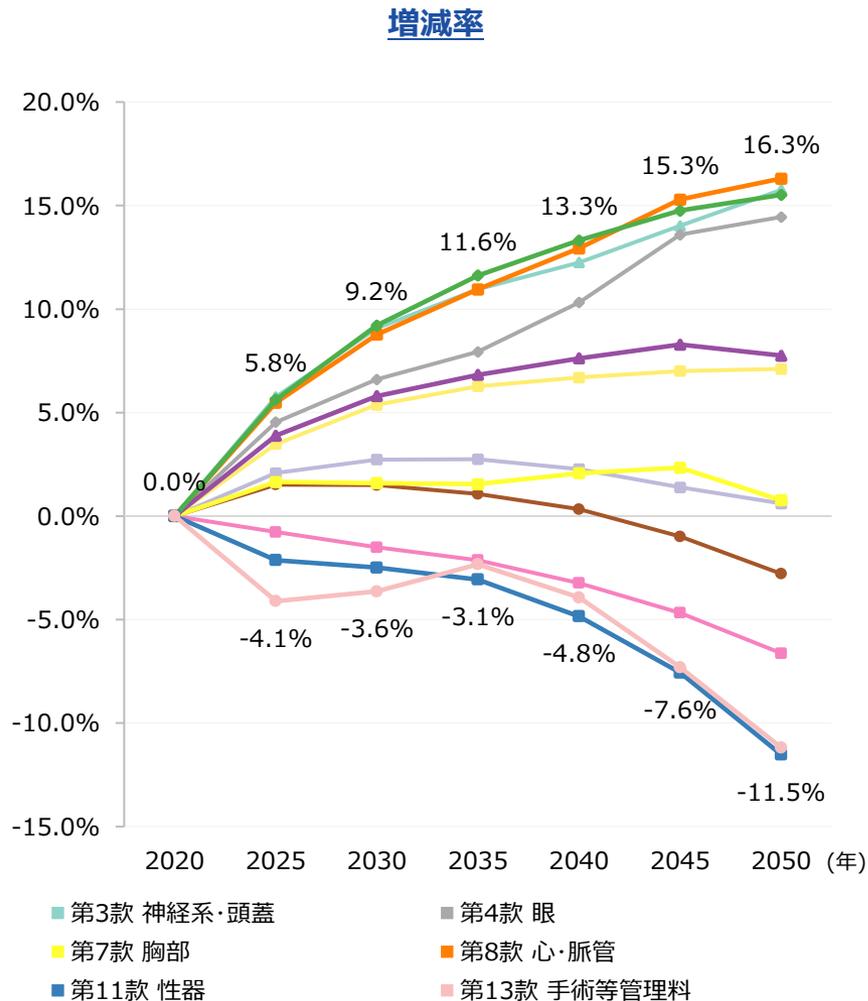
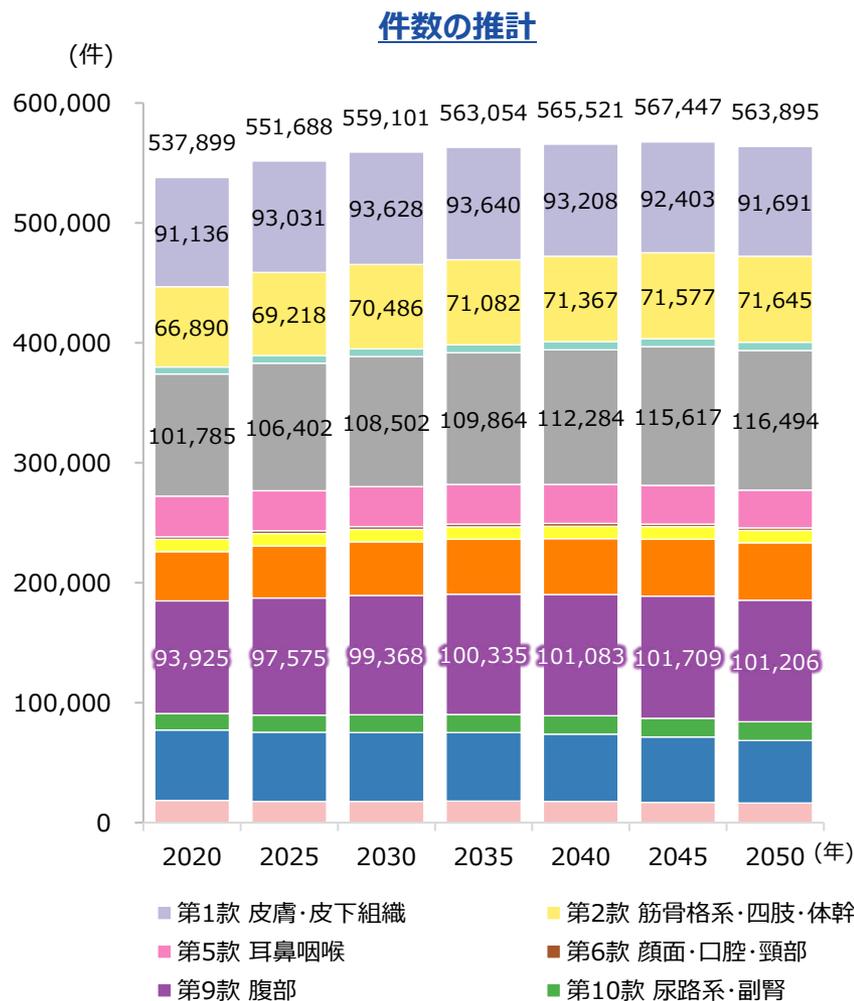
年齢区分別の入院・外来の手術件数の将来推計を示しています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 横浜医療圏 | 部位別の手術件数

部位別の手術件数の将来推計を示しています。



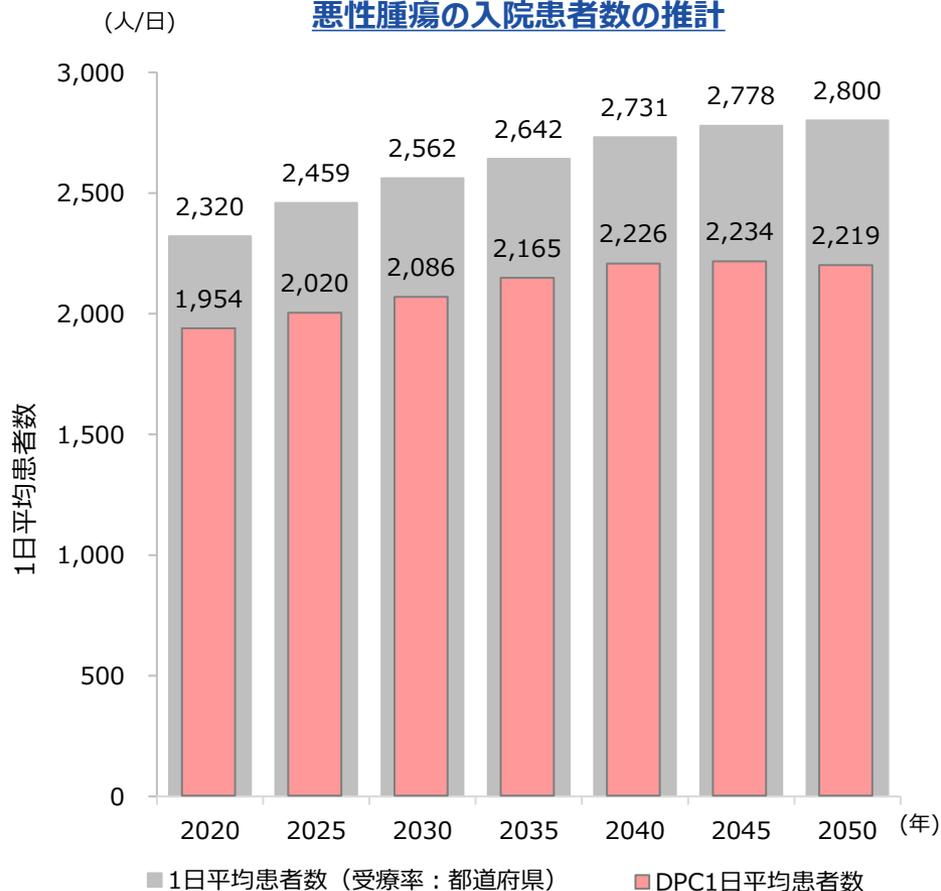
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 横浜医療圏 | 疾患別患者数の推計：悪性腫瘍

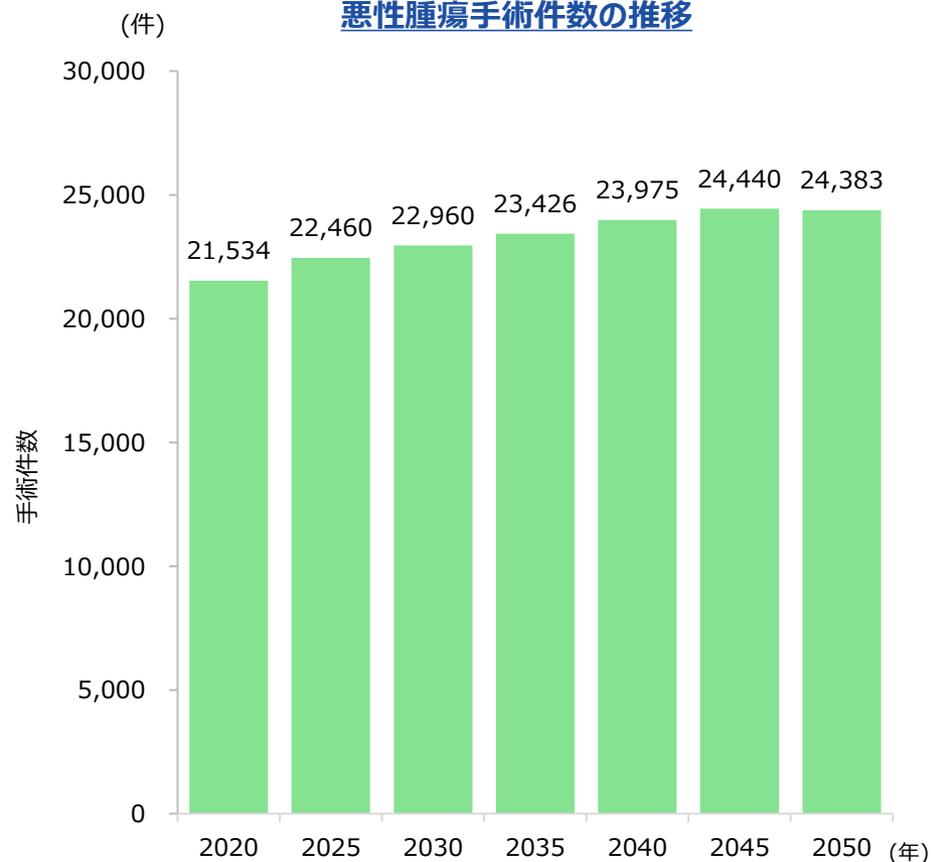
悪性腫瘍の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

悪性腫瘍は手術療法中心の医療から放射線療法・化学療法を含めた集学的治療へシフトしていることや、低侵襲治療の発展から、推計よりも減少する可能性があります。

悪性腫瘍の入院患者数の推計



悪性腫瘍手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

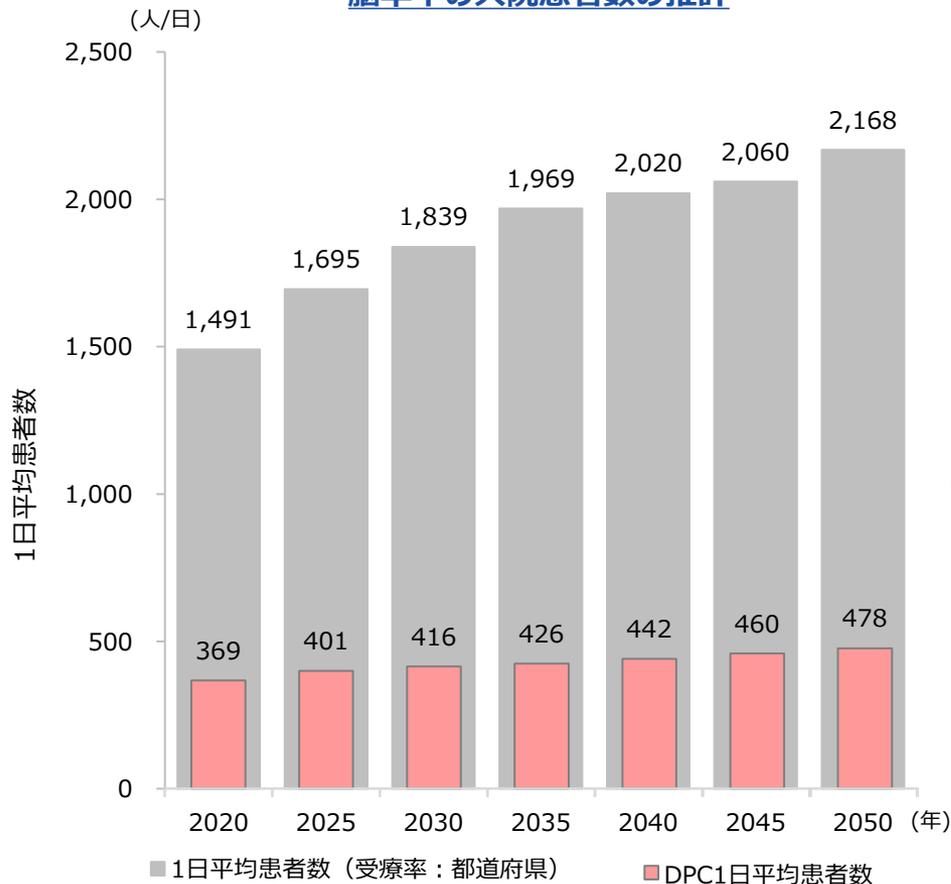
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 横浜医療圏 | 疾患別患者数の推計：脳卒中

脳卒中の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

脳卒中は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

脳卒中の入院患者数の推計



脳卒中手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

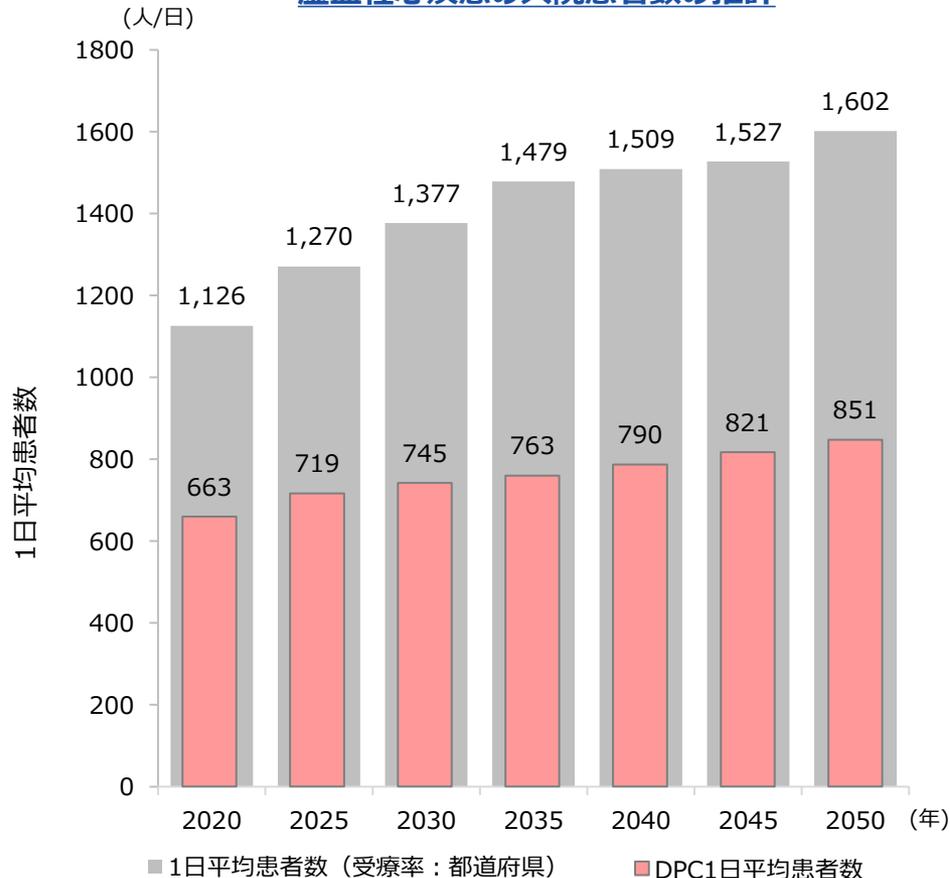
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

# 横浜医療圏 | 疾患別患者数の推計：虚血性心疾患等

虚血性心疾患の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

虚血性心疾患は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にあります。DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

### 虚血性心疾患の入院患者数の推計



### 心臓カテーテル手術等の手術件数の推移



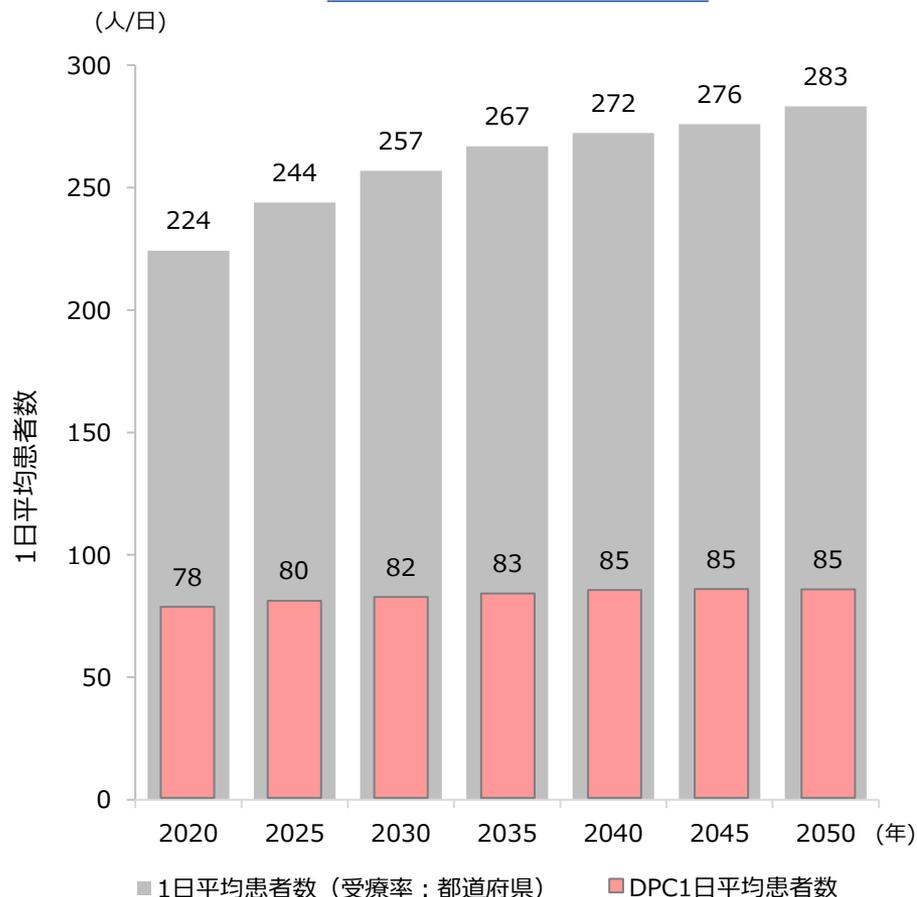
出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

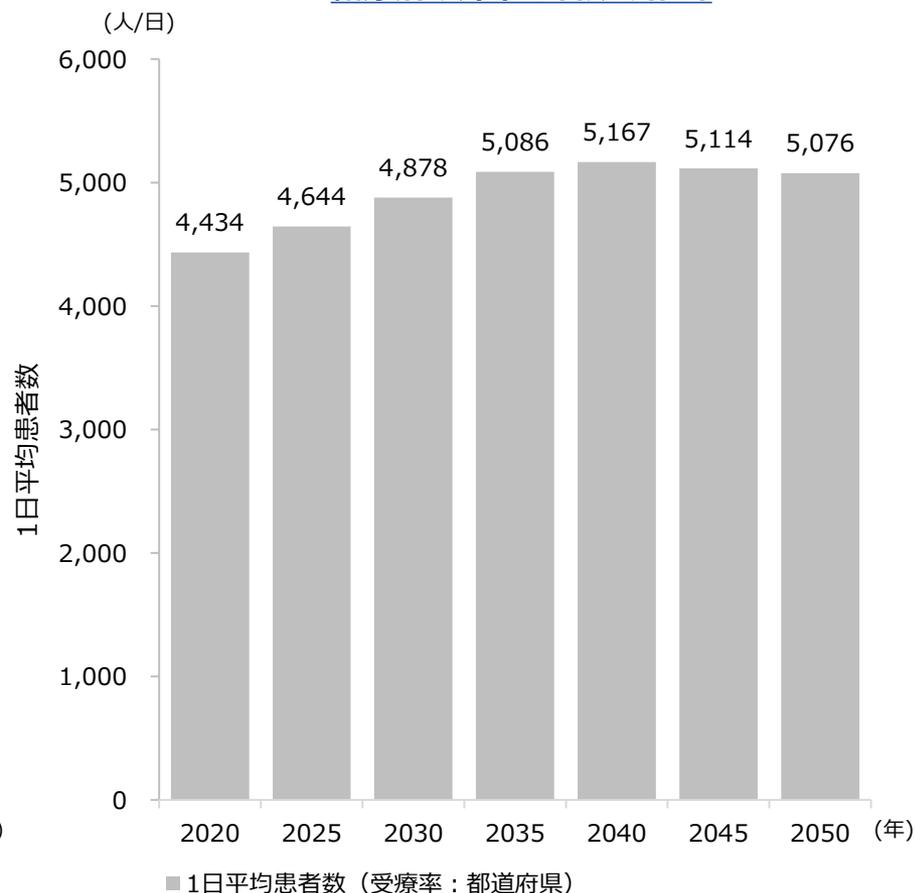
DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

## 糖尿病の入院患者数の推計



## 糖尿病の外来患者数の推計



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

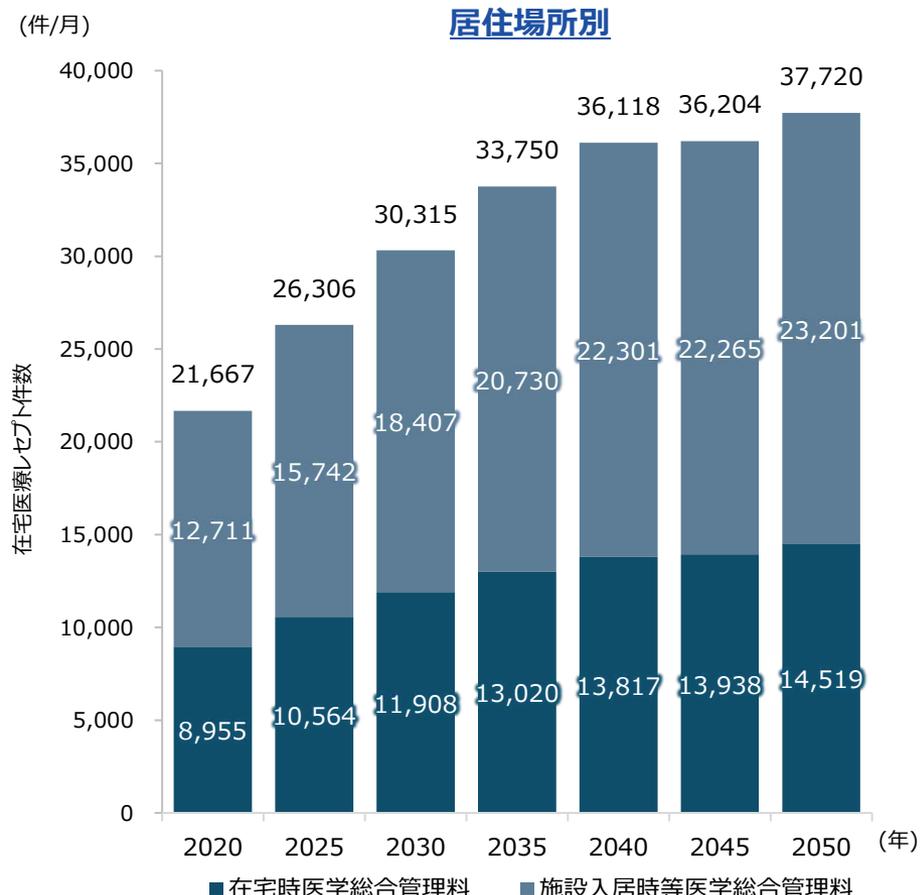
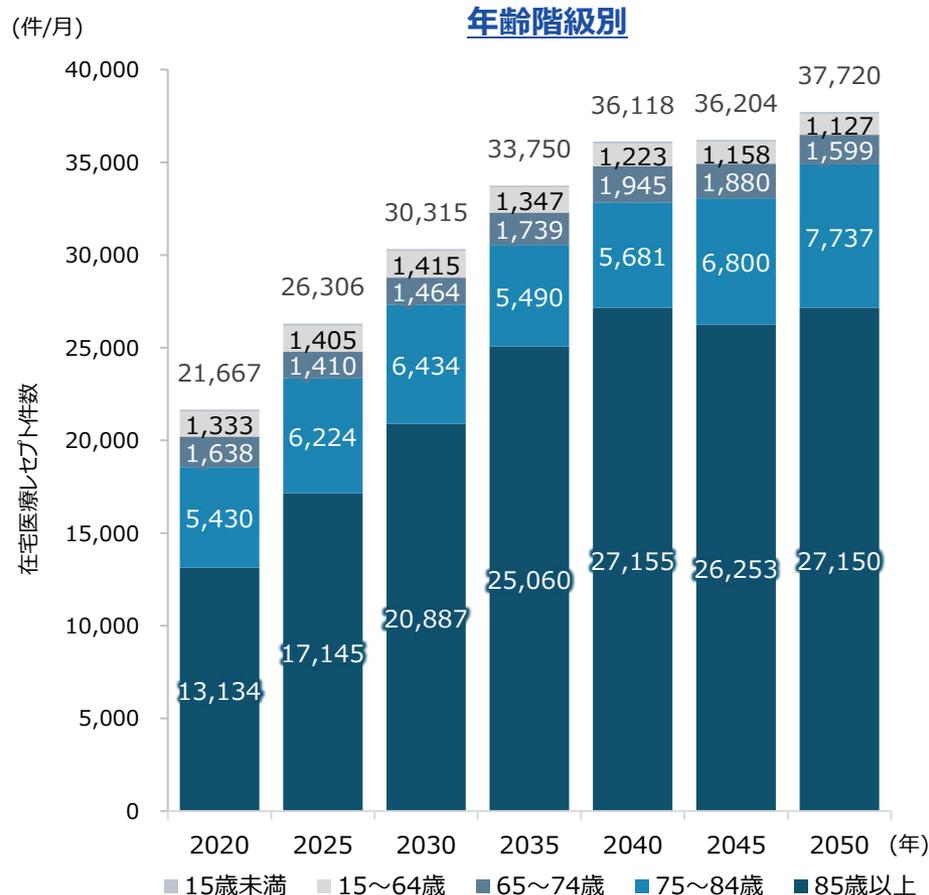
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 横浜医療圏 | 在宅医療患者数の推計

全国の在宅時医学総合管理料および施設入居時医学総合管理料の発生率を用いた将来推計を示しています。

月に1回算定可能な管理料であり、月当たりの患者数の増減傾向が確認できます。

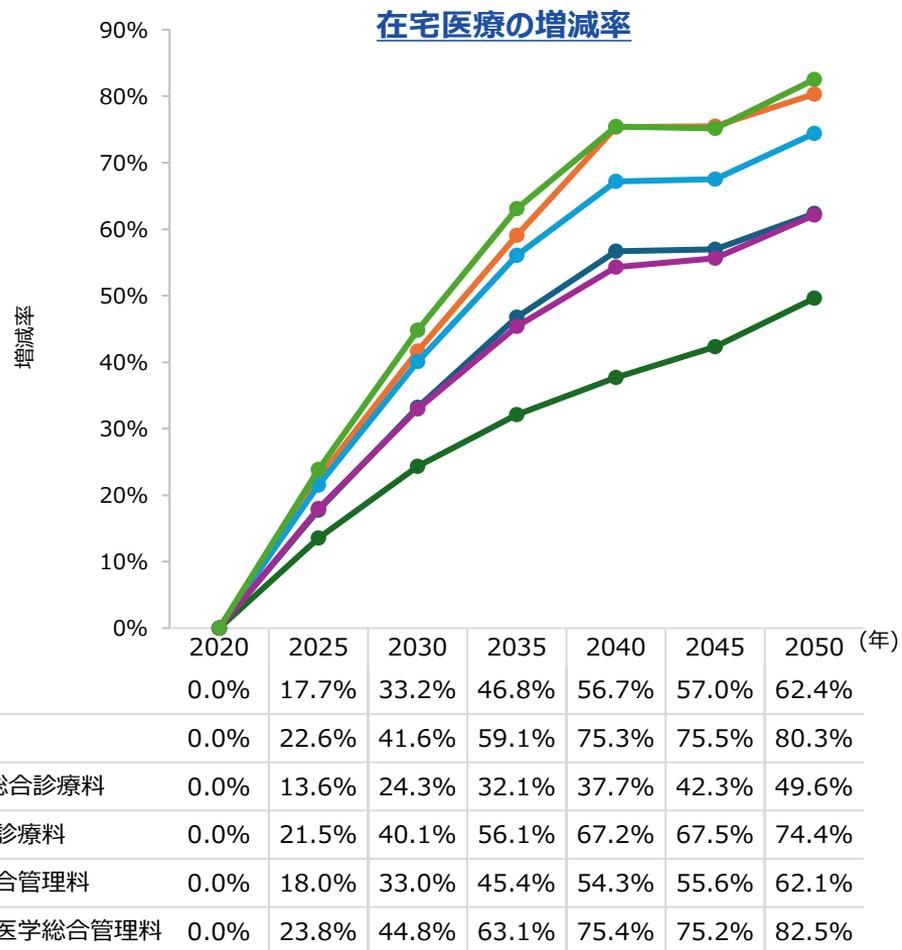
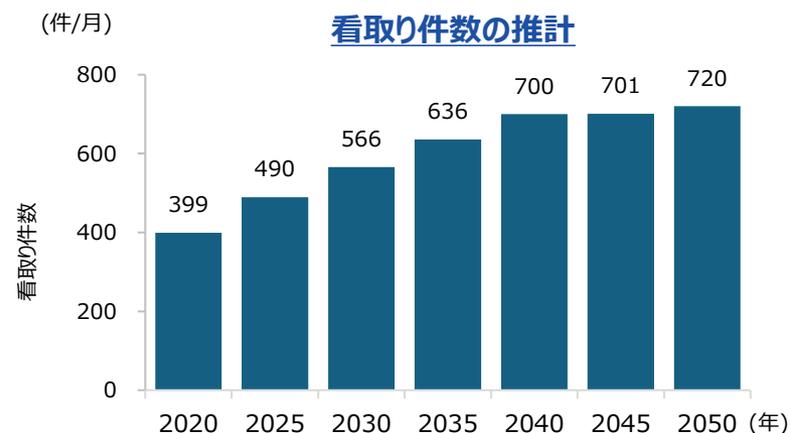


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 横浜医療圏 | 在宅医療訪問回数および増減率

全国の発生率を用いた在宅医療の主な診療行為の算定回数の将来推計を示しています。

多くの地域では2040年以降まで大幅な増加が見込まれており、在宅医療の体制整備が求められます。

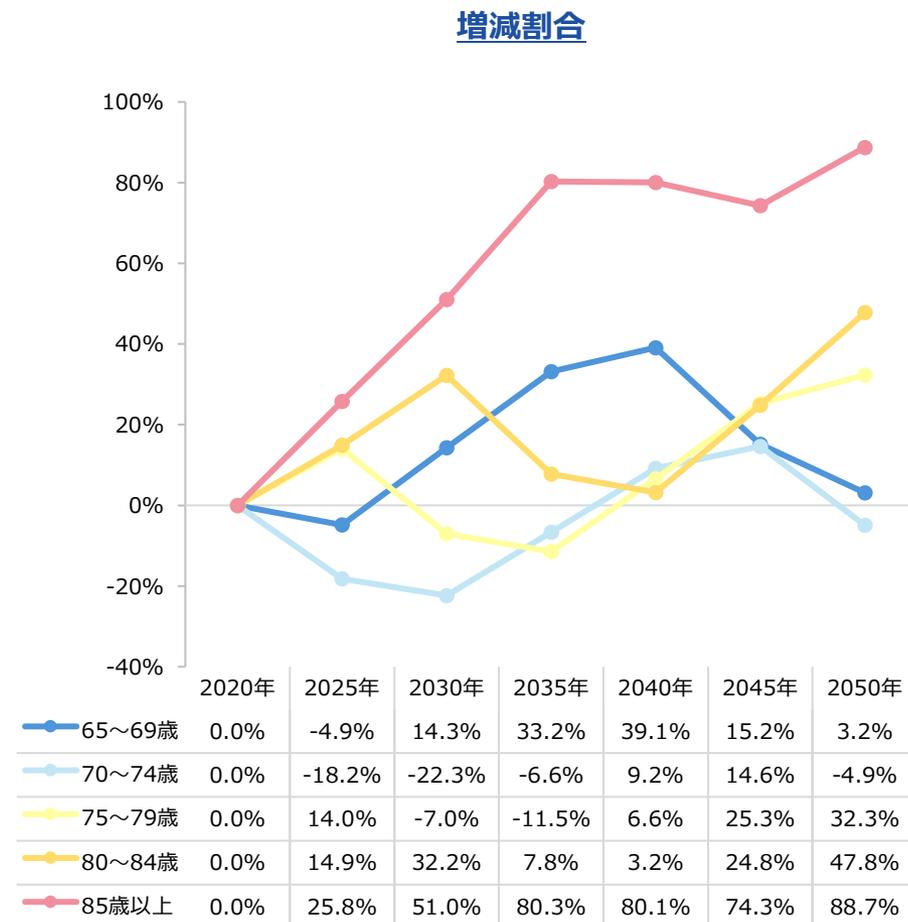
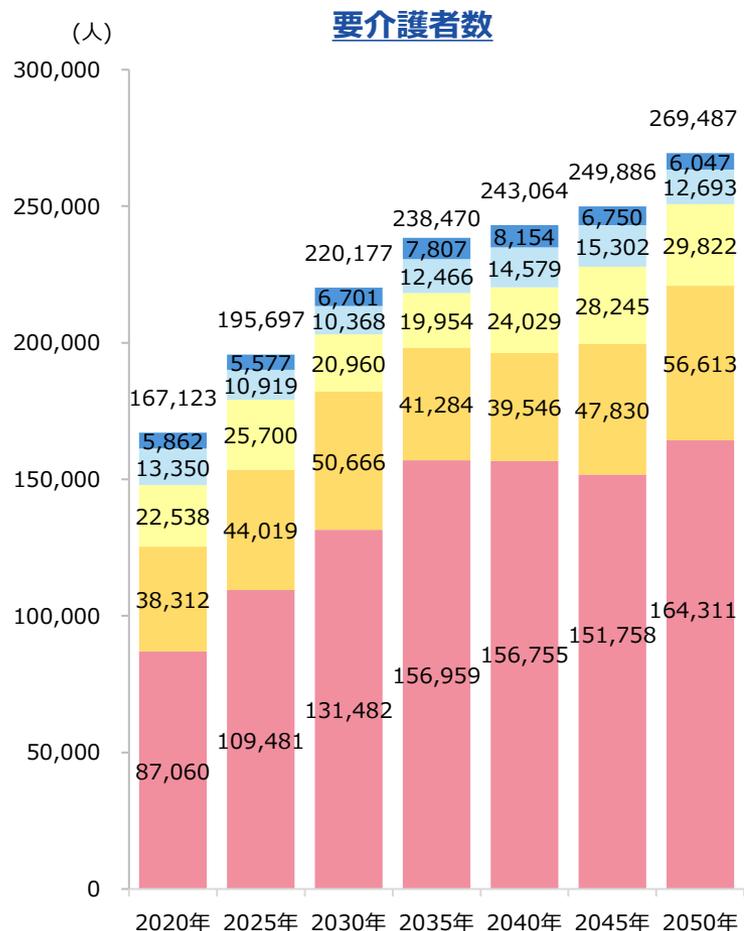


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）  
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。  
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 横浜医療圏 | 年齢別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)

多くの地域では85歳以上の人口増加に伴い、要介護者数の増加が見込まれています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

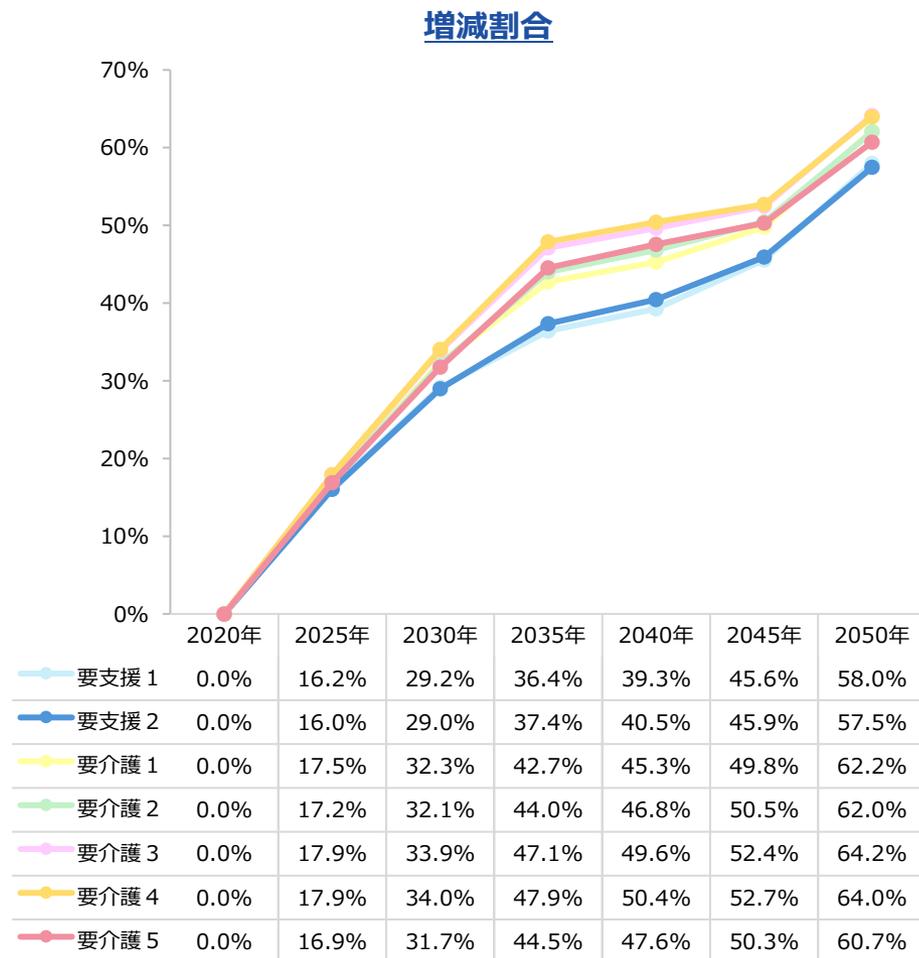
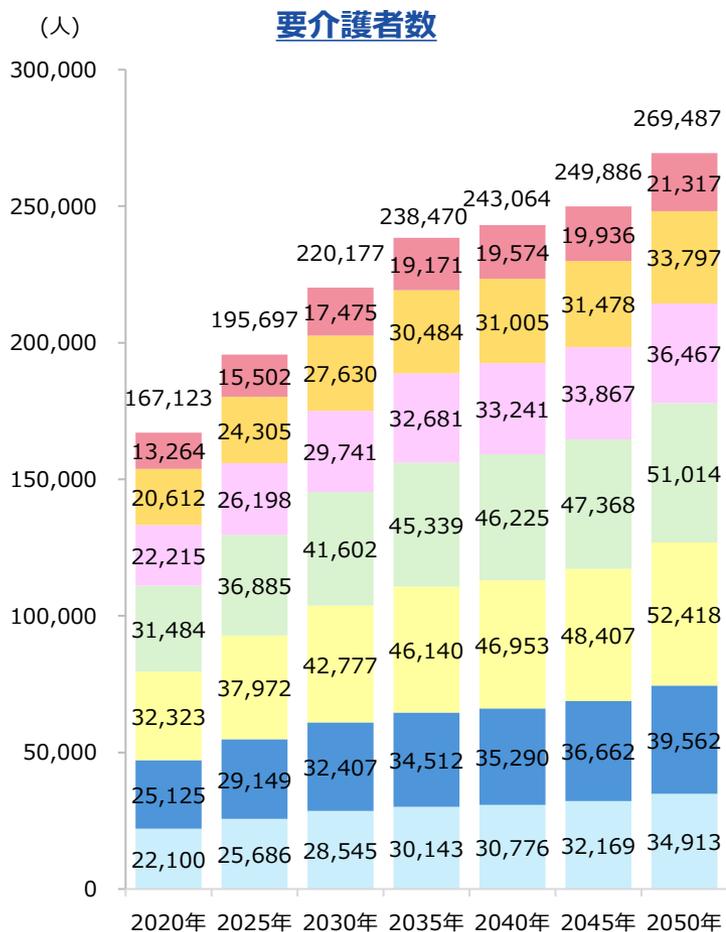
「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

# 横浜医療圏 | 要介護度別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護度別の要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)

要介護度3以上の増加は、介護者および介護事業所の従業員への負担や人材確保の難化を招く可能性があります。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

## 4/ 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

---

診療実績と役割分担の状況から、地域の医療機関のポジショニングを整理する。

救急車受入数

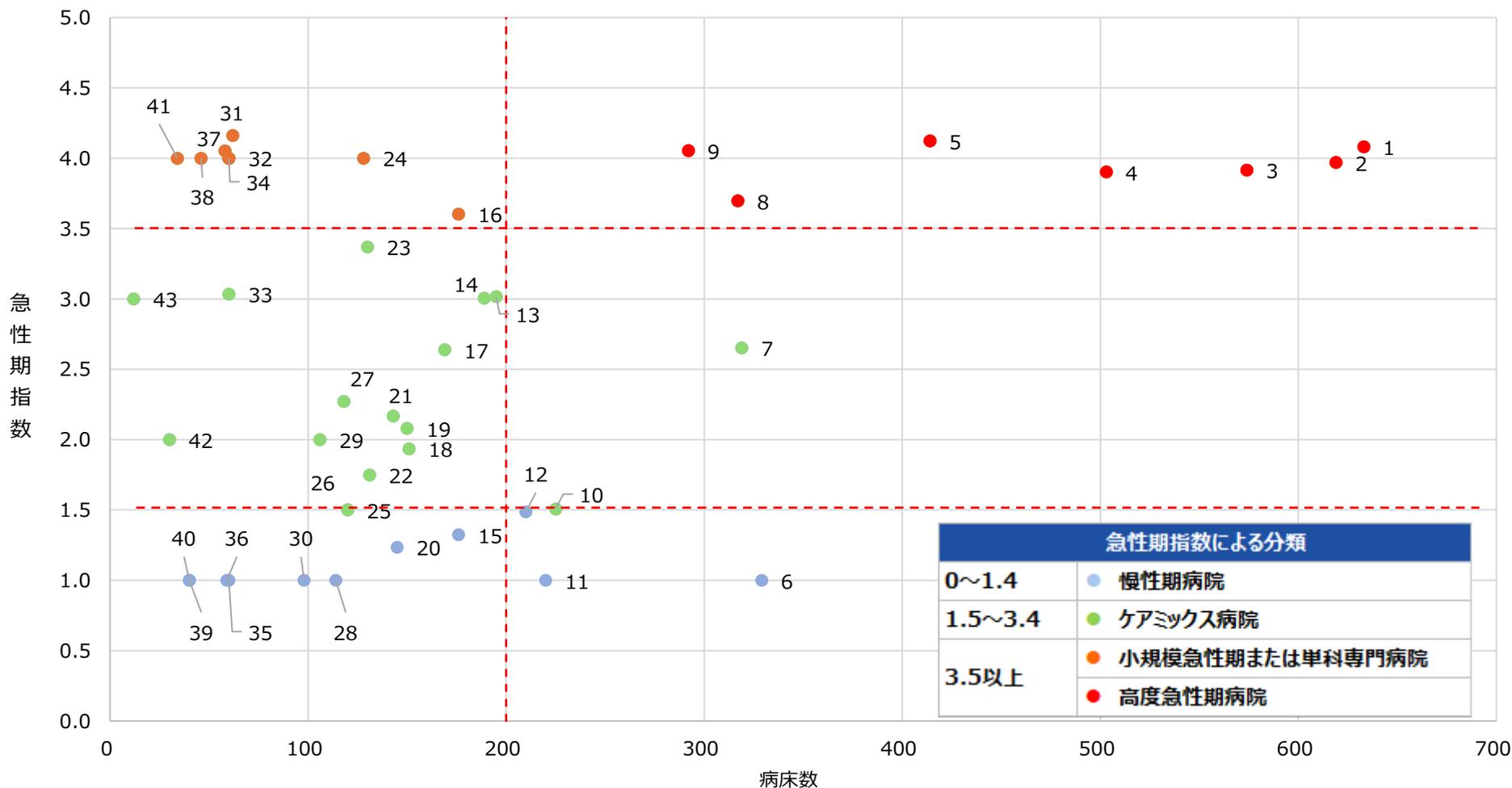
手術件数

DPC症例数

各医療機関の診療実績をもとに、地域の医療機能がどこに集中しているかを把握する。  
機能分化や医療機関間の連携状況を可視化し、地域全体で質の高い医療を提供するための課題を整理する。

# 横浜医療圏\_横浜北部 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



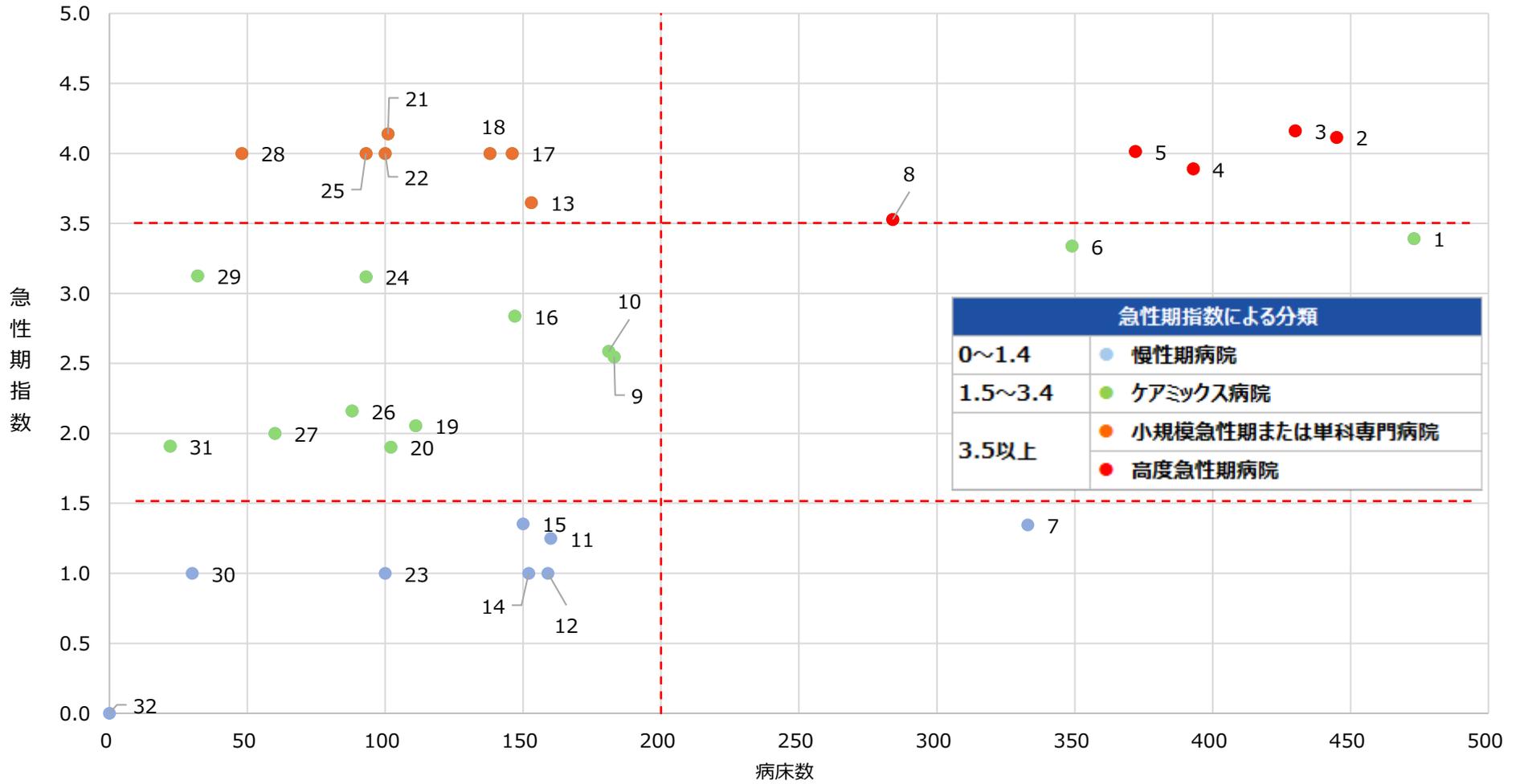
# 横浜医療圏\_横浜北部 | ポジショニングマップ

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	横浜労災病院	633	4.1
2	横浜市民病院	619	4.0
3	昭和大学横浜市北部病院	574	3.9
4	済生会 横浜市東部病院	503	3.9
5	昭和大学藤が丘病院	414	4.1
6	横浜田園都市病院	329	1.0
7	汐田総合病院	319	2.7
8	横浜新都市脳神経外科病院	317	3.7
9	横浜総合病院	292	4.1
10	横浜鶴見リハビリテーション病院	225	1.5
11	元気会 横浜病院	220	1.0
12	ふれあい鶴見ホスピタル	210	1.5
13	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	195	3.0
14	済生会 神奈川県病院	189	3.0
15	江田記念病院	176	1.3
16	横浜新緑総合病院	176	3.6
17	牧野記念病院	169	2.6
18	新横浜リハビリテーション病院	151	1.9
19	鴨居病院	150	2.1
20	緑協和病院	145	1.2
21	平和病院	143	2.2
22	山本記念病院	131	1.7
23	大口東総合病院	130	3.4
24	たちばな台病院	128	4.0
25	牧野リハビリテーション病院	120	1.5

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	市ヶ尾病院	120	1.5
27	青葉さわい病院	118	2.3
28	つづき病院	114	1.0
29	済生会 東神奈川リハビリテーション病院	106	2.0
30	古川病院	98	1.0
31	菊名記念病院	62	4.2
32	高田中央病院	60	4.0
33	横浜石心会病院	60	3.0
34	新横浜母と子の病院	60	4.0
35	徳田病院	60	1.0
36	森山病院	59	1.0
37	脳神経外科東横浜病院	58	4.1
38	佐々木病院	46	4.0
39	新横浜こころのホスピタル	40	1.0
40	仁恵病院	40	1.0
41	片山整形外科記念病院	34	4.0
42	竹山病院	30	2.0
43	鶴見大学歯学部附属病院	12	3.0

# 横浜医療圏\_横浜西部 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

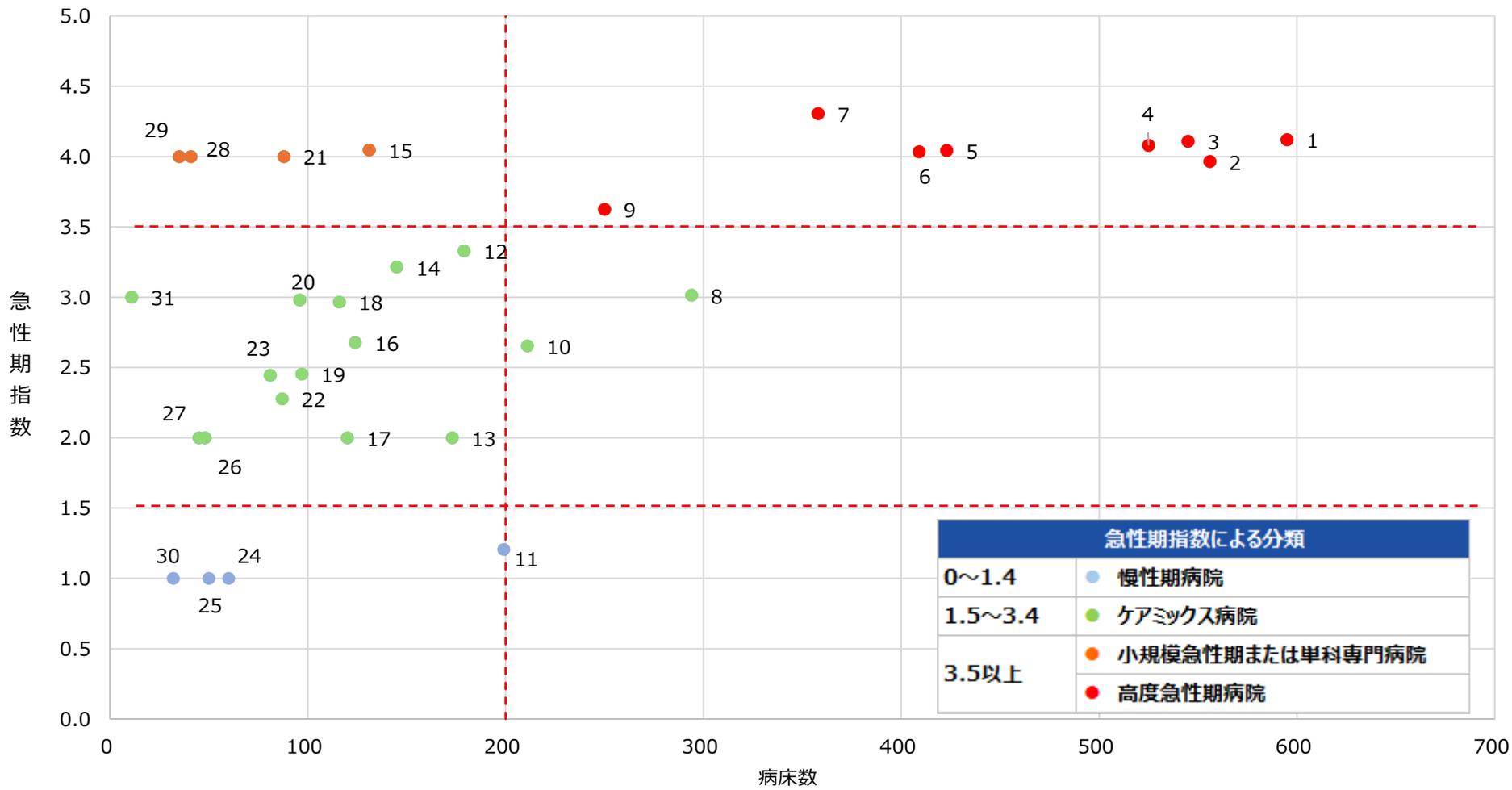
# 横浜医療圏\_横浜西部 | ポジショニングマップ

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	横浜旭中央総合病院	473	3.4
2	NHO横浜医療センター	445	4.1
3	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	430	4.2
4	神奈川県立がんセンター	393	3.9
5	けいゆう病院	372	4.0
6	聖隷横浜病院	349	3.3
7	イムス横浜東戸塚総合リハビリ病院	333	1.3
8	国際親善総合病院	284	3.5
9	平成横浜病院	183	2.5
10	西横浜国際総合病院	181	2.6
11	横浜いずみ台病院	160	1.3
12	赤枝病院	159	1.0
13	JCHO横浜保土ヶ谷中央病院	153	3.6
14	新中川病院	152	1.0
15	ふれあい東戸塚ホスピタル	150	1.4
16	イムス横浜狩場脳神経外科病院	147	2.8
17	上白根病院	146	4.0
18	戸塚共立第1病院	138	4.0
19	横浜甞生病院	111	2.1
20	育生会 横浜病院	102	1.9
21	戸塚共立第2病院	101	4.1
22	横浜鶴ヶ峰病院	100	4.0
23	横浜療育医療センター	100	1.0
24	戸塚病院	93	3.1
25	松島病院	93	4.0

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	瀬谷ふたつ橋病院	88	2.2
27	亀田病院	60	2.0
28	横浜第一病院	48	4.0
29	東戸塚記念病院	32	3.1
30	横浜相原病院	30	1.0
31	三ツ境病院	22	1.9
32	ゆめが丘総合病院	0	0.0

# 横浜医療圏\_横浜南部 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）  
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 横浜医療圏\_横浜南部 | ポジショニングマップ

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	横浜市立大学附属市民総合医療センター	595	4.1
2	K K R 横浜南共済病院	556	4.0
3	横浜市立大学附属病院	545	4.1
4	横浜市立みなと赤十字病院	525	4.1
5	K K R 横浜栄共済病院	423	4.0
6	済生会 横浜市南部病院	409	4.0
7	神奈川県立こども医療センター	358	4.3
8	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	294	3.0
9	J C H O 横浜中央病院	250	3.6
10	康心会汐見台病院	211	2.7
11	関東病院	199	1.2
12	磯子中央病院	179	3.3
13	済生会 若草病院	173	2.0
14	金沢文庫病院	145	3.2
15	神奈川県立循環器呼吸器病センター	131	4.0
16	金沢病院	124	2.7
17	よこはま港南台地域包括ケア病院	120	2.0
18	佐藤病院	116	3.0
19	長田病院	97	2.5
20	横浜東邦病院	96	3.0
21	横浜掖済会病院	88	4.0
22	ふれあい横浜ホスピタル	87	2.3
23	本牧病院	81	2.4
24	清水ヶ丘病院	60	1.0
25	横浜じんせい病院	50	1.0

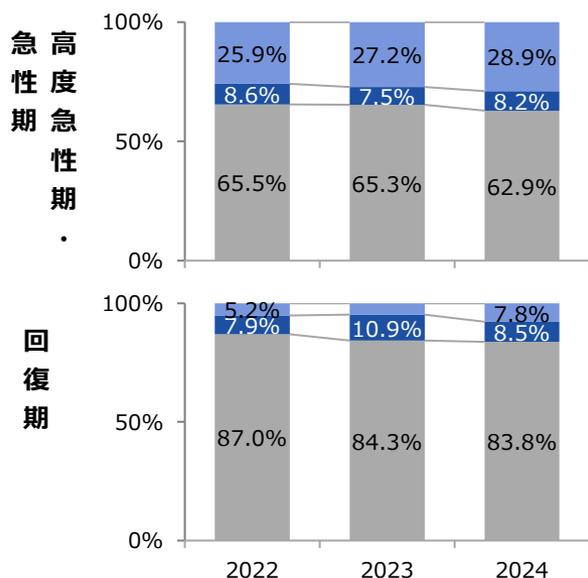
No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	横浜なみきりハビリテーション病院	48	2.0
27	朝倉病院	45	2.0
28	秋山脳神経外科病院	41	4.0
29	港南台病院	35	4.0
30	横浜医療福祉センター港南	32	1.0
31	東條ウイメンズホスピタル	11	3.0

# 横浜医療圏 | 入退棟経路の傾向

当該医療圏の機能別の入院経路と退棟先の構成割合を示しています。

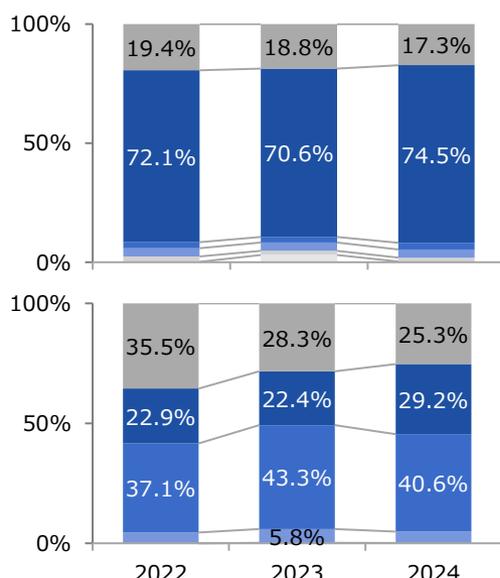
「他の病院、診療所へ転院」の割合等から、地域の機能分化の状況を確認できます。

### 入棟時の状況の変化



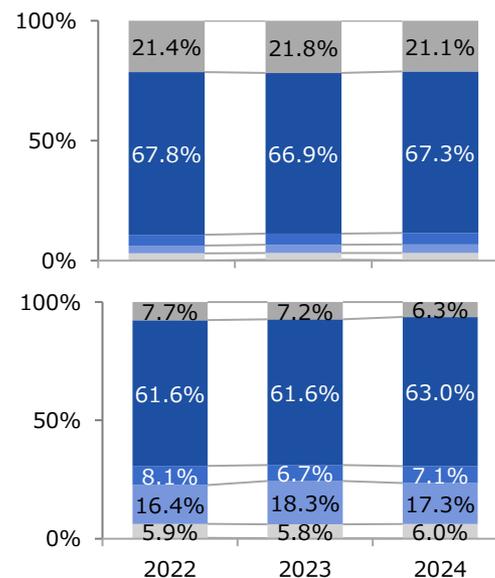
- 救急医療入院の予定外入院患者
- 救急医療入院以外の予定外入院患者
- 予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者

### 入棟経路の変化



- 院内の他病棟からの転棟
- 家庭からの入院
- 他の病院、診療所からの転院
- 介護・福祉施設、介護医療院からの入院
- 院内の出生
- その他入院経路

### 退棟先の変化



- 院内の他病棟へ転棟
- 家庭へ退院
- 他の病院、診療所へ転院
- 介護老人保健・福祉施設、介護医療院、有料老人ホーム等へ入所
- 終了（死亡退院等）
- その他

# 横浜医療圏\_横浜北部 | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	昭和大学横浜市北部病院	横浜市都筑区	その他	二次救急	345.9	330	95.4%	739.4	3	2	9
2	横浜労災病院	横浜市港北区	国立病院	三次救急	276.0	274	99.3%	731.8	4	3	10
3	横浜市民病院	横浜市神奈川区	公的医療機関	三次救急	271.0	156	57.6%	771.3	4	2	11
4	昭和大学藤が丘病院	横浜市青葉区	その他	三次救急	269.2	256	95.1%	664.3	4	2	7
5	済生会 横浜市東部病院	横浜市鶴見区	公的医療機関	三次救急	256.1	248	96.8%	794.3	5	3	16
6	横浜総合病院	横浜市青葉区	医療法人	二次救急	74.2	56	75.5%	288.1	2	2	3
7	菊名記念病院	横浜市港北区	医療法人	二次救急	64.2	54	84.1%	271.6	2	2	4
8	汐田総合病院	横浜市鶴見区	その他	二次救急	47.9	37	77.2%	180.3	2	1	2
9	横浜新緑総合病院	横浜市緑区	医療法人	二次救急	47.5	40	84.2%	233.7	1	2	2
10	横浜新都市脳神経外科病院	横浜市青葉区	医療法人	二次救急	33.3	23	69.1%	646.5	1	3	4
11	済生会 神奈川県病院	横浜市神奈川区	公的医療機関	二次救急	29.7	24	80.8%	191.4	2	1	2
12	牧野記念病院	横浜市緑区	医療法人	二次救急	26.7	16	59.9%	114.8	1	1	0
13	大口東総合病院	横浜市神奈川区	医療法人	二次救急	21.0	16	76.2%	102.4	1	0	1
14	鴨居病院	横浜市緑区	医療法人	二次救急	12.8	9	70.3%	64.4	1	1	0
15	青葉さわい病院	横浜市青葉区	医療法人	二次救急	12.3	6	48.8%	100.3	1	0	0
16	佐々木病院	横浜市鶴見区	医療法人	二次救急	10.8	5	46.3%	50.0	1	1	1
17	高田中央病院	横浜市港北区	医療法人	二次救急	10.5	5	47.6%	35.5	1	1	0
18	たちばな台病院	横浜市青葉区	医療法人	二次救急	0.0	0	0.0%	83.2	1	1	1

# 横浜医療圏\_横浜西部 | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	NHO横浜医療センター	横浜市戸塚区	国立病院	三次救急	174.8	125	71.5%	587.5	3	2	5
2	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜市旭区	その他	三次救急	152.8	146	95.5%	557.9	2	2	3
3	けいゆう病院	横浜市西区	その他	二次救急	139.8	129	92.3%	413.0	4	2	6
4	戸塚共立第1病院	横浜市戸塚区	医療法人	二次救急	122.0	25	20.5%	167.0	1	0	0
5	横浜旭中央総合病院	横浜市旭区	医療法人	二次救急	121.8	106	87.0%	382.8	2	1	4
6	聖隷横浜病院	横浜市保土ヶ谷区	その他	二次救急	89.3	61	68.3%	299.4	3	2	4
7	国際親善総合病院	横浜市泉区	その他	二次救急	82.8	68	82.1%	330.9	2	2	2
8	ゆめが丘総合病院	横浜市泉区	医療法人	二次救急	79.0	21	26.6%	119.0	1	1	1
9	東戸塚記念病院	横浜市戸塚区	医療法人	二次救急	63.2	55	87.0%	324.8	1	1	1
10	JCHO横浜保土ヶ谷中央病院	横浜市保土ヶ谷区	国立病院	二次救急	45.1	45	99.8%	195.8	1	1	1
11	戸塚共立第2病院	横浜市戸塚区	医療法人	二次救急	42.4	28	66.0%	116.7	1	1	1
12	西横浜国際総合病院	横浜市戸塚区	医療法人	二次救急	33.6	26	77.4%	137.7	1	1	1
13	横浜鶴ヶ峰病院	横浜市旭区	医療法人	二次救急	29.2	20	68.5%	75.3	2	1	1
14	平成横浜病院	横浜市戸塚区	医療法人	二次救急	27.0	17	63.0%	119.3	2	1	1
15	上白根病院	横浜市旭区	医療法人	二次救急	23.0	23	100.0%	137.6	1	1	1
16	ふれあい東戸塚ホスピタル	横浜市戸塚区	医療法人	二次救急	6.3	4	63.5%	61.4	1	1	0

# 横浜医療圏\_横浜南部 | 救急車受入を行う病院の概要①

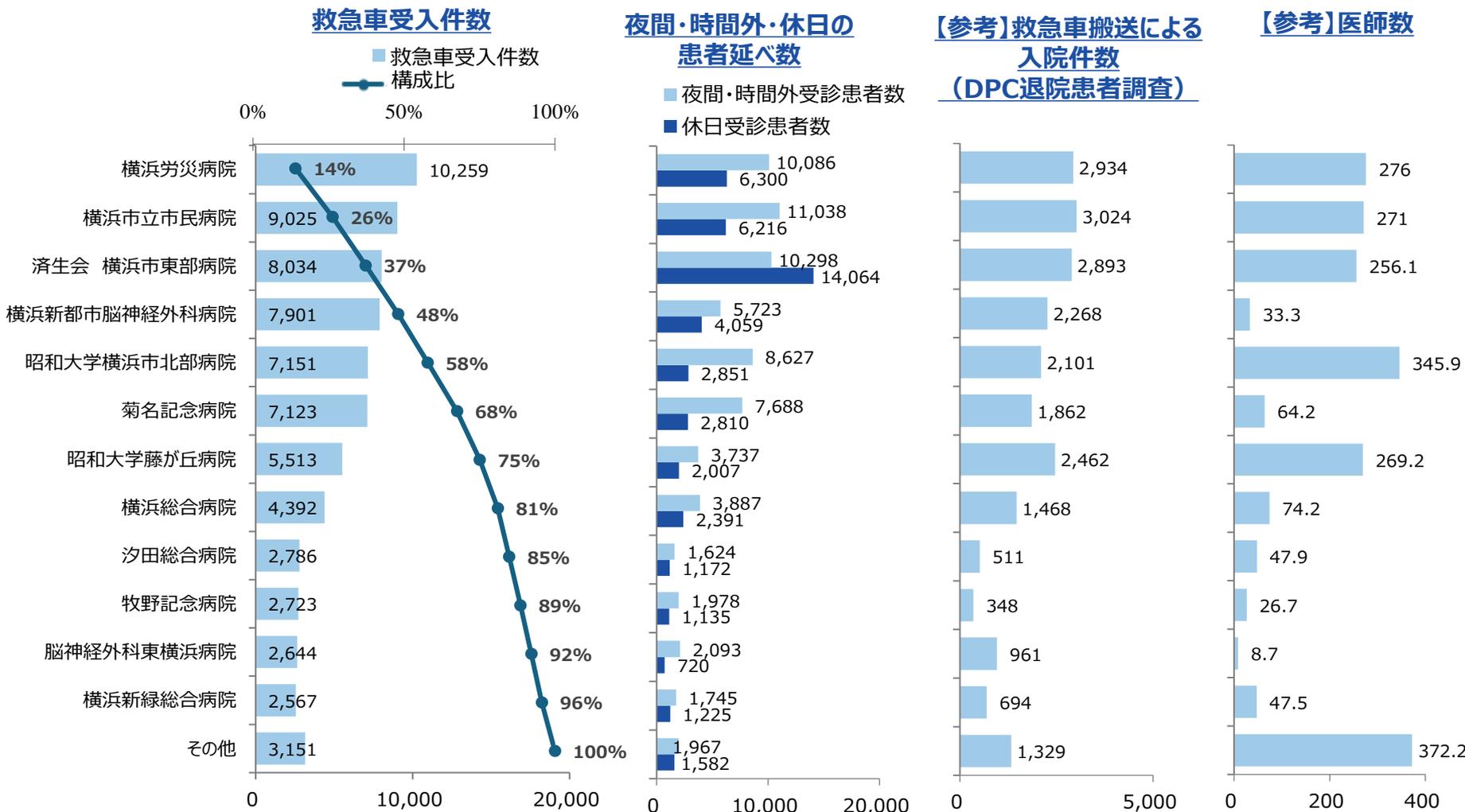
救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	横浜市立大学附属病院	横浜市金沢区	公的医療機関	二次救急	592.8	559	94.3%	804.5	3	3	12
2	横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜市南区	公的医療機関	三次救急	485.4	474	97.7%	965.5	6	3	11
3	横浜市立みなと赤十字病院	横浜市中区	公的医療機関	三次救急	237.1	222	93.6%	656.2	4	3	9
4	K K R 横浜南共済病院	横浜市金沢区	社会保険関係団体	三次救急	174.1	174	99.9%	663.1	3	3	8
5	済生会 横浜市南部病院	横浜市港南区	公的医療機関	二次救急	166.0	156	94.0%	599.8	3	2	5
6	K K R 横浜栄共済病院	横浜市栄区	社会保険関係団体	二次救急	125.3	113	90.2%	425.3	4	2	6
7	神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜市金沢区	公的医療機関	二次救急	49.6	42	84.7%	193.1	3	1	5
8	J C H O 横浜中央病院	横浜市中区	国立病院	二次救急	49.5	47	94.9%	182.3	2	1	2
9	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	横浜市磯子区	公的医療機関	二次救急	39.9	33	82.7%	248.4	1	2	2
10	磯子中央病院	横浜市磯子区	医療法人	二次救急	26.0	19	73.1%	106.6	1	1	1
11	康心会汐見台病院	横浜市磯子区	医療法人	二次救急	25.3	18	71.1%	123.3	1	1	1
12	金沢文庫病院	横浜市金沢区	医療法人	二次救急	19.5	13	66.7%	91.0	1	0	2
13	ふれあい横浜ホスピタル	横浜市中区	医療法人	二次救急	13.9	8	57.6%	72.4	1	1	1
14	横浜東邦病院	横浜市港南区	医療法人	二次救急	13.3	8	60.2%	61.1	1	1	0
15	本牧病院	横浜市中区	医療法人	二次救急	7.1	4	56.3%	38.2	1	1	0
16	秋山脳神経外科病院	横浜市港南区	医療法人	二次救急	0.0	0	0.0%	33.9	1	1	1

## 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。  
 医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。

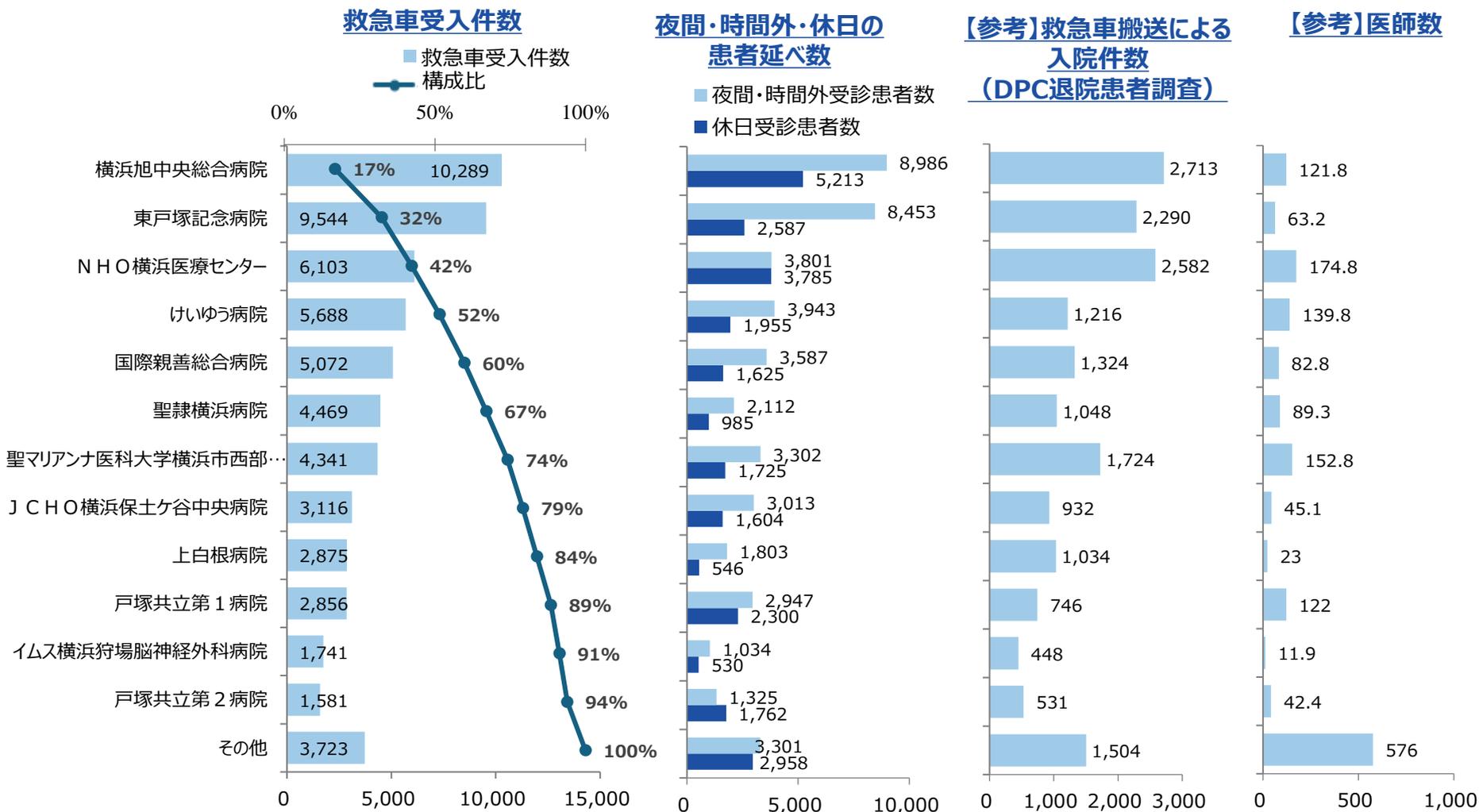


出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

## 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。

医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



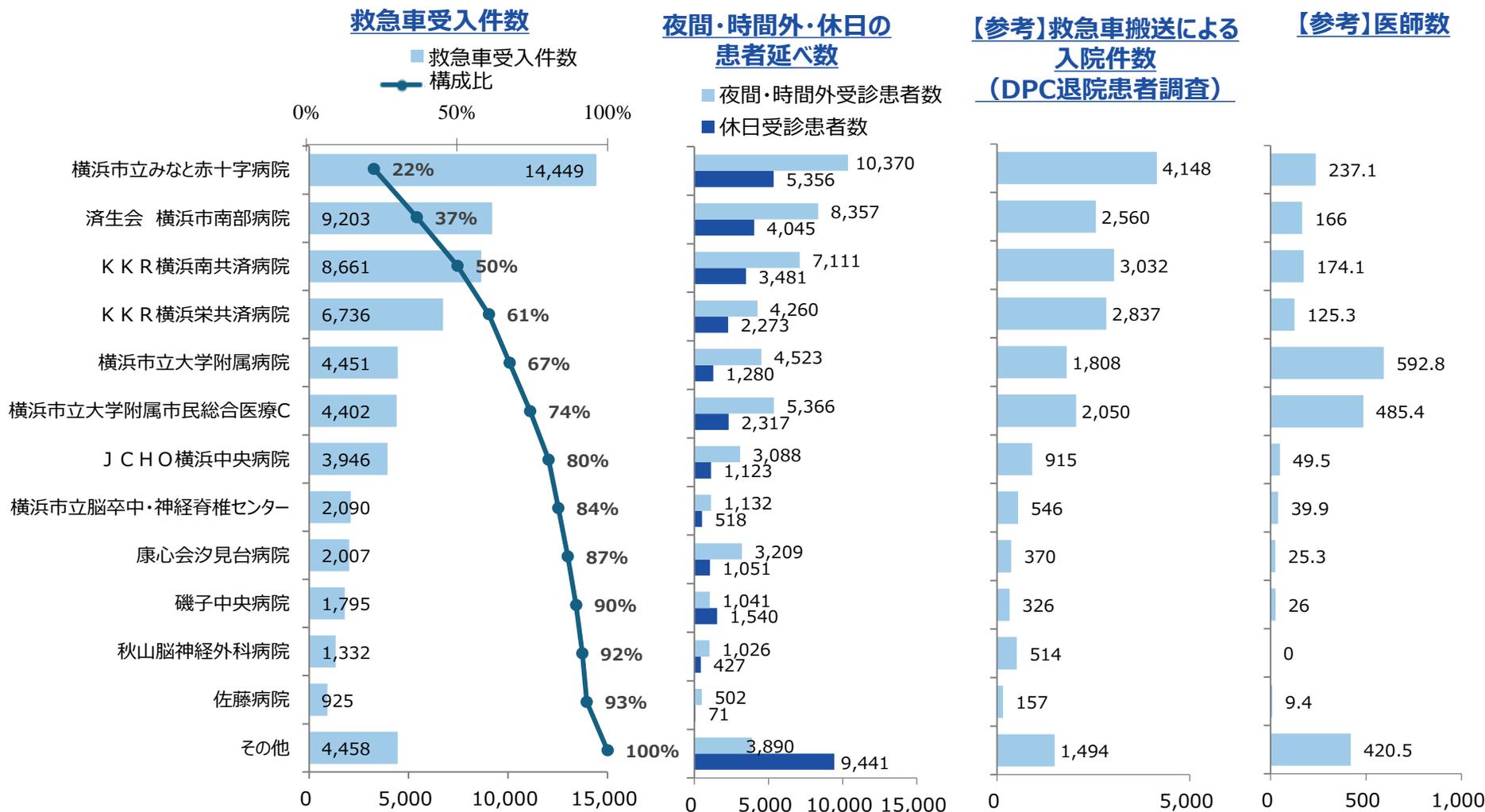
出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)

：「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

## 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。

医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)

：「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

# 横浜区域と類似区域における救急医療の提供状況

人口、地域区分、大学病院の有無を条件とした類似区域を3つ抽出し、主要な指標を比較しています。  
 他区域と比較して、救急車受入の病院が分散していないか、また、職員1人あたりの患者数が大きくないか確認し、効率的、かつ、持続可能な救急医療が行えているか確認します。

区域名	区域の基礎情報				救急車受入を行う病院						主な診療実績 (区域合計)			一般病床 流出入率			
	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	地域区分	大学 病院	病院数	救急車 件数	時間外 患者数	職員数		医師あたり		看護職員あたり			手術 総数	全麻 手術 件数	分娩 件数
神奈川県 横浜	3,777,491	438	大都市型	有	62	199,122	279,003	6,089	20,370	32.7	45.8	9.8	13.7	169,295	82,391	12,384	▲1.1%
北海道 札幌	2,396,732	3,540	大都市型	有	101	108,082	198,748	4,930	23,907	21.9	40.3	4.5	8.3	174,207	84,284	6,213	10.5%
愛知県 名古屋・尾張 中部	2,501,526	368	大都市型	有	45	138,815	266,362	5,086	16,762	27.3	52.4	8.3	15.9	131,629	46,123	6,992	6.8%
大阪府 大阪市	2,752,412	225	大都市型	有	86	213,829	309,928	6,959	23,720	30.7	44.5	9.0	13.1	172,702	72,579	11,035	11.7%

地域区分は人口と人口密度を用いた石川ベンジャミン光一氏の分類方法により作成  
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/MeshBKH2022acuteNmd/map>

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）  
 「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化（令和6年度）」（厚生労働省）  
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）  
 「厚生労働省 令和7年告示第166号」  
 「令和2年国勢調査」（総務省統計局）  
 「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」（総務省統計局）2020年度

**地域区分類型**  
 大都市型：人口が100万人以上（又は）人口密度が2,000人/km<sup>2</sup>以上  
 地方都市A型：人口が20万人以上  
 地方都市B型：人口が10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>以上  
 過疎地域A型：人口が10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>未満  
 過疎地域B型：人口が5～10万人  
 過疎地域C型：人口が5万人未満

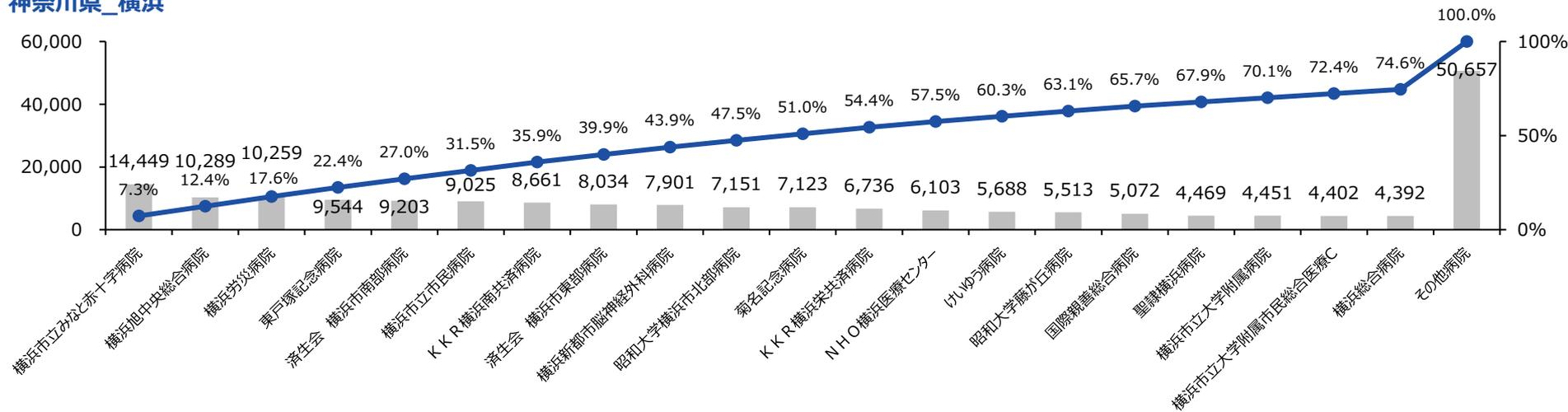
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数①】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

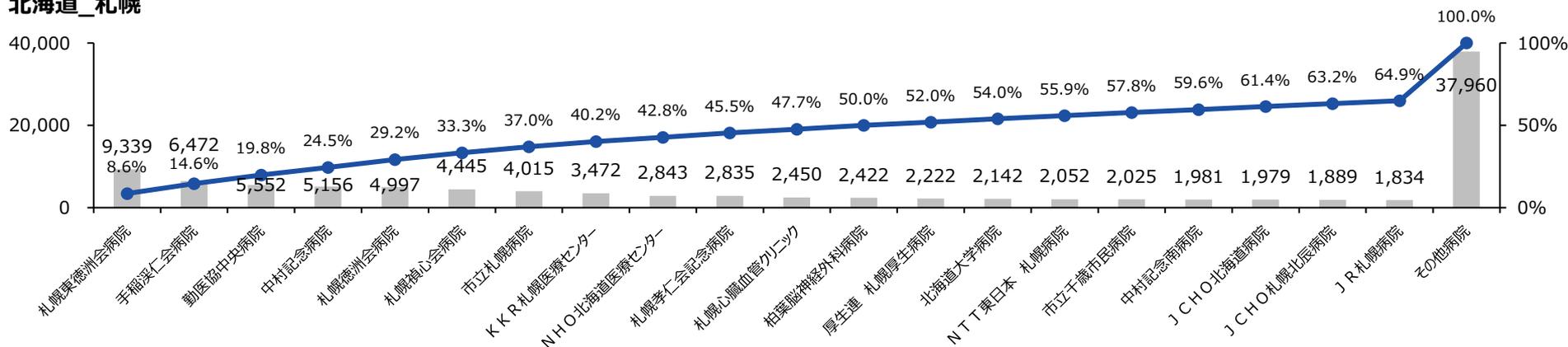
最も受入の多い医療機関の受入件数や、受入件数のバラつきを確認し、地域の特徴を把握します。

■ 救急車受入件数 ● 累積構成比

## 神奈川県\_横浜

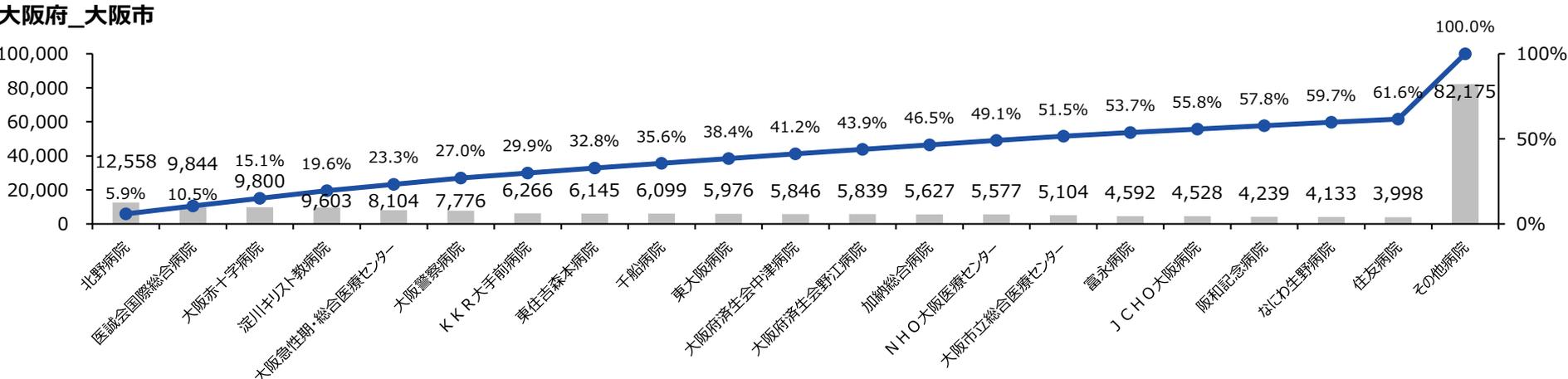
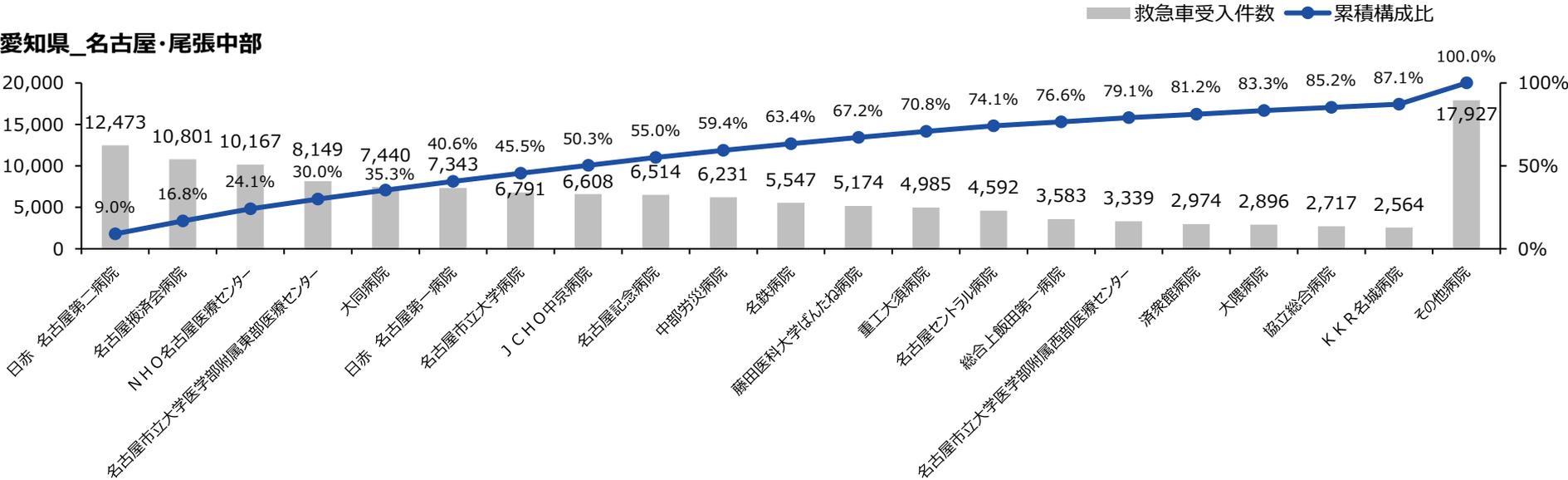


## 北海道\_札幌



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数②】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



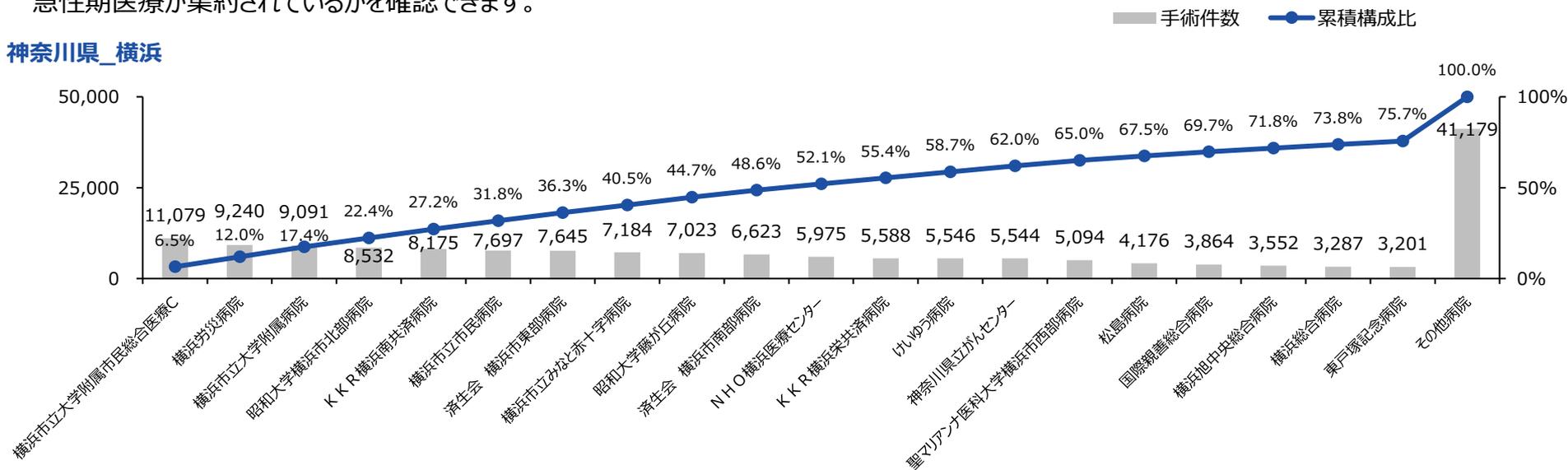
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数①】

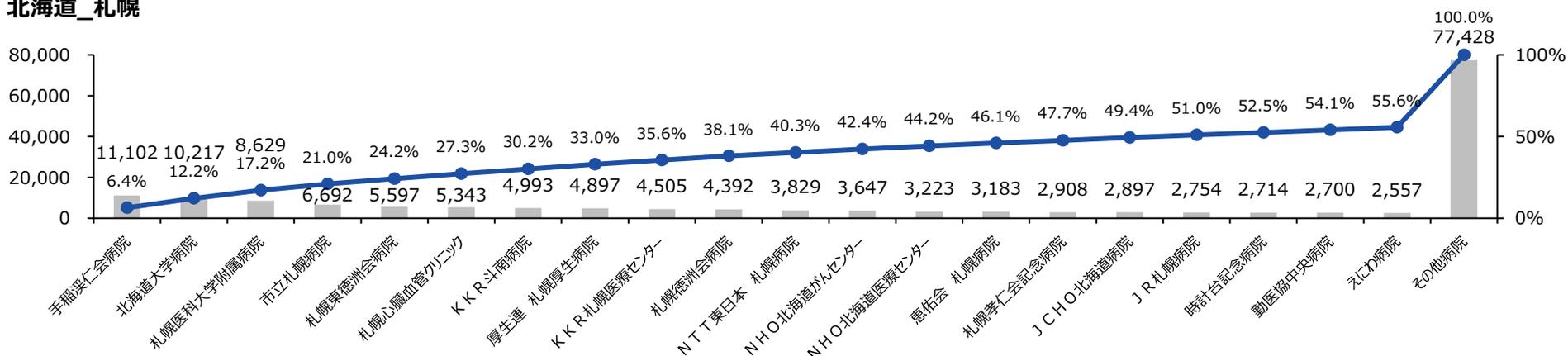
医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

急性期医療が集約されているかを確認できます。

## 神奈川県\_横浜

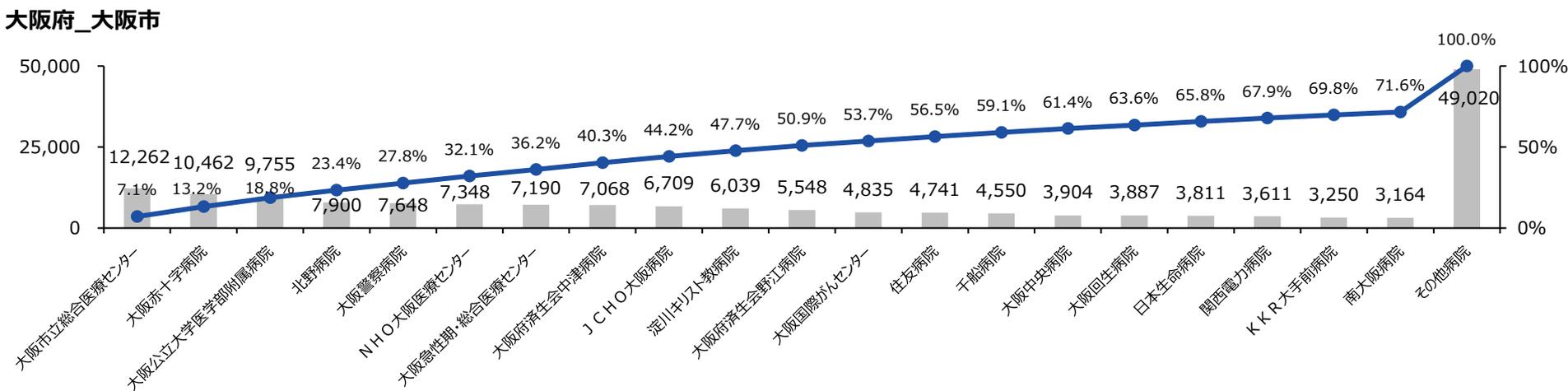
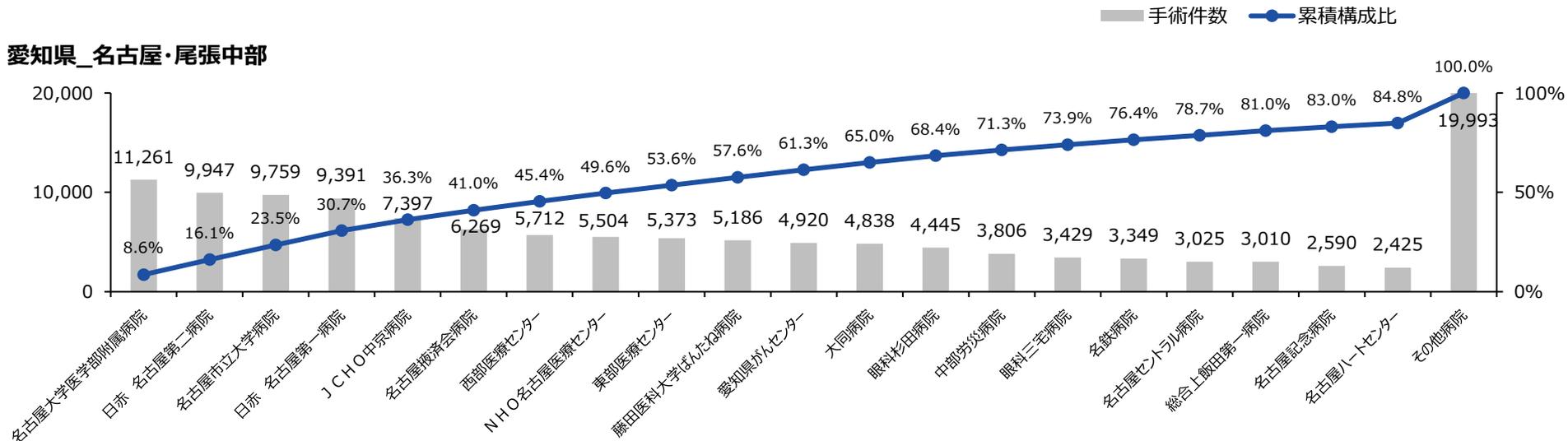


## 北海道\_札幌



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数②】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



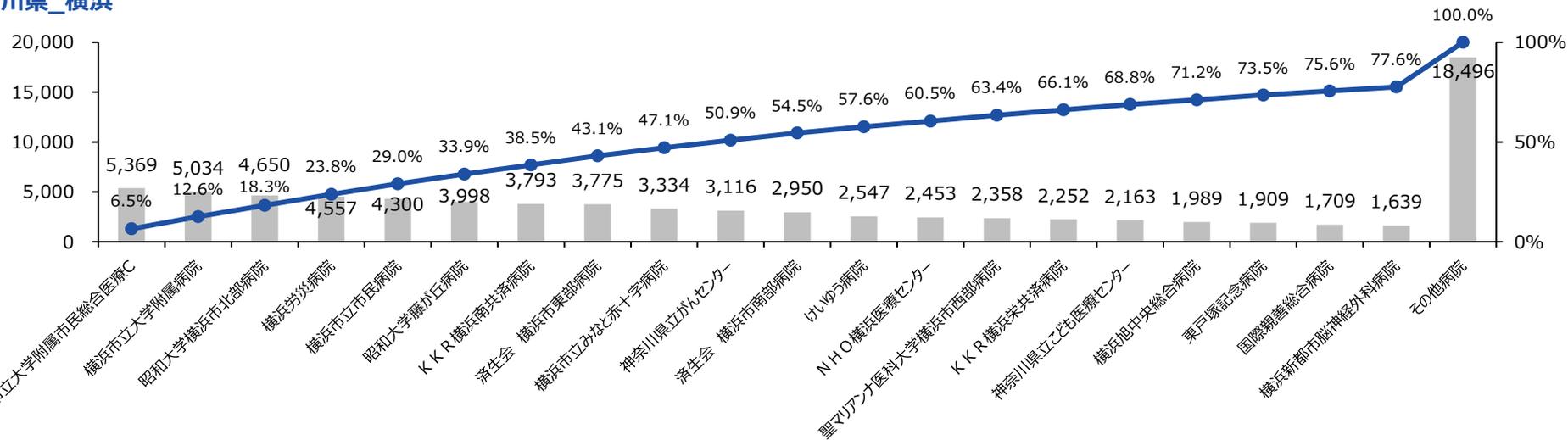
# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数①】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

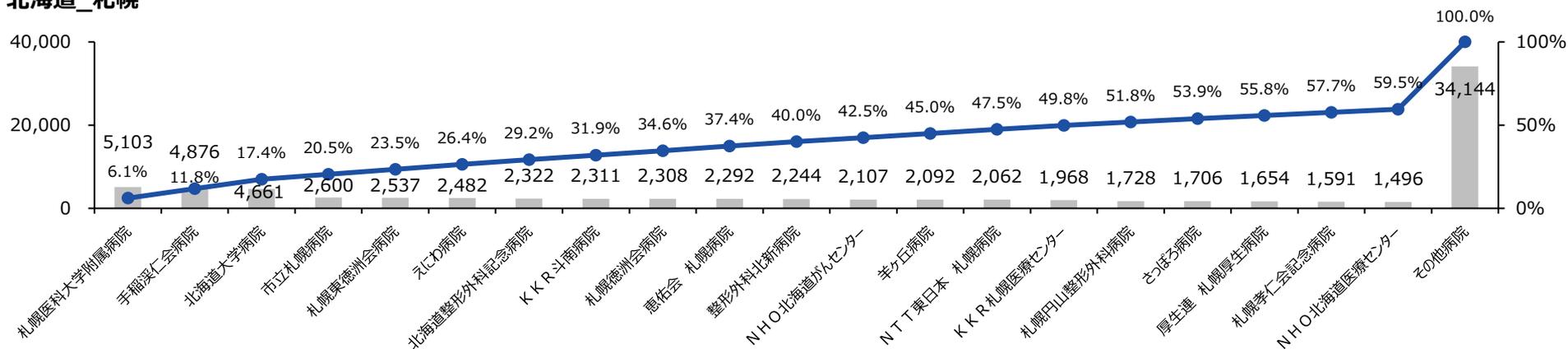
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 全身麻酔手術件数    ● 累積構成比

## 神奈川県\_横浜

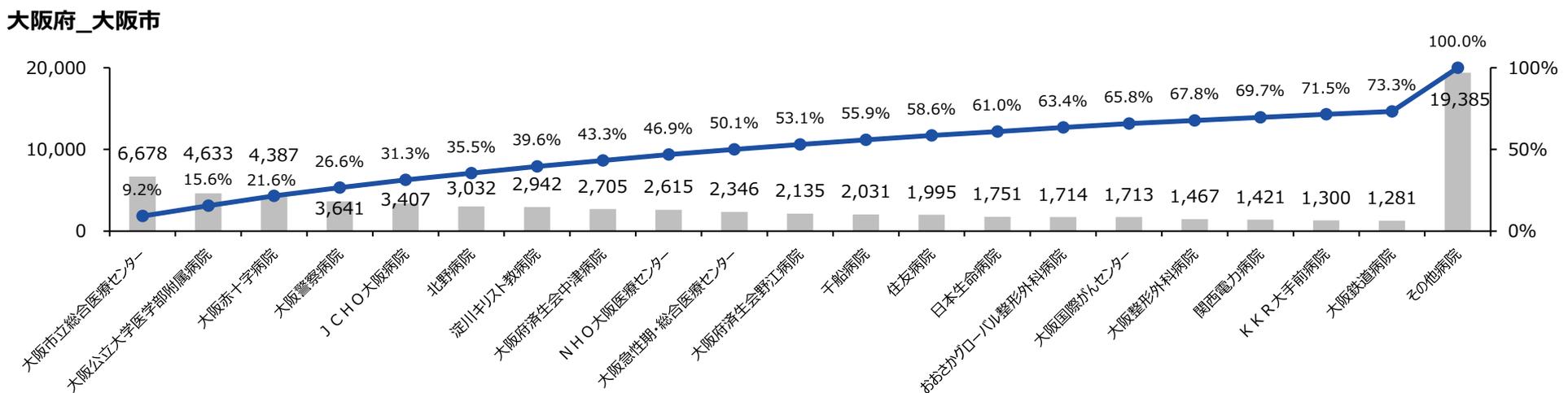
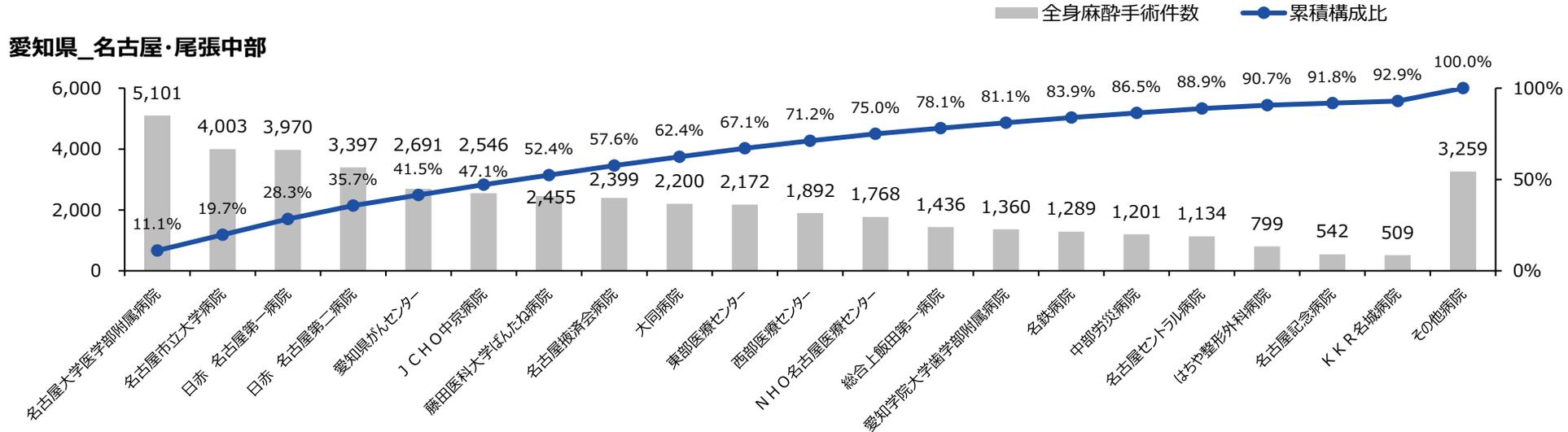


## 北海道\_札幌



# 救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数②】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



# 神奈川県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）①

都道府県内のDPC病院における在院日数の比較を示しています。

全国の平均在院日数は11.72日であり、「全国の疾患構成に補正した場合」の日数が長い医療機関は非効率な運用となっている可能性があります。

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
1	北里大学病院	相模原	大学	特定7対1	1,088	96%	23,428	12.1	12.8
2	東海大学医学部付属病院	湘南西部	大学	特定7対1	804	100%	21,502	10.7	11.0
3	聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	大学	特定7対1	924	97%	21,432	11.5	11.2
4	徳洲会 湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	特定	急性期1	659	99%	20,676	10.5	10.2
5	K K R 横須賀共済病院	横須賀・三浦	特定	急性期1	688	99%	19,037	10.7	10.6
6	横浜市民病院	横浜	特定	急性期1	625	96%	16,149	10.7	11.0
7	昭和大学横浜市北部病院	横浜	標準	急性期1	569	83%	16,120	9.7	11.5
8	横浜労災病院	横浜	標準	急性期1	650	100%	16,102	11.0	12.0
9	横浜国立大学附属市民総合医療センター	横浜	特定	急性期1	611	94%	15,846	10.0	9.5
10	横浜国立大学附属病院	横浜	大学	特定7対1	612	94%	15,173	10.5	9.6
11	済生会 横浜市東部病院	横浜	特定	急性期1	468	83%	15,167	9.2	8.8
12	K K R 横浜南共済病院	横浜	特定	急性期1	545	97%	13,784	10.7	10.5
13	横浜市立みなと赤十字病院	横浜	標準	急性期1	559	92%	13,657	11.1	10.5
14	藤沢市民病院	湘南東部	標準	急性期1	536	100%	13,627	9.9	10.2
15	昭和大学藤が丘病院	横浜	特定	急性期1	578	100%	12,948	11.7	11.5
16	関東労災病院	川崎南部	特定	急性期1	610	100%	12,688	12.2	12.0
17	新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	標準	急性期1	442	79%	12,673	8.8	10.6
18	N H O 横浜医療センター	横浜	標準	急性期1	470	96%	11,986	10.0	9.8
19	済生会 横浜市南部病院	横浜	特定	急性期1	500	100%	11,945	9.7	9.9
20	川崎市立川崎病院	川崎南部	標準	急性期1	582	94%	11,872	11.7	11.4
21	神奈川県立がんセンター	横浜	標準	専門7対1	395	95%	11,781	8.2	10.1
22	海老名総合病院	県央	標準	急性期1	479	100%	11,662	11.7	11.6
23	N H O 相模原病院	相模原	標準	急性期1	458	100%	11,087	10.3	12.2
24	帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	特定	急性期1	400	100%	10,724	10.3	11.4
25	日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	標準	急性期1	372	100%	10,464	10.4	11.7

# 神奈川県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）②

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
26	厚生連 相模原協同病院	相模原	特定	急性期1	388	98%	10,322	10.8	10.1
27	湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	特定	急性期1	419	100%	10,165	12.3	11.3
28	K K R 横浜栄共済病院	横浜	標準	急性期1	400	100%	9,992	11.6	11.1
29	川崎幸病院	川崎南部	標準	急性期1	326	100%	9,936	10.9	11.0
30	小田原市立病院	県西	標準	急性期1	417	100%	9,867	11.6	11.7
31	K K R 平塚共済病院	湘南西部	特定	急性期1	385	100%	9,782	11.0	11.0
32	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	標準	急性期1	466	100%	9,709	11.2	11.4
33	けいゆう病院	横浜	標準	急性期1	410	100%	9,511	10.0	11.1
34	茅ヶ崎市立病院	湘南東部	標準	急性期1	401	100%	8,878	10.3	10.6
35	平塚市民病院	湘南西部	標準	急性期1	410	100%	8,866	10.7	9.7
36	大和市立病院	県央	標準	急性期1	403	100%	8,434	10.4	11.3
37	厚木市立病院	県央	標準	急性期1	341	100%	8,421	9.5	10.6
38	川崎市立多摩病院	川崎北部	標準	急性期1	357	97%	7,208	11.3	12.0
39	厚生連 伊勢原協同病院	湘南西部	標準	急性期1	291	83%	6,921	11.3	11.3
40	横浜旭中央総合病院	横浜	標準	急性期1	397	77%	6,848	14.4	12.4
41	横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	標準	急性期1	337	87%	6,695	10.7	10.6
42	藤沢湘南台病院	湘南東部	標準	急性期1	218	66%	6,025	8.8	9.4
43	国際親善総合病院	横浜	標準	急性期1	228	79%	5,716	9.7	10.5
44	横浜総合病院	横浜	標準	急性期1	300	100%	5,536	12.4	11.7
45	日本鋼管病院	川崎南部	標準	急性期1	310	87%	5,469	11.1	11.5
46	神奈川県立子ども医療センター	横浜	標準	急性期1	390	91%	5,319	11.6	11.1
47	横浜新都市脳神経外科病院	横浜	標準	急性期1	257	81%	5,155	14.0	13.5
48	東戸塚記念病院	横浜	標準	急性期1	284	93%	5,131	16.5	14.2
49	東名厚木病院	県央	標準	急性期1	208	74%	4,338	10.0	10.0
50	菊名記念病院	横浜	標準	急性期1	218	100%	4,292	13.7	12.4

# 神奈川県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順） ③

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
51	川崎市立井田病院	川崎南部	標準	急性期1	275	72%	4,290	12.6	11.3
52	湘南東部総合病院	湘南東部	標準	急性期1	211	65%	4,238	13.3	12.9
53	大船中央病院	横須賀・三浦	標準	急性期4	247	100%	4,211	12.3	13.2
54	大和徳洲会病院	県央	標準	急性期1	207	84%	3,894	15.3	12.7
55	秦野赤十字病院	湘南西部	標準	急性期2	216	82%	3,816	11.0	11.1
56	K K R 虎の門病院分院	川崎北部	標準	急性期1	204	68%	3,803	10.3	11.6
57	聖隷横浜病院	横浜	標準	急性期1	249	68%	3,767	13.0	12.9
58	太田総合病院	川崎南部	標準	急性期1	261	100%	3,747	10.4	13.8
59	横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	標準	急性期1	225	77%	3,525	12.6	12.2
60	神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	標準	急性期4	179	75%	3,471	10.2	10.5
61	J C H O 相模野病院	相模原	標準	急性期1	178	84%	3,367	10.8	11.1
62	神奈川県立足柄上病院	県西	標準	急性期1	204	77%	3,328	13.4	12.0
63	総合高津中央病院	川崎北部	標準	急性期1	169	81%	3,068	7.8	9.4
64	徳洲会 湘南厚木病院	県央	標準	急性期4	170	67%	3,033	14.2	14.2
65	淵野辺総合病院	相模原	標準	急性期1	133	83%	3,005	10.8	11.6
66	J C H O 横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	標準	急性期1	205	87%	2,912	13.2	13.1
67	戸塚共立第1病院	横浜	標準	急性期1	148	100%	2,783	13.3	12.7
68	横浜新緑総合病院	横浜	標準	急性期1	157	67%	2,721	10.9	10.9
69	上白根病院	横浜	標準	急性期1	150	100%	2,600	16.0	14.3
70	J C H O 横浜中央病院	横浜	標準	急性期1	200	80%	2,552	11.5	12.5
71	戸塚共立第2病院	横浜	標準	急性期1	97	96%	2,368	11.7	10.4
72	徳洲会 湘南大磯病院	湘南西部	標準	急性期1	144	100%	2,267	14.7	13.8
73	たちばな台病院	横浜	標準	急性期4	134	100%	2,188	14.7	14.3
74	茅ヶ崎徳洲会病院	湘南東部	標準	急性期4	132	100%	2,178	16.2	16.1
75	西横浜国際総合病院	横浜	標準	急性期4	110	59%	2,161	10.8	12.3

# 神奈川県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）④

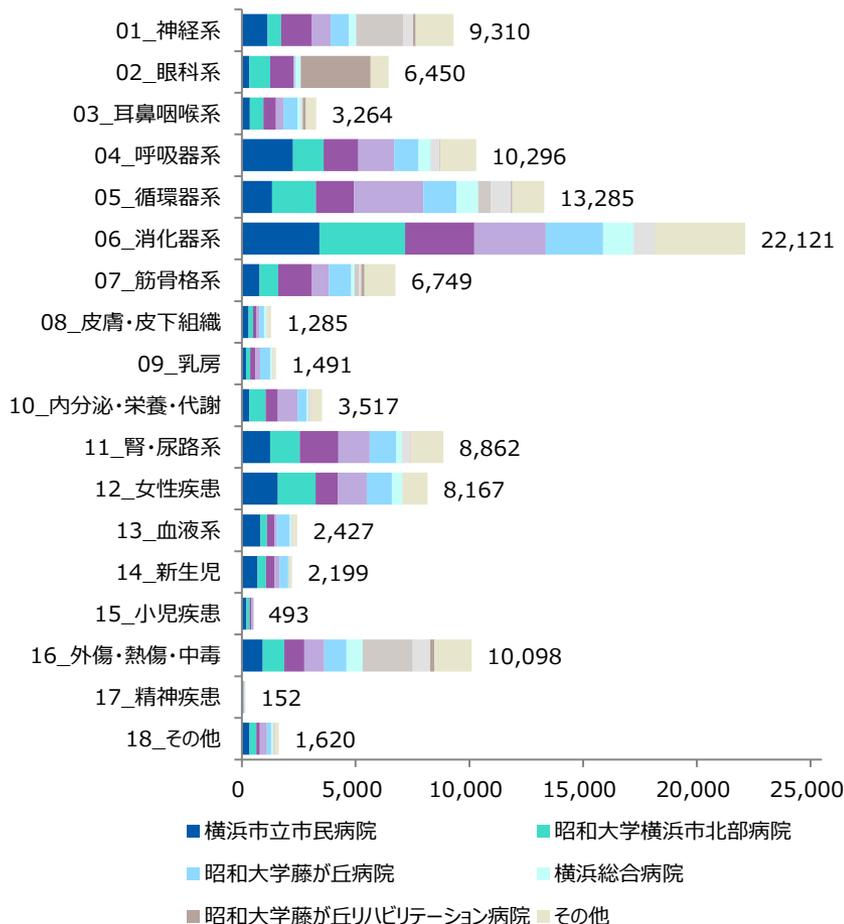
No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
76	山近記念総合病院	県西	標準	急性期1	152	100%	2,110	13.2	14.1
77	相模台病院	県央	標準	急性期4	151	49%	2,012	15.5	19.4
78	座間総合病院	県央	標準	急性期1	131	38%	2,006	13.8	13.2
79	済生会 神奈川県病院	横浜	標準	急性期4	108	54%	1,723	9.3	10.1
80	徳洲会 葉山ハートセンター	横須賀・三浦	標準	急性期1	89	100%	1,672	14.1	12.9
81	汐田総合病院	横浜	標準	急性期1	104	33%	1,623	10.6	11.5
82	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	横浜	標準	急性期2	145	48%	1,414	13.6	14.9
83	ゆめが丘総合病院	横浜	標準	急性期4	156	100%	1,345	23.5	17.7
84	磯子中央病院	横浜	標準	急性期4	100	56%	1,198	17.4	14.6
85	中央林間病院	県央	標準	急性期1	47	47%	1,114	14.5	7.3
86	慶友会 第一病院	川崎南部	標準	急性期2	51	100%	1,057	14.4	17.3
87	相模原赤十字病院	相模原	標準	急性期1	92	70%	1,045	9.6	9.2
88	衣笠病院	横須賀・三浦	標準	急性期4	50	26%	1,017	7.7	10.9
89	秋山脳神経外科病院	横浜	標準	急性期4	41	100%	824	15.0	12.5
90	桜ヶ丘中央病院	県央	標準	急性期1	45	26%	800	11.7	9.8
91	宮川病院	川崎南部	標準	急性期1	73	60%	796	12.9	12.3
92	イムス横浜狩場脳神経外科病院	横浜	標準	急性期2	57	39%	703	15.1	17.6
93	牧野記念病院	横浜	標準	急性期1	77	47%	698	12.6	11.5
94	よこすか浦賀病院	横須賀・三浦	標準	急性期2	50	51%	639	14.4	14.4
95	金沢文庫病院	横浜	標準	急性期2	71	48%	543	16.1	16.8
96	戸塚共立いずみ野病院	横浜	標準	急性期1	42	42%	522	17.2	18.8

# 横浜医療圏\_横浜北部 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

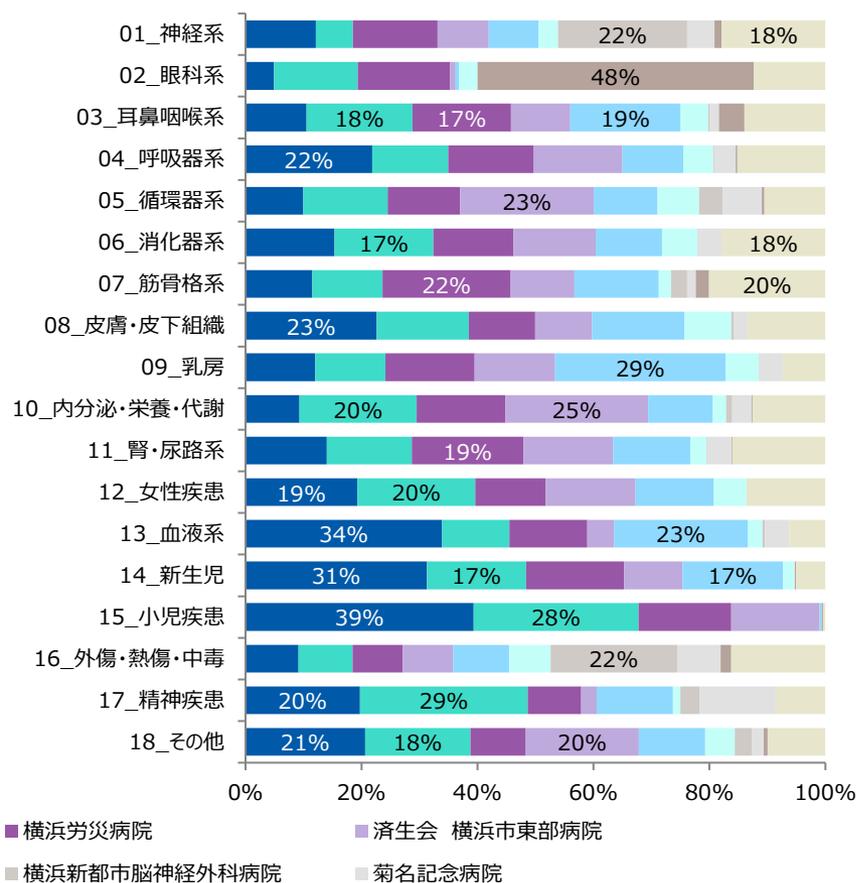
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



## MDC別医療機関シェア

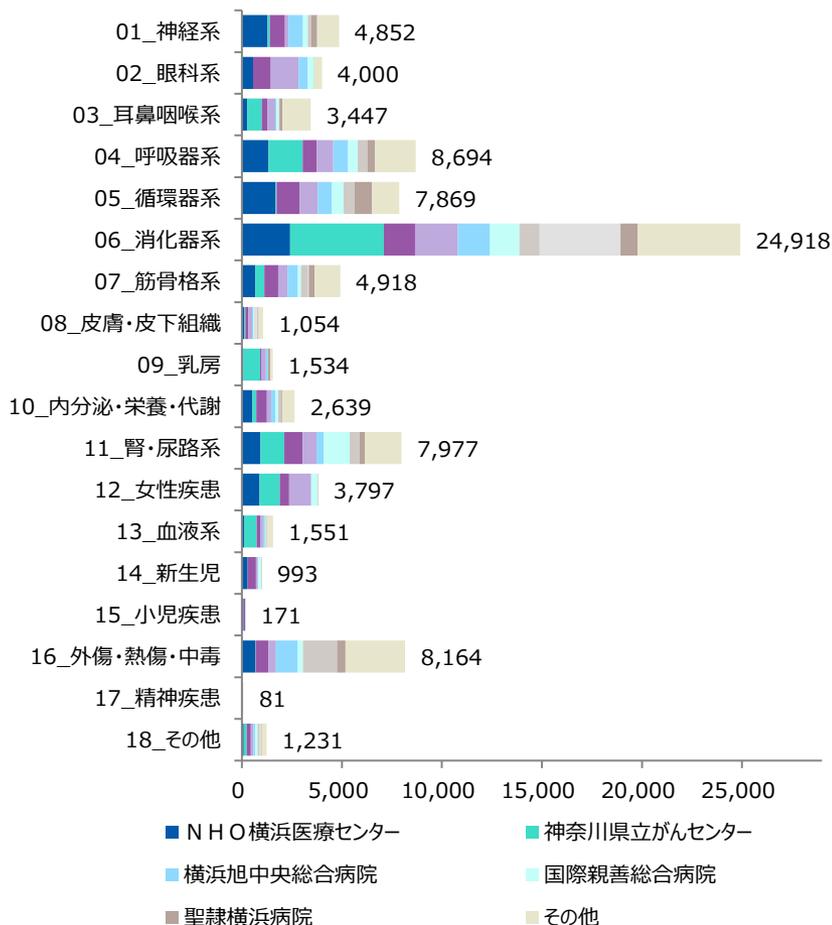


# 横浜医療圏\_横浜西部 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

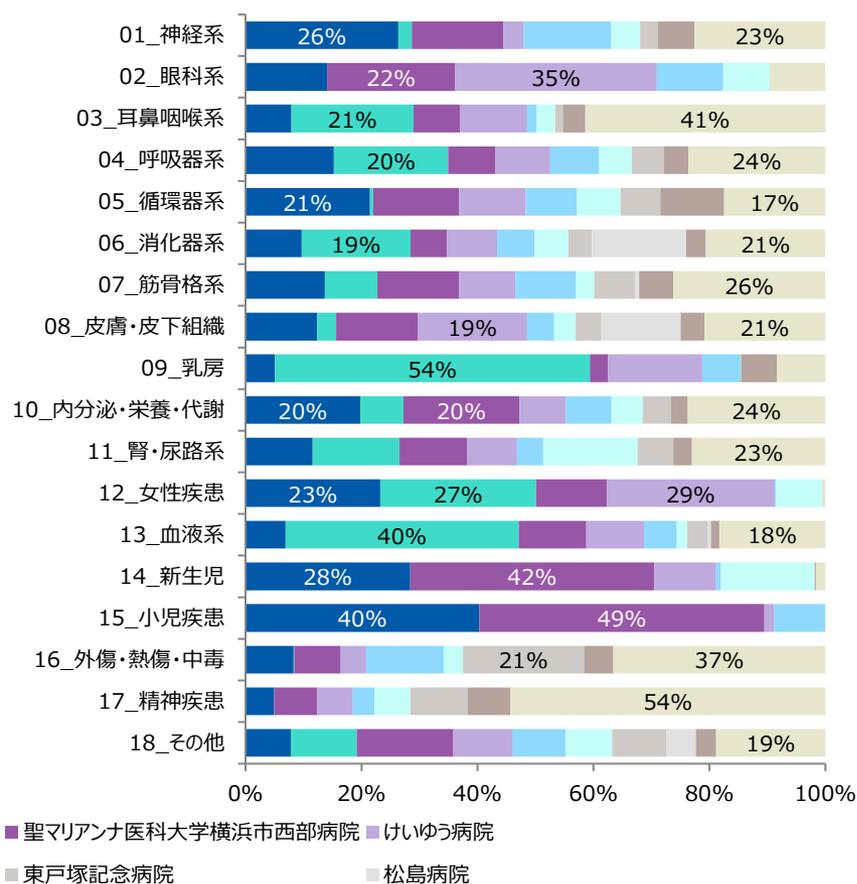
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数



## MDC別医療機関シェア

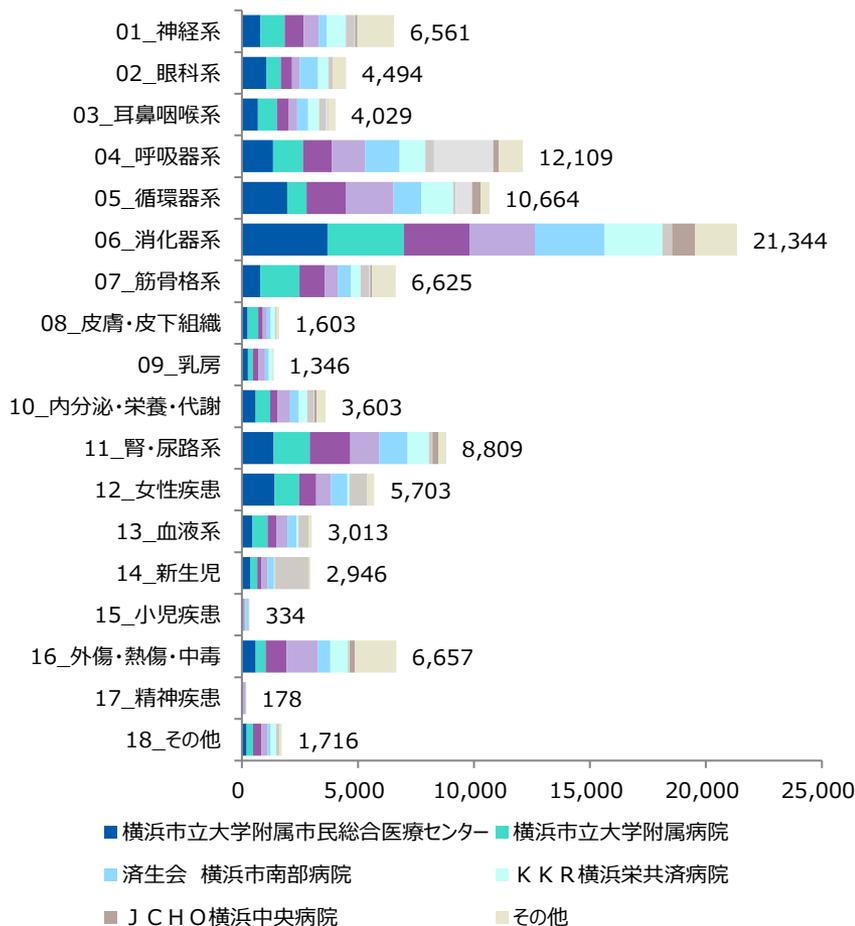


# 横浜医療圏\_横浜南部 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

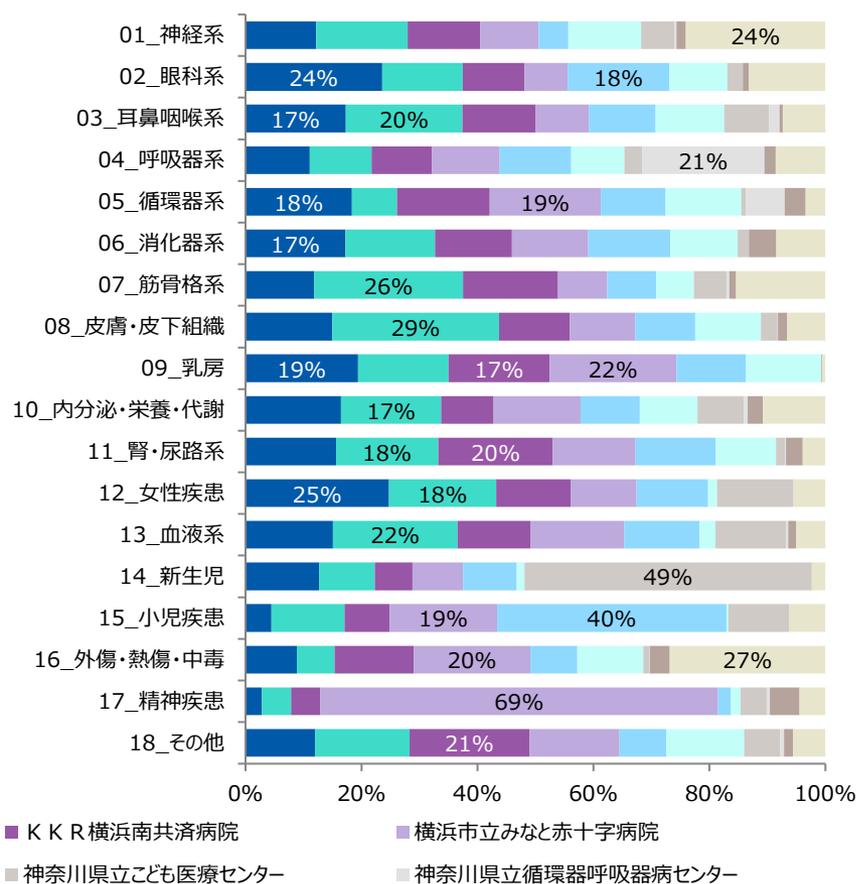
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

## MDC別退院患者数

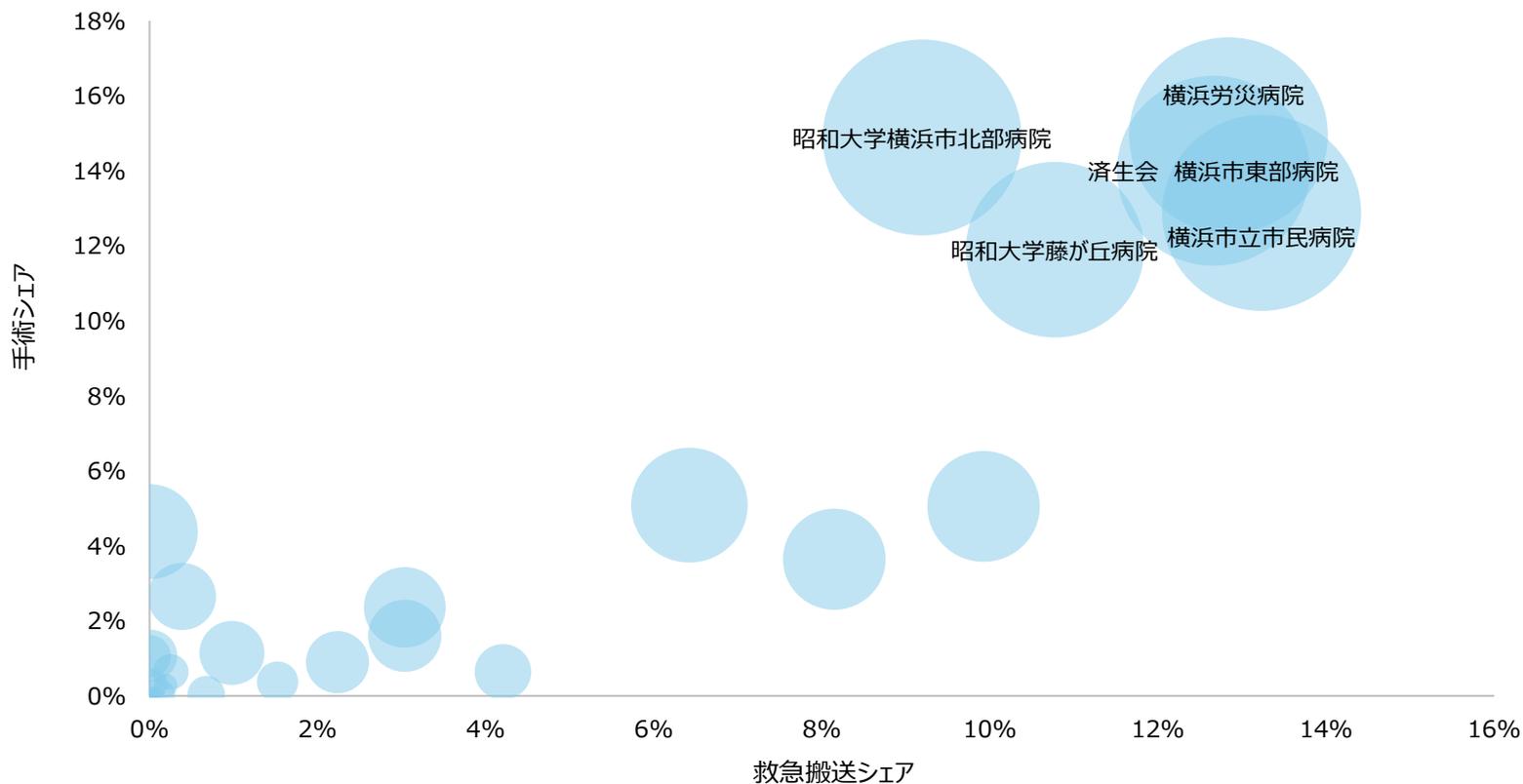


## MDC別医療機関シェア



# 横浜医療圏\_横浜北部 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

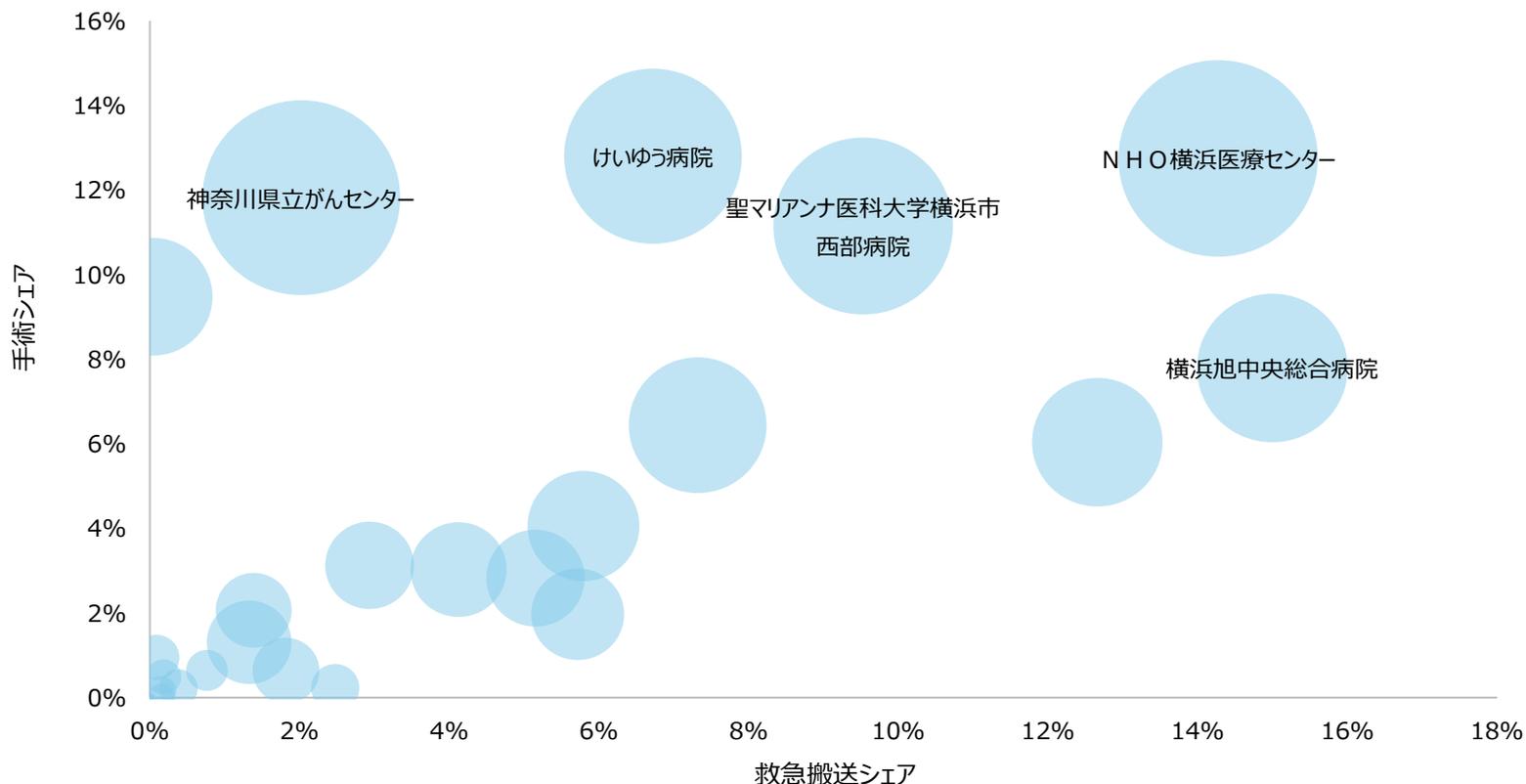
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 横浜医療圏\_横浜西部 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

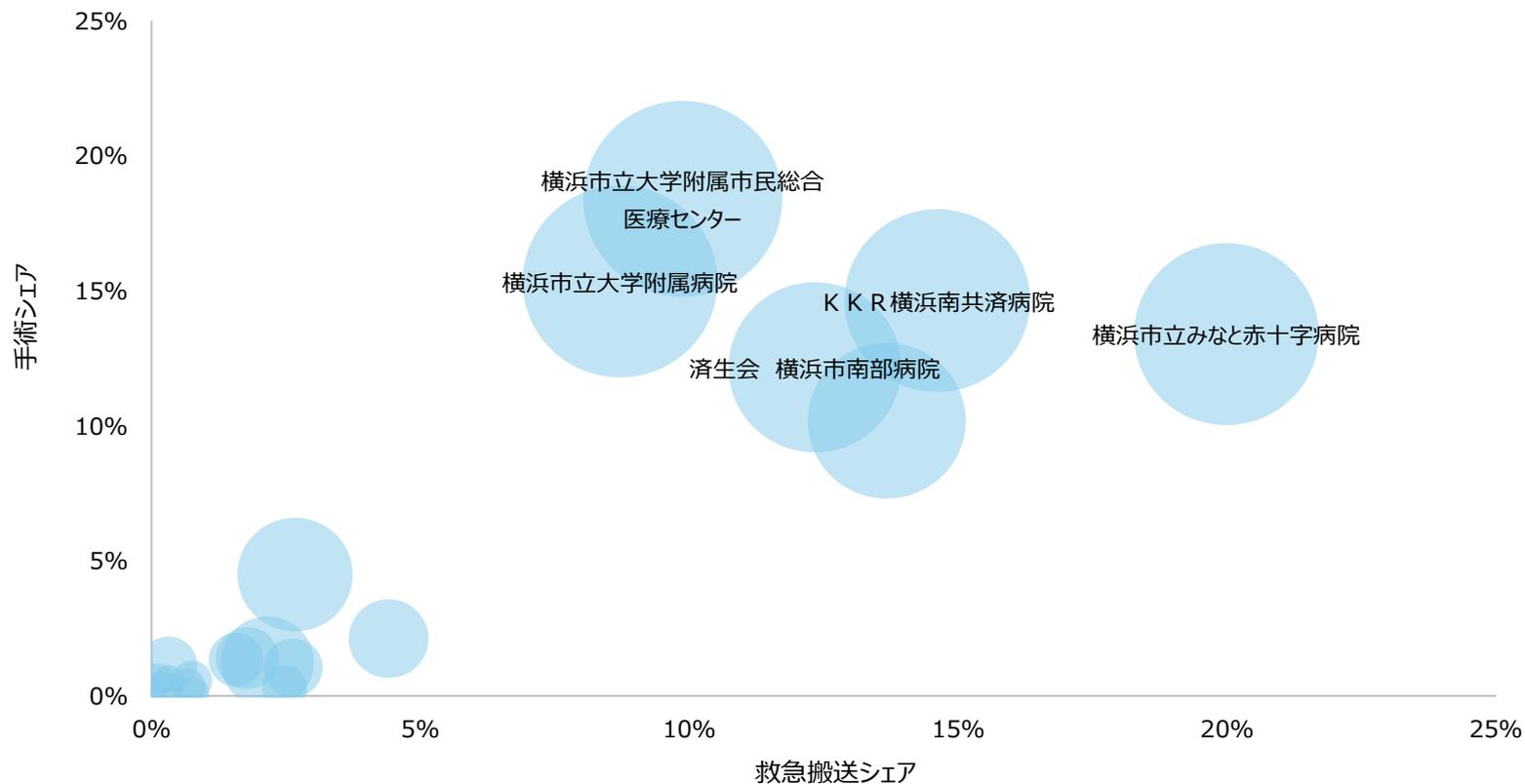
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

# 横浜医療圏\_横浜南部 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

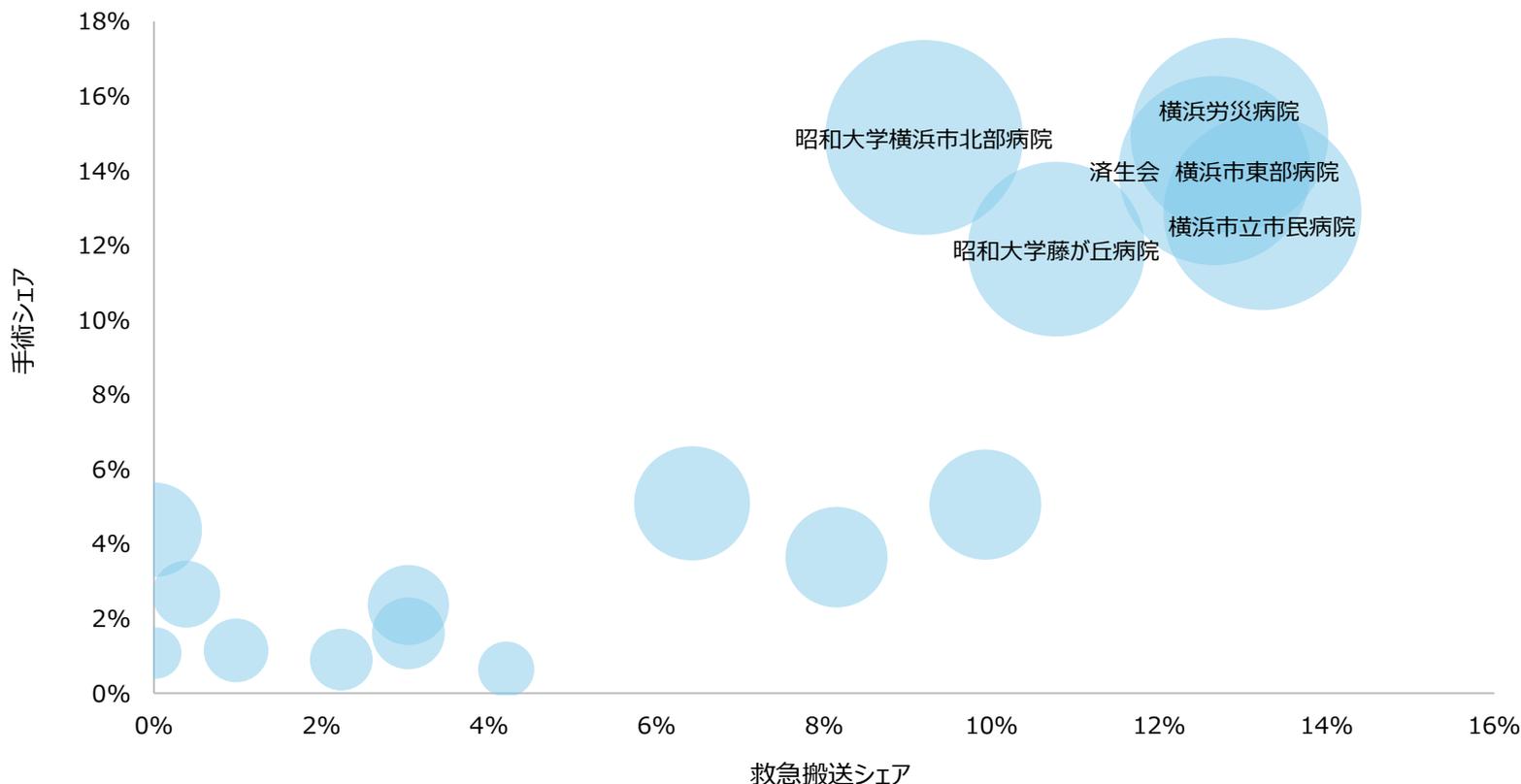
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

## DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

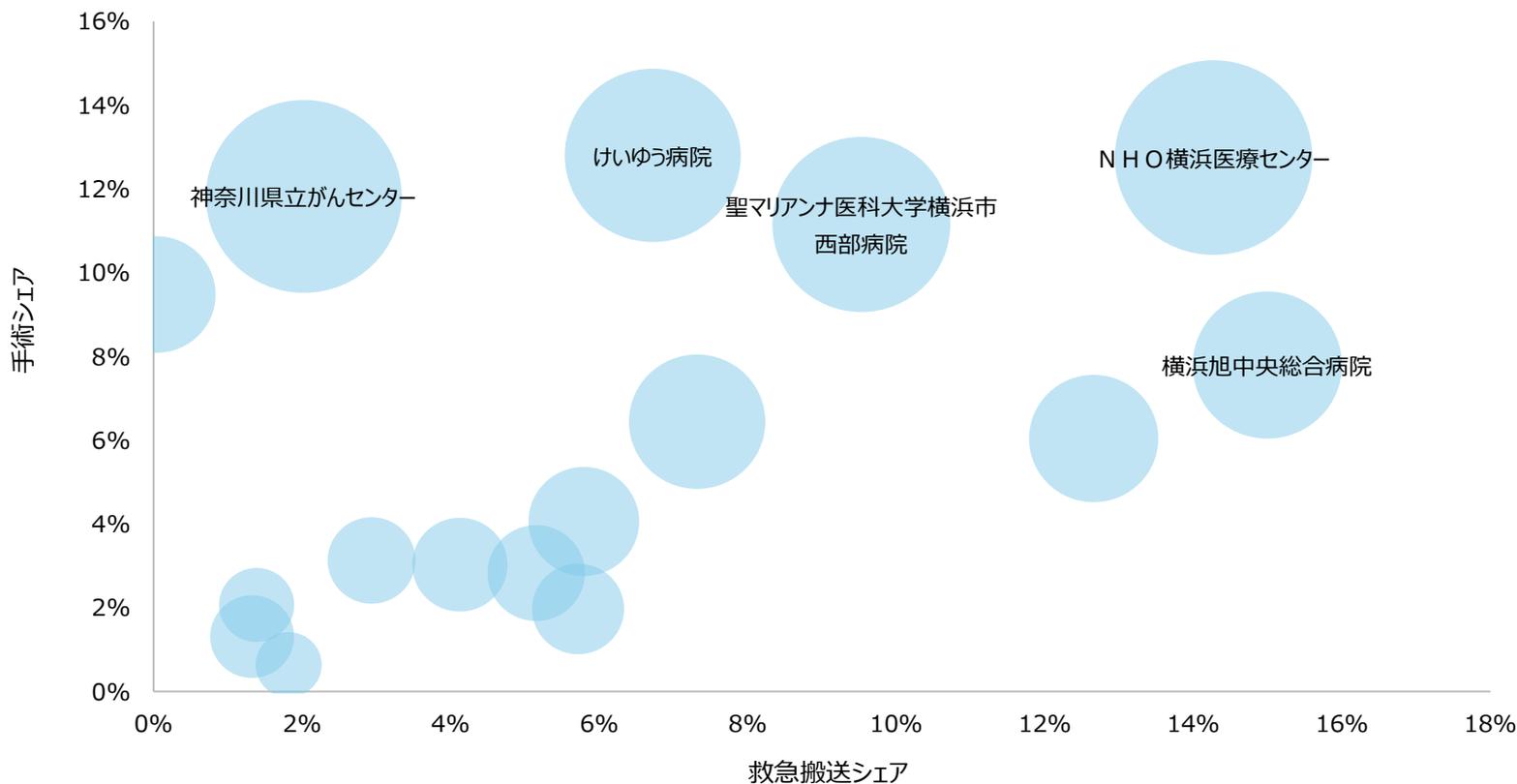
前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

## DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

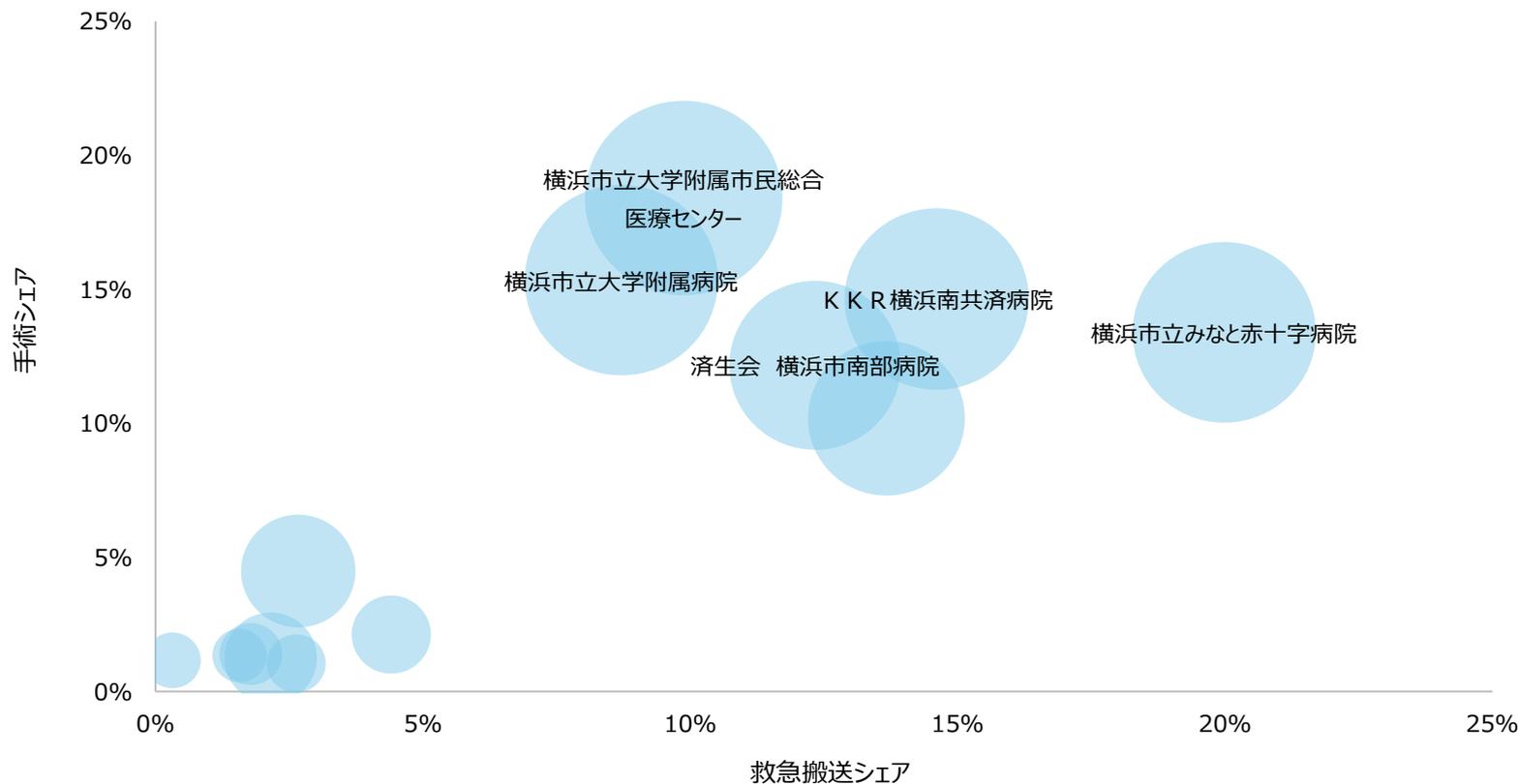
前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

## DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

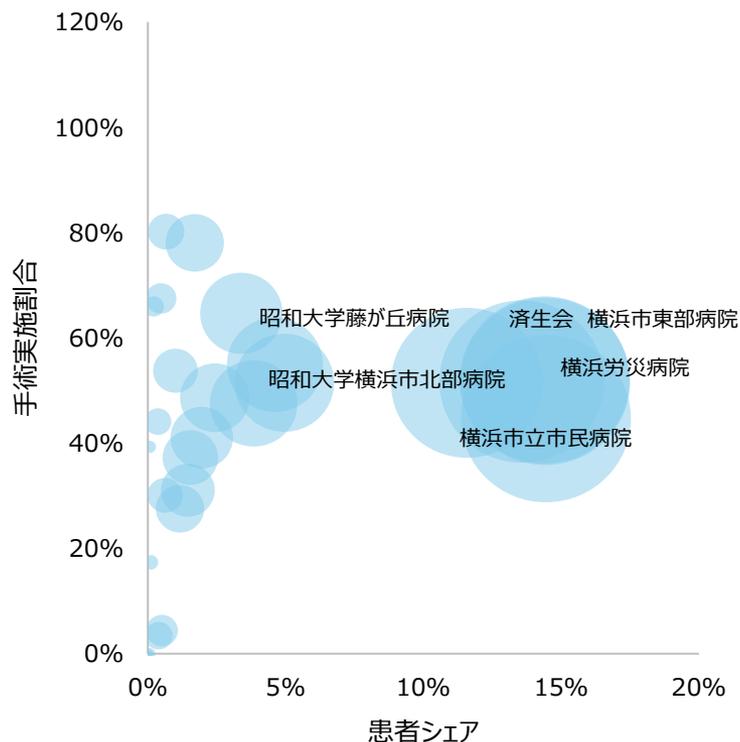


救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

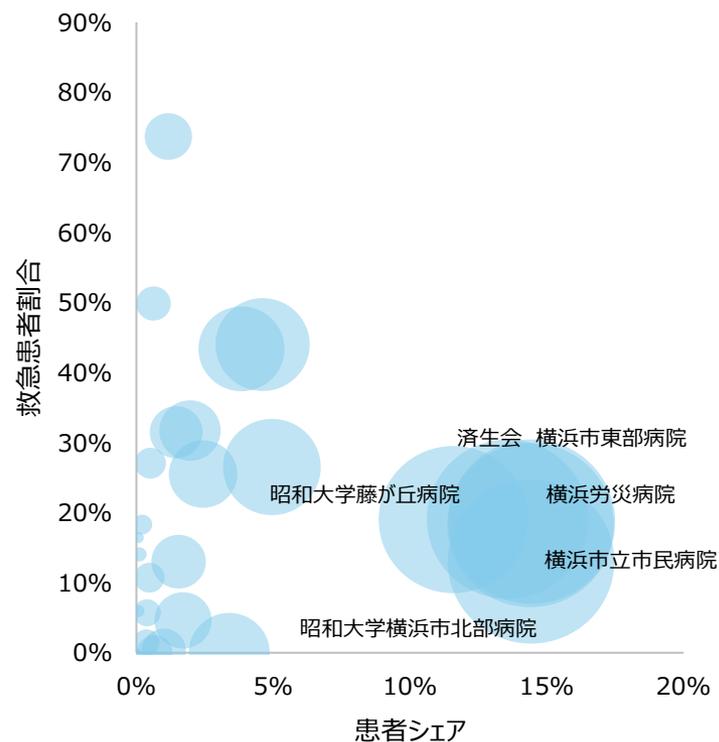
# 横浜医療圏\_横浜北部 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

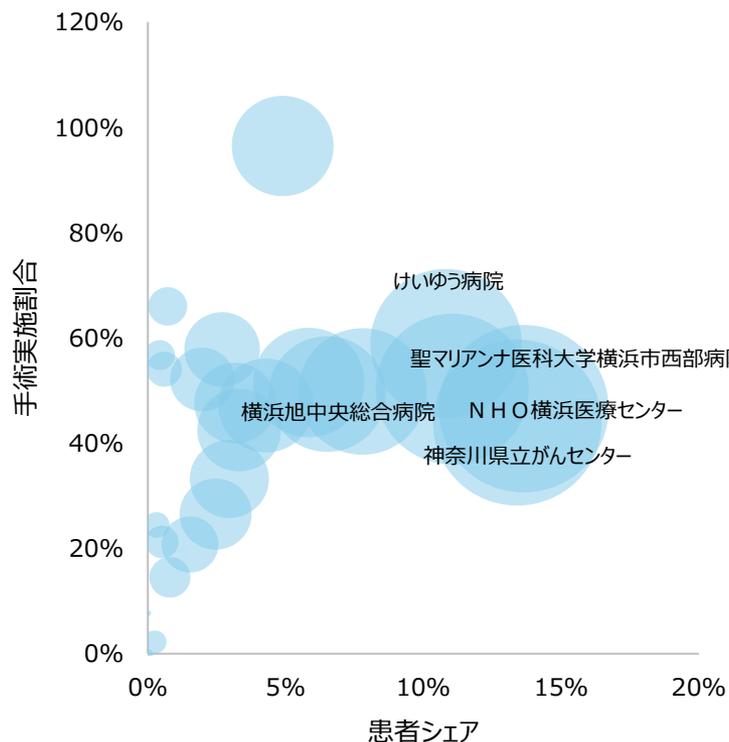


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

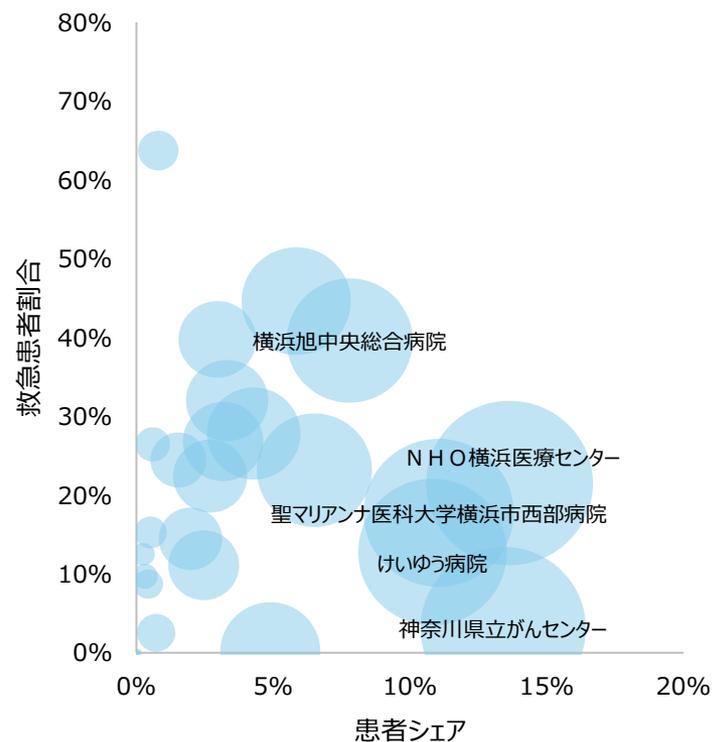
# 横浜医療圏\_横浜西部 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

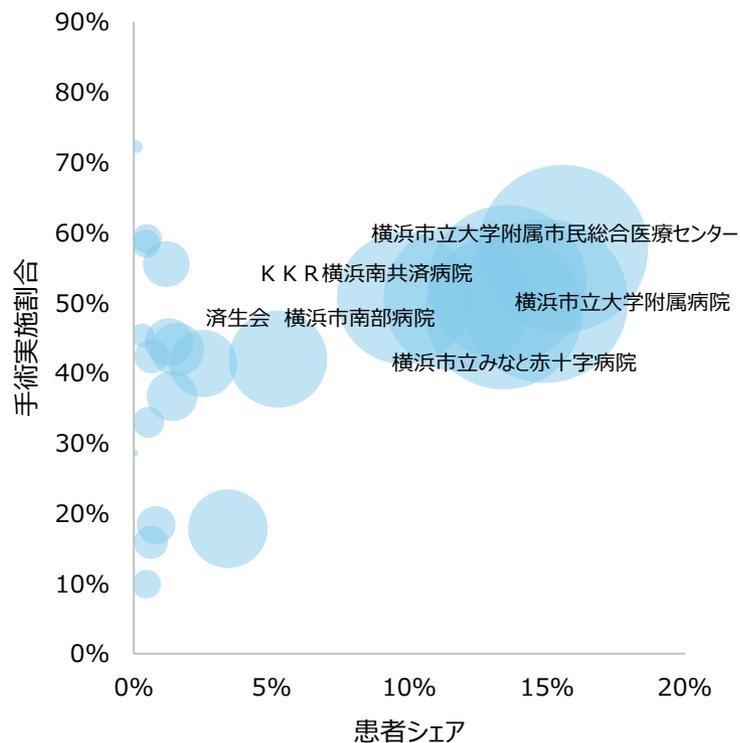


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

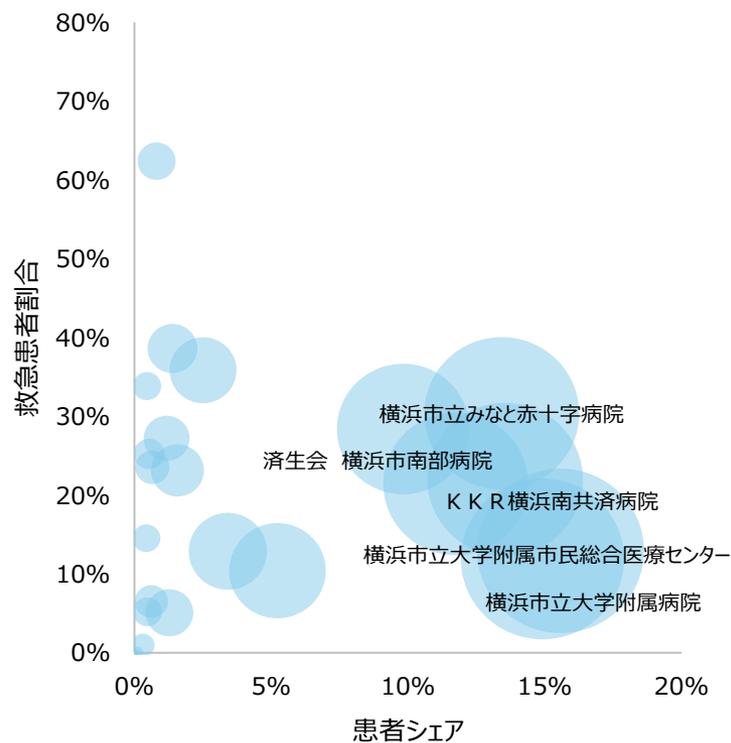
# 横浜医療圏\_横浜南部 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

## 手術実施割合×患者シェア



## 救急患者割合×患者シェア

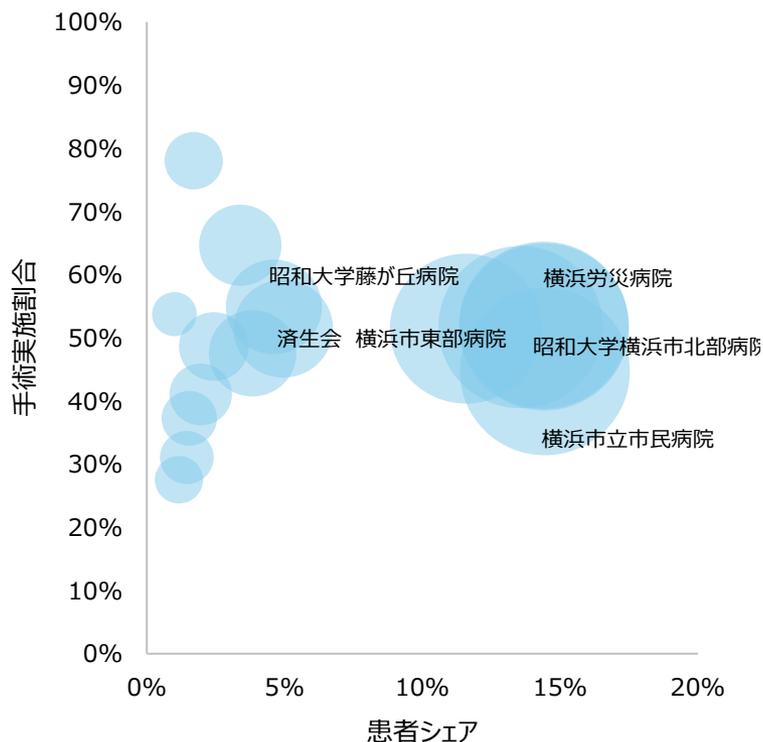


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

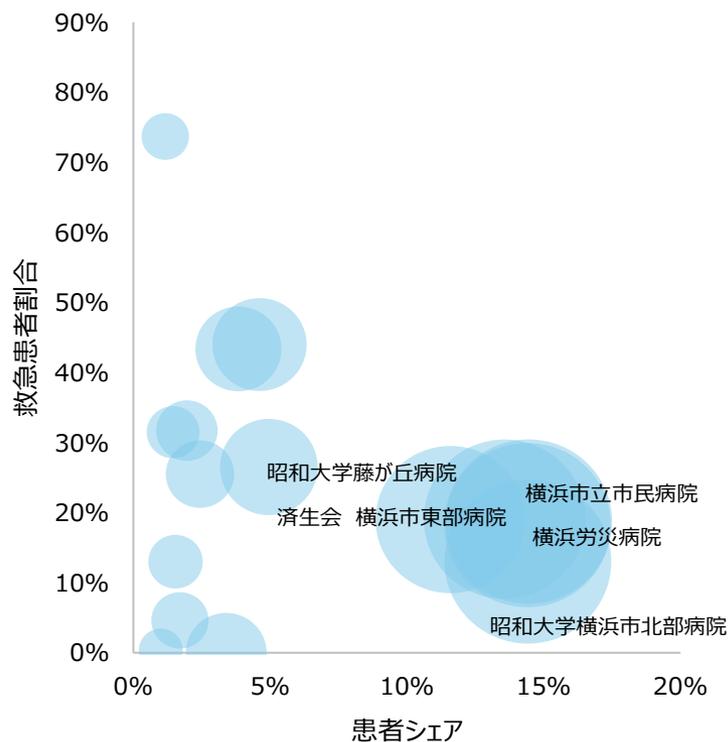
## DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

### 手術実施割合×患者シェア



### 救急患者割合×患者シェア

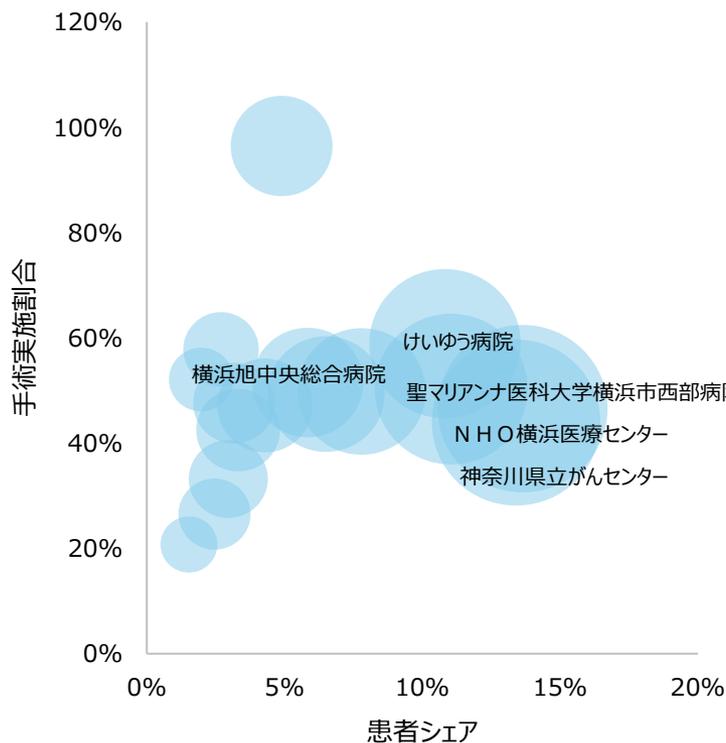


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

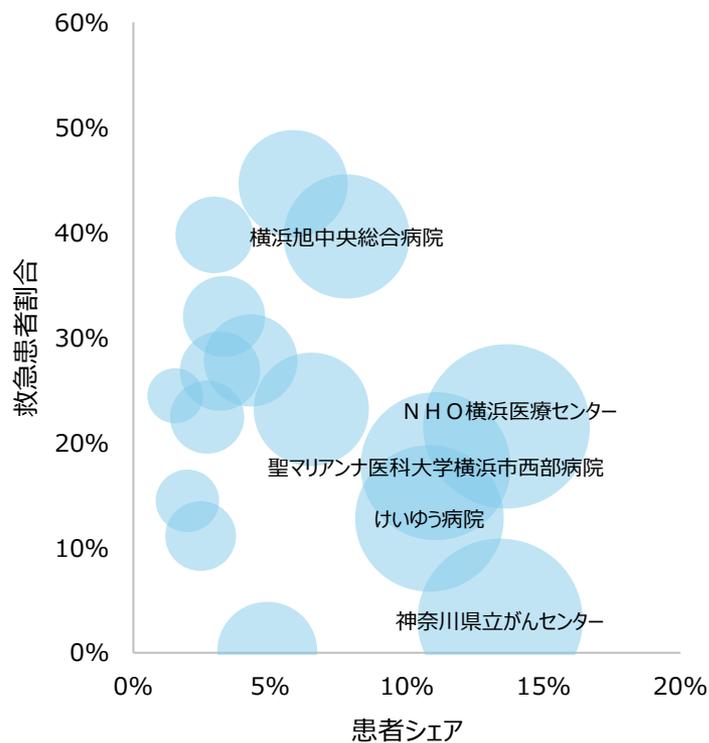
## DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア (退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

### 手術実施割合×患者シェア



### 救急患者割合×患者シェア

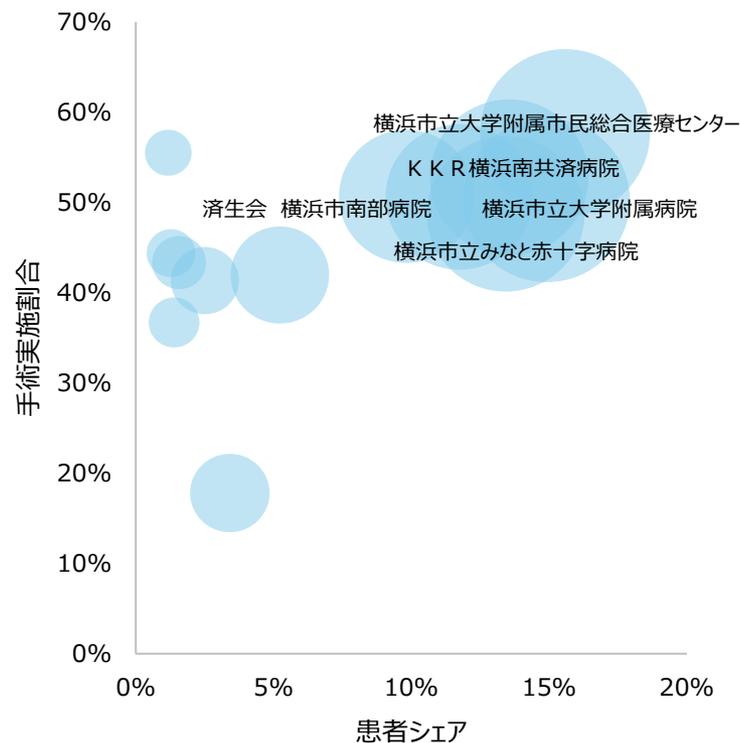


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

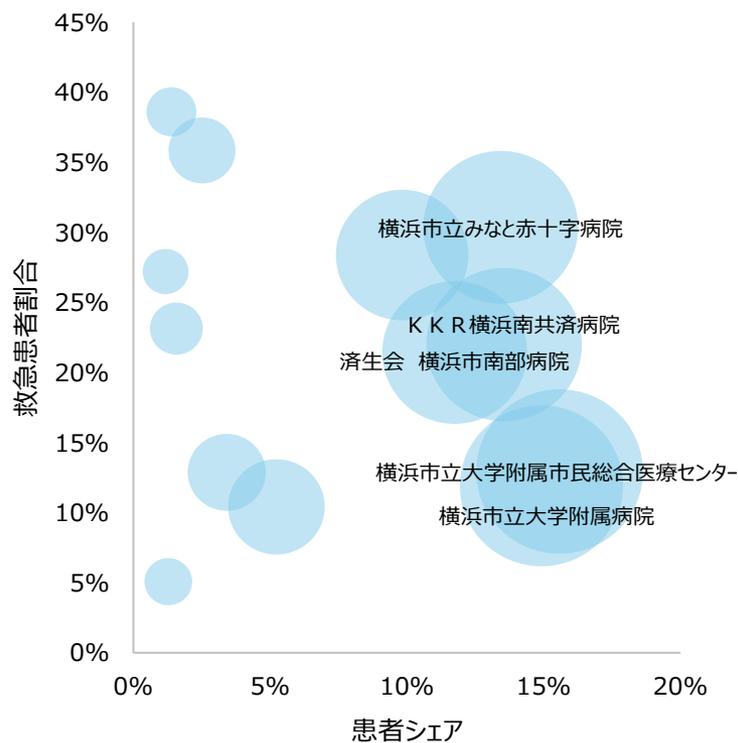
## DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア（退院患者数1000人以上の病院）

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

### 手術実施割合×患者シェア



### 救急患者割合×患者シェア



手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

# 医療需給総覧

version

1.0

- 本資料は各ページ下部に記載している機関の公表データを用いて、株式会社日本経営が作成した資料です。
- 本資料に提供されている内容は万全を期しておりますが、入手し得る資料および情報に基づいて作成したものであり、その内容の正確性や安全性を保証するものではありません。
- 本資料の使用は自己判断で行っていただくものとし、万一、貴社・貴法人が損害等を被った場合において、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、行政・医療機関等における検討・意思決定の目的を含め、転載・引用・配布いただけます（事前連絡不要）。ただし、転載・引用・配布の際は、転載先に本資料名および株式会社日本経営を出典として必ずご明記ください。なお、有償・無償を問わず、本資料の全部または一部を頒布・提供する行為は禁止します。  
記載例「出典元：医療需給総覧 ○○県△△医療圏（株式会社日本経営）」